

平成30年度  
秋田県学習状況調査

調査結果報告書

平成31年2月

秋田県教育委員会

# ま え が き

県教育委員会では、平成30年12月に、小学校第4学年から中学校第2学年までの全ての児童生徒を対象として秋田県学習状況調査を実施いたしました。

この調査のねらいは、県として、①学習指導要領の内容等の定着の程度を把握すること、②少人数学習の成果や課題を捉えること、そして、各学校において、③児童生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導の工夫改善を図ること、④全国学力・学習状況調査及び本調査、高校入試を活用した学習指導における検証改善サイクルを確立することなどにより、本県の教員の学習指導の改善・充実や児童生徒の学力向上に役立てるところにあります。

この調査では、小学校第4学年が国語、算数、理科の3教科、小学校第5・6学年が国語、社会、算数、理科の4教科、中学校第1・2学年が国語、社会、数学、理科、英語の5教科の教科に関する調査と、全ての学年で「学習習慣や学校生活についての意識」「各教科等の学習に対する意識」「読書についての意識」など、学習の意欲等に関する質問紙調査を実施いたしました。教科に関する調査の特色として、全国学力・学習状況調査B問題の出題趣旨を踏まえた問題を全ての教科で出題するとともに、県の課題の改善状況を明らかにするための複数学年にわたる共通問題や、本県で重視している“「問い」を発する子ども”の基盤づくりに資する問題、高校入試と関連した問題等を出題いたしました。学習の意欲等に関する質問紙調査では、全国学力・学習状況調査の質問項目と対応させることにより、各学校が調査結果を比較・分析して自校の児童生徒の学習に対する意識等を的確に捉え、学習指導の一層の改善・充実に役立てることができるようにいたしました。

さて、今年度の全国学力・学習状況調査における学校質問紙に「全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか」という質問事項がありましたが、これに対して、本県のほとんどの学校が肯定的な回答をしておりました。このように、諸調査の結果を自校の教育課程等に生かし、学力向上に向けた検証改善サイクルを機能させることは、新学習指導要領で求められているカリキュラム・マネジメントの充実につながるものであると言えます。

本報告書は、平成30年度の秋田県学習状況調査の結果に基づき、全県的な学習状況や今後の授業改善のポイント等をまとめたものです。各学校や教育委員会においては、本報告書及び調査問題を日常の学習指導や教育施策の改善・充実に積極的に活用していただきたいと考えております。

最後に、本調査の実施に当たり御協力いただきました県内全ての市町村教育委員会、各小・中学校の皆様にご心から御礼申し上げます。

平成31年2月

秋田県教育委員会

# 目 次

1	調査の概要	-----	1
2	調査の特徴、用語等	-----	2
3	調査結果の概要	-----	3
(1)	教科に関する調査の結果		
①	設定通過率との比較	-----	3
②	各教科の観点又は領域別の設定通過率との比較	-----	4
③	類似問題との比較	-----	5
④	各教科ごとの小問別通過率と設定通過率の比較	-----	6
(2)	学習の意欲等に関する質問紙調査結果		
①	学習全般についての結果概要	-----	11
②	各教科等の学習に対する意識についての結果概要	-----	11
③	学習全般について	-----	12
④	生活全般について	-----	14
⑤	家庭学習について	-----	18
⑥	授業について	-----	19
⑦	各教科等の学習に対する意識について	-----	21
⑧	読書について	-----	30
4	結果と考察	-----	31
本章は、各学年とも、「評価規準と評価の観点」「小問別通過率と設定通過率」「小問別反応率、小問別通過率度数分布表」「調査結果の考察」で構成されています。			
(1)	国語		
・	小学校第4学年	-----	32
・	小学校第5学年	-----	36
・	小学校第6学年	-----	40
・	中学校第1学年	-----	44
・	中学校第2学年	-----	48
(2)	社会		
・	小学校第5学年	-----	52
・	小学校第6学年	-----	56
・	中学校第1学年	-----	60
・	中学校第2学年	-----	64
(3)	算数、数学		
・	小学校第4学年	-----	68
・	小学校第5学年	-----	72
・	小学校第6学年	-----	76
・	中学校第1学年	-----	80
・	中学校第2学年	-----	84
(4)	理科		
・	小学校第4学年	-----	88
・	小学校第5学年	-----	92
・	小学校第6学年	-----	96
・	中学校第1学年	-----	100
・	中学校第2学年	-----	104
(5)	英語		
・	中学校第1学年	-----	108
・	中学校第2学年	-----	112



平成30年度  
秋田県学習状況調査

- 1 調査の概要
- 2 調査の特徴・用語等
- 3 調査結果の概要



## 1 調査の概要

### (1) 学習状況調査実施の趣旨

学習指導要領の内容の定着度等を把握し、本県が進める少人数学習の成果や課題を捉え、学習指導の工夫改善を図るとともに、全国学力・学習状況調査及び本調査、高校入試を活用して、学習指導における検証改善サイクルを確立し、児童生徒の学力向上に資する。

### (2) 調査対象学年、実施教科等、調査参加児童生徒数

○本報告書において、「小・中学校」は義務教育学校、「小学校」は義務教育学校の前期課程、「中学校」は義務教育学校の後期課程をそれぞれ含んでいます。

(人)

校種・学年 実施教科等	小 学 校			中 学 校	
	第4学年	第5学年	第6学年	第1学年	第2学年
国 語	7,058	7,170	7,383	7,093	7,369
社 会		7,169	7,381	7,093	7,377
算数・数学	7,056	7,171	7,379	7,098	7,370
理 科	7,057	7,167	7,378	7,096	7,372
英 語				7,097	7,374
学習の意欲等に関する アンケート	7,044	7,169	7,385	7,096	7,393
参 加 者	7,058	7,171	7,385	7,098	7,393
小・中ごとの参加者計	21,614			14,491	
参加者合計	36,105				

### (3) 出題内容

#### ① 基本的な考え方

学習指導要領で求められている資質や能力の定着度、指導上の問題点を明らかにするとともに、学習指導の工夫改善に資することができるよう、「ペーパーテストで調査を行うことが適当な内容・項目」について出題する。

#### ② 出題の範囲

調査対象学年の児童生徒が、前学年の後半で履修した教科の内容及び当該学年の前半で履修した教科の内容を基本とする。

ただし、これまで明らかになった課題の改善状況を把握するため、それ以前の学年で履修した内容が含まれる場合もある。

### (4) 調査実施日

小学校 平成30年12月 5日(水)

中学校 平成30年12月 6日(木)

## 2 調査の特徴、用語等

### (1) 特徴

- ① 評価規準の設定
  - ・観点別評価の実施
  - ・調査する基礎・基本の明確化
- ② 設定通過率の設定
  - ・県として「おおむね満足できる状況」と判断する基準の設定
- ③ 教科に関する調査と学習への意欲等に関する質問紙による総合的な学習状況の把握
  - ・多面的な学力の把握
- ④ 過去に実施した国や県の調査問題の類似問題による経年比較
  - ・学力の経年変化の把握
- ⑤ 複数学年にわたる共通問題
  - ・身に付けておかなければ後の学年の学習内容に影響を及ぼす内容の定着度の把握
  - ・県の課題についての改善状況の把握
- ⑥ 思考力、判断力、表現力に関する問題
  - ・全国学力・学習状況調査B問題の出題趣旨を踏まえた問題
  - ・“「問い」を発する子ども”の基盤づくりに資する問題
- ⑦ 秋田県公立高等学校における学力検査の現状分析に基づいた問題
  - ・改善状況の把握
- ⑧ 調査結果の活用の工夫
  - ・各学校における結果分析に基づいた指導の改善
  - ・報告書の作成

### (2) 用語

- ① 通過率
  - ・各問題ごとの正答した児童生徒の人数の割合  
(各学校の通過率の例：50人中30人が正答していれば60%)
- ② 平均通過率
  - ・全問題の通過率の平均
- ③ 設定通過率
  - ・問題ごとに、どの程度の通過率であれば「おおむね満足」な状況とするかをあらかじめ定めた値（分析する上での参考値として示している）
- ④ 正答数別度数分布
  - ・正答数ごとの児童生徒数の度数分布を示したグラフ
- ⑤ 小問別通過率度数分布表
  - ・各小問における通過率ごとの学校数を示した表

### (3) データ処理の方法

#### 採点、データ入力・集約

- ・本調査は、各校において採点を行い、その結果を学習状況調査集計・分析システムに登録することにより、全県データを集約している。
- ・各学校の教科に関する調査及び学習への意欲等に関する質問紙調査の結果は、学習状況調査集計・分析システムの登録状況を閲覧することにより、自校の結果と全県データを比較することができる。



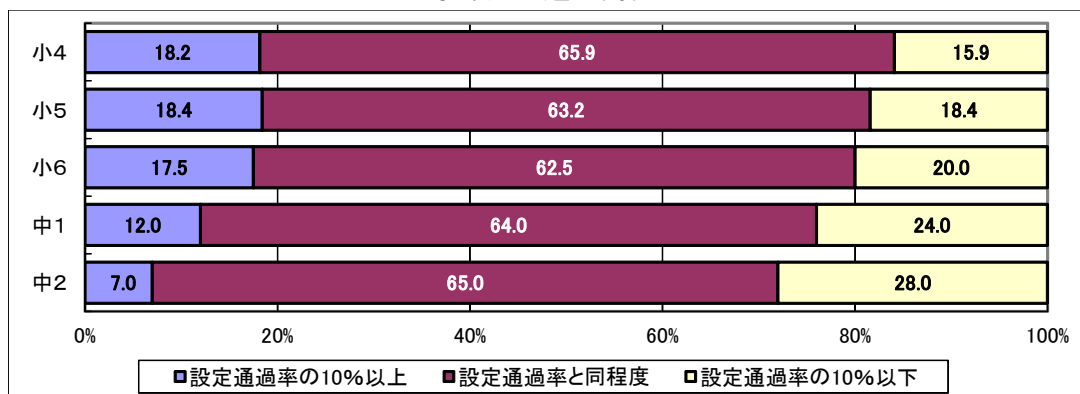
### 3 調査結果の概要

#### (1) 教科に関する調査の結果

##### ① 設定通過率との比較

- ・通過割合（通過率が設定通過率を上回るか同程度である問題数の割合）を学年別に見ると、小学校第4学年が84.1%、小学校第5学年が81.6%、小学校第6学年が80.0%、中学校第1学年が76.0%、中学校第2学年が72.0%であった。昨年度に比べて、小学校第4学年は6.8ポイント高くなっている。中学校第2学年の通過割合は他の学年に比べて昨年度と同様、低くなっているが、設定通過率の10%以上の割合は昨年度に比べて2.0ポイント高くなっている。
- ・平均通過率が設定通過率の平均を上回っている学年・教科は、小学校では第6学年国語、第4、5、6学年理科、中学校では第2学年国語であった。一方、10ポイント以上下回っている学年・教科は、中学校第2学年社会、英語であった。

学年別の通過割合



学年別の平均通過率と設定通過率の平均との比較

校種	教科	学年	平均通過率	設定通過率の平均	差	通過割合
小学校	国語	第4学年	67.9	71.7	-3.8	75.0%
		第5学年	67.4	70.0	-2.6	75.0%
		第6学年	71.7	70.5	1.2	85.0%
	社会	第5学年	70.5	70.8	-0.3	85.0%
		第6学年	69.1	73.0	-3.9	65.0%
	算数	第4学年	68.8	71.0	-2.2	80.0%
		第5学年	69.8	72.0	-2.2	75.0%
		第6学年	64.9	70.5	-5.6	75.0%
	理科	第4学年	80.8	73.3	7.5	100.0%
第5学年		77.1	74.0	3.1	90.0%	
第6学年		78.1	72.5	5.6	95.0%	
中学校	国語	第1学年	62.4	71.0	-8.6	70.0%
		第2学年	73.7	71.3	2.4	80.0%
	社会	第1学年	60.4	70.0	-9.6	65.0%
		第2学年	57.7	70.0	-12.3	65.0%
	数学	第1学年	65.5	70.5	-5.0	80.0%
		第2学年	68.7	70.0	-1.3	85.0%
	理科	第1学年	66.8	70.3	-3.5	85.0%
		第2学年	63.2	70.0	-6.8	75.0%
英語	第1学年	69.2	71.3	-2.1	80.0%	
	第2学年	56.1	70.0	-13.9	55.0%	

※通過割合：全小問のうち、設定通過率と同程度（±10%の範囲内）及びそれ以上（+10%より高い）の小問の割合

② 各教科の観点又は領域別の設定通過率との比較

- ・通過割合（通過率が設定通過率を上回るか同程度である問題数の割合）が75%以上であるのは、小学校では国語の「話すこと・聞くこと」と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、社会の「思考・判断・表現」と「技能」、算数の「技能」、理科の全観点であった。一方、中学校では、国語の「話すこと・聞くこと」と「書くこと」と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学の全観点、理科の「思考・表現」と「技能」、英語の「理解の能力」であった。
- ・通過率が設定通過率を下回る問題は、小・中学校ともに、国語の「読むこと」、社会の「知識・理解」、中学校では英語の「表現の能力」と「言語や文化についての知識・理解」の観点のものが多かった。

<小学校>

教科名	観点又は領域	問題数	+10%より高い	±10%の範囲内	-10%より低い
国語	話すこと・聞くこと	3	1 ( 33.3% )	2 ( 66.7% )	0 ( 0.0% )
	書くこと	3	0 ( 0.0% )	2 ( 66.7% )	1 ( 33.3% )
	読むこと	16	1 ( 6.3% )	9 ( 56.3% )	6 ( 37.5% )
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	26	7 ( 26.9% )	16 ( 61.5% )	3 ( 11.5% )
社会	思考・判断・表現	13	2 ( 15.4% )	10 ( 76.9% )	1 ( 7.7% )
	技能	12	2 ( 16.7% )	8 ( 66.7% )	2 ( 16.7% )
	知識・理解	15	1 ( 6.7% )	7 ( 46.7% )	7 ( 46.7% )
算数	考え方	21	2 ( 9.5% )	12 ( 57.1% )	7 ( 33.3% )
	技能	19	1 ( 5.3% )	17 ( 89.5% )	1 ( 5.3% )
	知識・理解	20	2 ( 10.0% )	12 ( 60.0% )	6 ( 30.0% )
理科	思考・表現	20	7 ( 35.0% )	13 ( 65.0% )	0 ( 0.0% )
	技能	13	3 ( 23.1% )	10 ( 76.9% )	0 ( 0.0% )
	知識・理解	19	7 ( 36.8% )	9 ( 47.4% )	3 ( 15.8% )

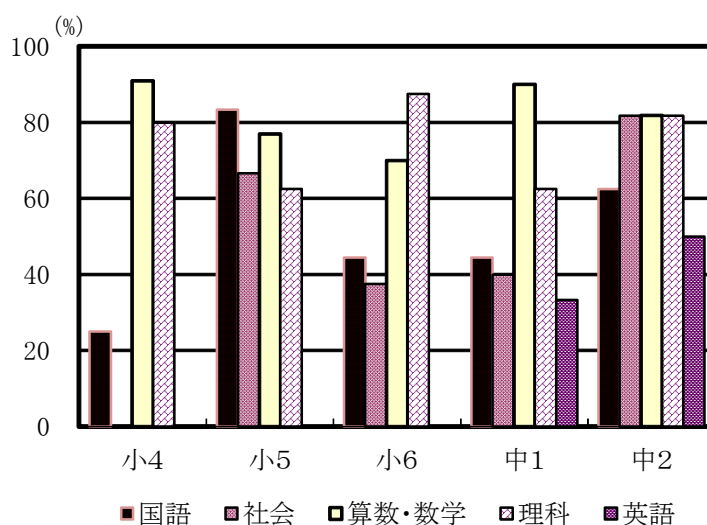
<中学校>

教科名	観点又は領域	問題数	+10%より高い	±10%の範囲内	-10%より低い
国語	話すこと・聞くこと	5	1 ( 20.0% )	4 ( 80.0% )	0 ( 0.0% )
	書くこと	2	0 ( 0.0% )	2 ( 100.0% )	0 ( 0.0% )
	読むこと	12	2 ( 16.7% )	5 ( 41.7% )	5 ( 41.7% )
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	21	5 ( 23.8% )	11 ( 52.4% )	5 ( 23.8% )
社会	思考・判断・表現	14	1 ( 7.1% )	8 ( 57.1% )	5 ( 35.7% )
	技能	14	1 ( 7.1% )	9 ( 64.3% )	4 ( 28.6% )
	知識・理解	12	0 ( 0.0% )	7 ( 58.3% )	5 ( 41.7% )
数学	考え方	12	1 ( 8.3% )	9 ( 75.0% )	2 ( 16.7% )
	技能	16	0 ( 0.0% )	13 ( 81.3% )	3 ( 18.8% )
	知識・理解	12	1 ( 8.3% )	9 ( 75.0% )	2 ( 16.7% )
理科	思考・表現	14	1 ( 7.1% )	10 ( 71.4% )	3 ( 21.4% )
	技能	7	0 ( 0.0% )	7 ( 100.0% )	0 ( 0.0% )
	知識・理解	19	1 ( 5.3% )	13 ( 68.4% )	5 ( 26.3% )
英語	表現の能力	10	1 ( 10.0% )	2 ( 20.0% )	7 ( 70.0% )
	理解の能力	22	3 ( 13.6% )	17 ( 77.3% )	2 ( 9.1% )
	言語や文化についての知識・理解	8	1 ( 12.5% )	3 ( 37.5% )	4 ( 50.0% )

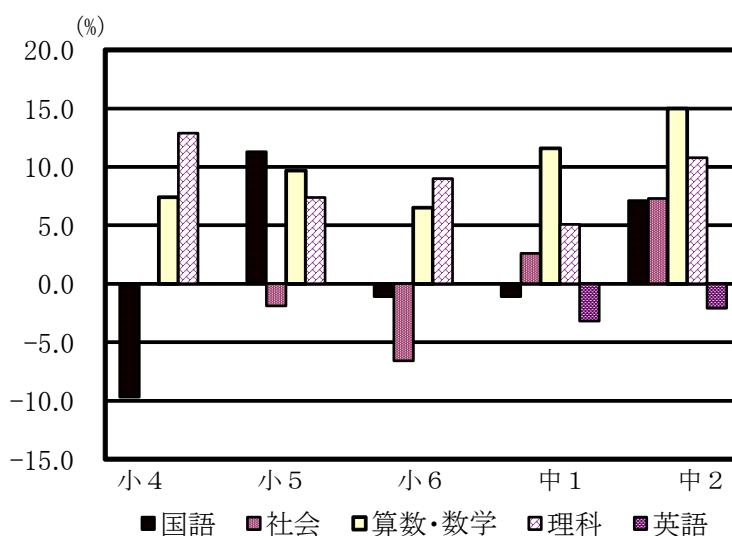
③ 類似問題との比較

- ・類似問題において過去の通過率を上回った問題数は、小学校では91問中62問（68.1%）、中学校では96問中61問（63.5%）であった。
- ・学年・教科別に見ると、類似問題における過去の通過率を上回った問題数の割合が70%以上だったのは、小学校では第4学年の算数、理科、第5学年の国語、算数、第6学年の算数、理科であった。中学校では第1学年の数学、第2学年の社会、数学、理科であった。
- ・類似問題の通過率の平均で比較すると、算数・数学と理科はすべての学年で過去の通過率の平均を上回っている。小学校第4学年国語、第5学年の社会、第6学年の国語、社会、中学校第1学年国語、英語、第2学年英語は下回っているものの、その差は-10ポイント以内である。

類似問題において過去の通過率を上回った問題数の割合



類似問題において過去の通過率を基準とした今年度の通過率



④ 各教科ごとの小問別通過率と設定通過率の比較

【国語】

設 定：設定通過率

通過率：全県平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の通過率

○小学校

	番号	設定	通過率	類似
小4	1)	85	93.4	
小4	2)	85	95.0	
小4	3)	75	76.4	
小4	4)	85	92.7	
小4	5)	65	59.1	87.3
小4	6)	65	57.3	
小4	7)	70	64.9	
小4	8)	65	51.2	49.3
小4	9)	60	33.5	42.4
小4	10)	60	43.5	
小4	11)	65	59.9	
小4	12)	80	87.7	91.2

	番号	設定	通過率	類似
小5	1)	85	98.5	
小5	2)	80	95.0	
小5	3)	70	72.1	
小5	4)	80	94.9	
小5	5)	65	57.7	41.8
小5	6)	65	60.3	
小5	7)	80	90.6	79.3
小5	8)	65	60.9	39.6
小5	9)	70	71.3	64.8
小5	10)	65	70.0	26.5
小5	11)	75	79.8	
小5	12)	65	46.8	
小5	13)	65	28.8	
小5	14)	60	39.3	69.9
小5	15)	60	60.0	
小5	16)	70	52.6	

	番号	設定	通過率	類似
小6	1)	80	93.5	
小6	2)	80	83.7	
小6	3)	70	57.5	
小6	4)	70	76.1	
小6	5)	65	60.9	
小6	6)	60	35.1	65.1
小6	7)	70	77.1	40.4
小6	8)	70	79.0	55.6
小6	9)	70	82.6	
小6	10)	60	41.7	
小6	11)	70	68.5	83.6
小6	12)	75	87.7	
小6	13)	70	77.7	
小6	14)	65	57.1	
小6	15)	80	88.4	91.5
小6	16)	70	74.7	
小6	17)	65	57.3	80.7
小6	18)	80	91.9	88.1
小6	19)	65	59.9	71.0
小6	20)	75	84.3	75.6

設定通過率	71.7
平均通過率	67.9
類似問題	57.9 67.6

設定通過率	70.0
平均通過率	67.4
類似問題	65.0 53.7

設定通過率	70.5
平均通過率	71.7
類似問題	71.3 72.4

○中学校

	番号	設定	通過率	類似
中1	1)	85	92.7	
中1	2)	85	97.8	
中1	3)	80	75.9	
中1	4)	85	86.4	
中1	5)	70	16.3	
中1	6)	60	54.8	
中1	7)	70	30.2	44.2
中1	8)	80	87.1	
中1	9)	65	63.7	54.0
中1	10)	80	73.9	91.4
中1	11)	60	19.7	17.5
中1	12)	75	81.2	91.0
中1	13)	60	52.5	62.2
中1	14)	65	79.9	
中1	15)	60	41.9	
中1	16)	75	83.0	54.7
中1	17)	75	88.2	
中1	18)	60	25.0	12.3
中1	19)	60	30.4	42.1
中1	20)	70	68.2	

	番号	設定	通過率	類似
中2	1)	75	81.0	83.0
中2	2)	70	93.7	82.7
中2	3)	80	87.2	89.8
中2	4)	80	99.6	
中2	5)	80	99.7	
中2	6)	75	96.7	
中2	7)	75	98.3	
中2	8)	60	48.0	33.3
中2	9)	80	88.1	
中2	10)	75	70.5	66.7
中2	11)	70	78.7	
中2	12)	65	38.6	
中2	13)	85	92.5	78.2
中2	14)	60	26.2	
中2	15)	70	69.1	78.8
中2	16)	60	53.7	26.1
中2	17)	70	75.5	
中2	18)	60	36.9	
中2	19)	60	57.5	
中2	20)	75	83.6	

設定通過率	71.0
平均通過率	62.4
類似問題	51.1 52.2

設定通過率	71.3
平均通過率	73.7
類似問題	74.5 67.3

【社会】

設 定：設定通過率

通過率：全県平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の通過率

○小学校

	番号	設定	通過率	類似
小5	1)	80	89.7	
小5	2)	70	75.6	
小5	3)	70	57.1	83.3
小5	4)	85	85.1	83.6
小5	5)	70	69.7	65.9
小5	6)	65	60.7	
小5	7)	65	72.7	
小5	8)	65	74.2	59.7
小5	9)	90	87.0	85.7
小5	10)	70	64.4	70.7
小5	11)	70	84.0	
小5	12)	70	85.1	
小5	13)	65	57.1	
小5	14)	80	83.4	76.2
小5	15)	65	59.6	
小5	16)	80	60.7	82.0
小5	17)	60	64.0	55.7
小5	18)	75	86.0	
小5	19)	60	54.6	
小5	20)	60	38.2	

	番号	設定	通過率	類似
小6	1)	85	93.2	
小6	2)	75	83.4	
小6	3)	85	83.5	82.4
小6	4)	80	80.3	
小6	5)	60	42.9	
小6	6)	70	67.0	
小6	7)	75	63.9	
小6	8)	80	95.0	
小6	9)	65	59.5	
小6	10)	65	44.2	63.9
小6	11)	60	47.3	
小6	12)	60	43.9	
小6	13)	70	50.4	68.6
小6	14)	75	70.0	74.1
小6	15)	65	70.6	60.0
小6	16)	75	78.9	
小6	17)	75	64.7	73.1
小6	18)	75	67.9	83.0
小6	19)	75	87.7	
小6	20)	90	88.1	86.5

設定通過率	70.8		
平均通過率		70.5	
類似問題		71.7	73.6

設定通過率	73.0		
平均通過率		69.1	
類似問題		67.4	74.0

○中学校

	番号	設定	通過率	類似
中1	1)	75	69.2	
中1	2)	60	31.1	
中1	3)	85	78.7	85.9
中1	4)	65	62.6	
中1	5)	75	85.3	63.5
中1	6)	70	76.9	58.4
中1	7)	70	85.6	45.6
中1	8)	75	65.2	81.2
中1	9)	70	63.0	
中1	10)	60	48.1	51.6
中1	11)	60	50.3	46.0
中1	12)	65	19.8	
中1	13)	65	38.0	
中1	14)	65	68.9	
中1	15)	80	59.1	76.9
中1	16)	65	56.5	
中1	17)	85	75.7	84.5
中1	18)	80	85.1	
中1	19)	60	32.0	
中1	20)	70	58.1	63.0

	番号	設定	通過率	類似
中2	1)	85	75.1	
中2	2)	60	53.7	53.2
中2	3)	60	40.6	
中2	4)	70	61.9	46.9
中2	5)	70	59.1	67.1
中2	6)	60	51.4	33.7
中2	7)	80	73.3	
中2	8)	60	26.5	47.5
中2	9)	70	64.8	56.3
中2	10)	65	41.9	
中2	11)	80	73.3	56.3
中2	12)	85	76.5	72.3
中2	13)	65	58.7	
中2	14)	60	32.4	
中2	15)	60	35.0	
中2	16)	70	64.1	
中2	17)	90	88.2	
中2	18)	75	65.8	63.2
中2	19)	60	46.4	27.8
中2	20)	75	66.3	41.2

設定通過率	70.0		
平均通過率		60.4	
類似問題		68.3	65.7

設定通過率	70.0		
平均通過率		57.7	
類似問題		58.7	51.4

【算数、数学】

設 定：設定通過率

通過率：全県平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の通過率

○小学校

	番号	設定	通過率	類似
小4	1)	90	90.0	87.8
小4	2)	90	88.6	
小4	3)	85	89.1	85.4
小4	4)	80	75.5	
小4	5)	70	75.7	
小4	6)	80	84.5	
小4	7)	65	62.2	60.2
小4	8)	80	88.6	83.8
小4	9)	70	68.1	
小4	10)	60	67.6	49.8
小4	11)	60	48.6	
小4	12)	60	39.7	27.5
小4	13)	60	75.7	36.4
小4	14)	70	47.4	72.4
小4	15)	70	70.9	62.3
小4	16)	70	74.2	69.4
小4	17)	70	71.9	61.3
小4	18)	70	69.0	
小4	19)	60	52.7	
小4	20)	60	35.6	

	番号	設定	通過率	類似
小5	1)	90	85.5	85.6
小5	2)	90	89.4	88.5
小5	3)	75	77.8	67.1
小5	4)	70	62.1	
小5	5)	80	84.5	73.4
小5	6)	60	49.1	52.2
小5	7)	75	81.5	67.4
小5	8)	60	41.4	42.7
小5	9)	65	62.9	43.4
小5	10)	75	78.2	71.0
小5	11)	60	57.6	
小5	12)	60	39.3	
小5	13)	65	37.8	
小5	14)	65	58.1	
小5	15)	60	45.5	
小5	16)	80	93.1	
小5	17)	70	87.7	60.6
小5	18)	75	88.1	61.0
小5	19)	85	93.1	83.6
小5	20)	80	83.3	79.2

	番号	設定	通過率	類似
小6	1)	75	92.4	59.3
小6	2)	80	78.3	76.6
小6	3)	70	61.5	
小6	4)	75	76.0	67.7
小6	5)	65	67.1	
小6	6)	65	51.8	42.7
小6	7)	80	82.8	
小6	8)	70	61.1	66.0
小6	9)	65	61.3	
小6	10)	80	64.6	95.3
小6	11)	70	64.1	
小6	12)	70	61.5	
小6	13)	65	64.6	51.3
小6	14)	60	48.5	31.6
小6	15)	70	68.7	
小6	16)	75	52.1	
小6	17)	70	68.5	40.9
小6	18)	75	67.9	77.2
小6	19)	70	72.6	
小6	20)	60	32.4	

設定通過率	71.0		
平均通過率		68.8	
類似問題		70.7	63.3

設定通過率	72.0		
平均通過率		69.8	
類似問題		77.1	67.4

設定通過率	70.5		
平均通過率		64.9	
類似問題		67.4	60.9

○中学校

	番号	設定	通過率	類似
中1	1)	80	82.4	59.3
中1	2)	70	48.9	
中1	3)	75	71.0	73.0
中1	4)	60	48.3	
中1	5)	60	54.1	52.9
中1	6)	60	59.8	
中1	7)	80	73.6	67.2
中1	8)	70	69.0	
中1	9)	60	58.2	64.3
中1	10)	90	91.3	82.4
中1	11)	90	96.3	
中1	12)	75	89.0	49.6
中1	13)	70	65.6	55.7
中1	14)	70	66.9	54.4
中1	15)	80	78.5	
中1	16)	70	60.5	
中1	17)	70	61.6	55.8
中1	18)	60	35.7	
中1	19)	60	58.1	43.1
中1	20)	60	42.6	

	番号	設定	通過率	類似
中2	1)	85	78.8	59.3
中2	2)	85	77.2	63.9
中2	3)	65	62.8	
中2	4)	80	81.1	82.0
中2	5)	70	77.2	46.8
中2	6)	70	73.9	39.3
中2	7)	75	84.0	
中2	8)	65	75.3	35.8
中2	9)	60	49.1	
中2	10)	70	66.6	61.2
中2	11)	70	61.7	50.8
中2	12)	70	58.6	41.0
中2	13)	75	76.1	
中2	14)	70	79.4	
中2	15)	70	72.5	
中2	16)	60	51.9	
中2	17)	70	75.8	
中2	18)	60	61.2	46.5
中2	19)	70	75.9	
中2	20)	60	34.4	54.6

設定通過率	70.5		
平均通過率		65.5	
類似問題		70.2	59.8

設定通過率	70.0		
平均通過率		68.7	
類似問題		67.8	52.8

【理科】

設 定：設定通過率

通過率：全県平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の通過率

○小学校

	番号	設定	通過率	類似
小4	1)	85	98.0	
小4	2)	60	56.5	43.8
小4	3)	85	98.5	
小4	4)	65	67.1	
小4	5)	85	91.4	87.6
小4	6)	80	90.2	
小4	7)	70	84.4	
小4	8)	80	83.3	83.5
小4	9)	70	77.9	
小4	10)	80	73.6	
小4	11)	60	75.2	49.6
小4	12)	60	74.8	52.0

	番号	設定	通過率	類似
小5	1)	70	55.3	
小5	2)	80	86.6	81.7
小5	3)	60	79.0	28.5
小5	4)	60	57.6	
小5	5)	70	84.2	
小5	6)	70	77.3	
小5	7)	70	86.1	
小5	8)	70	68.2	
小5	9)	65	66.3	
小5	10)	90	92.7	91.1
小5	11)	85	86.9	
小5	12)	70	54.9	
小5	13)	70	76.1	68.0
小5	14)	80	92.6	
小5	15)	90	94.6	93.7
小5	16)	65	71.1	
小5	17)	75	77.0	78.1
小5	18)	80	76.2	79.7
小5	19)	85	78.1	
小5	20)	75	79.8	82.1

	番号	設定	通過率	類似
小6	1)	80	84.8	
小6	2)	65	57.7	
小6	3)	75	84.9	70.9
小6	4)	75	96.5	
小6	5)	80	89.2	
小6	6)	70	80.0	63.6
小6	7)	60	72.9	
小6	8)	75	73.4	68.0
小6	9)	70	74.3	
小6	10)	75	79.5	84.3
小6	11)	80	92.8	
小6	12)	85	92.7	87.6
小6	13)	80	94.7	77.6
小6	14)	80	84.5	
小6	15)	70	72.4	63.5
小6	16)	60	18.7	
小6	17)	60	64.9	
小6	18)	70	89.8	
小6	19)	75	77.5	68.0
小6	20)	65	81.4	

設定通過率	73.3		
平均通過率		80.8	
類似問題		76.2	63.3

設定通過率	74.0		
平均通過率		77.1	
類似問題		82.8	75.4

設定通過率	72.5		
平均通過率		78.1	
類似問題		81.9	72.9

○中学校

	番号	設定	通過率	類似
中1	1)	80	78.5	90.1
中1	2)	70	87.7	
中1	3)	60	50.4	
中1	4)	80	89.7	
中1	5)	65	84.4	44.8
中1	6)	70	64.6	61.5
中1	7)	70	64.6	
中1	8)	65	38.7	
中1	9)	80	84.0	60.2
中1	10)	60	35.3	65.8
中1	11)	65	57.2	
中1	12)	65	58.4	
中1	13)	70	63.4	
中1	14)	70	67.6	
中1	15)	80	82.3	60.2
中1	16)	65	61.4	
中1	17)	75	69.6	76.7
中1	18)	70	53.4	
中1	19)	60	57.6	55.7
中1	20)	85	88.0	

	番号	設定	通過率	類似
中2	1)	80	87.9	41.2
中2	2)	70	73.4	30.5
中2	3)	80	86.5	
中2	4)	60	26.8	26.4
中2	5)	60	57.2	52.6
中2	6)	70	72.5	
中2	7)	60	51.0	16.9
中2	8)	65	36.2	65.9
中2	9)	75	79.7	61.5
中2	10)	60	51.7	
中2	11)	80	73.5	
中2	12)	75	67.6	
中2	13)	70	76.3	73.1
中2	14)	60	60.8	41.6
中2	15)	60	44.8	
中2	16)	90	90.6	86.8
中2	17)	75	76.0	
中2	18)	70	62.3	86.7
中2	19)	70	49.0	
中2	20)	70	39.7	

設定通過率	70.3		
平均通過率		66.8	
類似問題		69.5	64.4

設定通過率	70.0		
平均通過率		63.2	
類似問題		63.8	53.0

【英語】

設 定：設定通過率

通過率：全県平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の通過率

○中学校

	番号	設定	通過率	類似
中1	1)	70	66.9	
中1	2)	75	70.3	
中1	3)	70	62.2	66.6
中1	4)	75	68.7	
中1	5)	75	67.6	
中1	6)	80	86.7	75.5
中1	7)	80	91.1	68.2
中1	8)	70	54.0	71.0
中1	9)	70	81.8	83.5
中1	10)	75	82.4	
中1	11)	75	82.1	
中1	12)	80	92.0	
中1	13)	70	63.9	
中1	14)	60	61.9	
中1	15)	60	62.8	50.6
中1	16)	60	40.9	64.6
中1	17)	70	81.0	
中1	18)	65	45.9	52.3
中1	19)	70	44.8	67.5
中1	20)	75	77.2	

	番号	設定	通過率	類似
中2	1)	80	84.6	
中2	2)	65	63.7	45.2
中2	3)	70	64.5	
中2	4)	80	90.0	
中2	5)	65	66.0	58.2
中2	6)	80	82.7	
中2	7)	60	21.0	
中2	8)	65	66.4	
中2	9)	70	46.0	73.1
中2	10)	80	84.2	79.3
中2	11)	65	57.1	
中2	12)	65	69.8	54.1
中2	13)	70	63.0	
中2	14)	70	35.0	52.6
中2	15)	60	44.3	44.9
中2	16)	65	42.1	60.8
中2	17)	75	42.3	
中2	18)	70	52.1	
中2	19)	70	20.2	
中2	20)	75	27.8	

設定通過率	71.3		
平均通過率		69.2	
類似問題		63.4	66.6

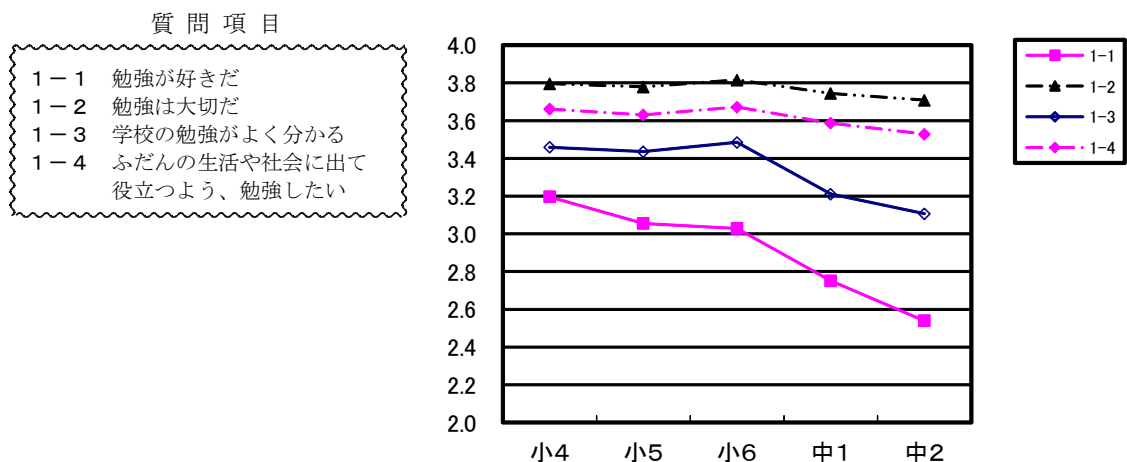
設定通過率	70.0		
平均通過率		56.1	
類似問題		56.4	58.5



(2) 学習の意欲等に関する質問紙調査結果

① 学習全般についての結果概要（4点換算による県平均）

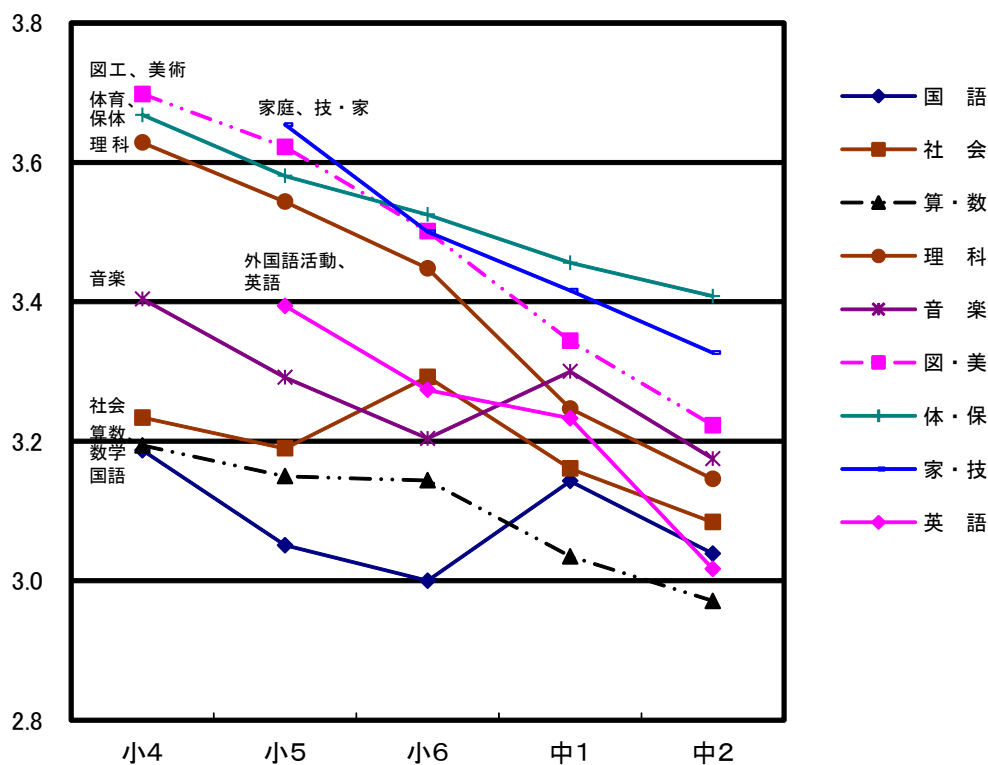
あてはまる…4点                      どちらかといえばあてはまる…3点  
 どちらかといえばあてはまらない…2点    あてはまらない…1点



② 各教科等の学習に対する意識についての結果概要（4点換算による県平均）

あてはまる…4点                      どちらかといえばあてはまる…3点  
 どちらかといえばあてはまらない…2点    あてはまらない…1点

質問項目  
 (例) 国語の勉強は好きだ ※下線部を各教科等名にしてそれぞれ質問する。



③ 学習全般について

[グラフ等の見方]

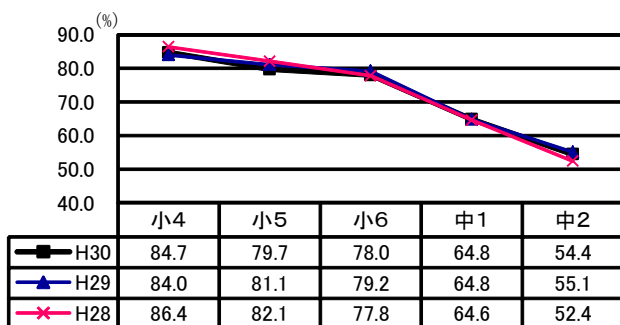
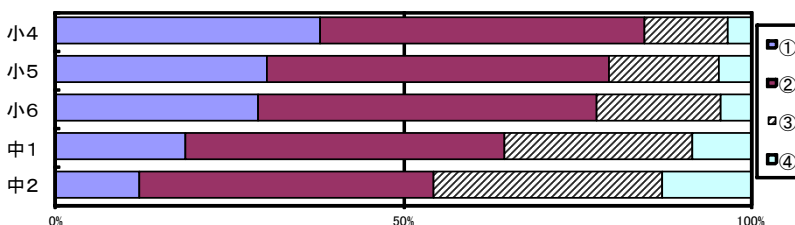
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合

折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

[1-1] 勉強が好きだ

①あてはまる ②どちらかといえばあてはまる ③どちらかといえばあてはまらない ④あてはまらない

	①	②	③	④
小4	38.2	46.5	12.0	3.3
小5	30.5	49.2	15.8	4.6
小6	29.1	48.9	17.7	4.3
中1	18.7	46.1	27.0	8.3
中2	12.2	42.2	33.1	12.6

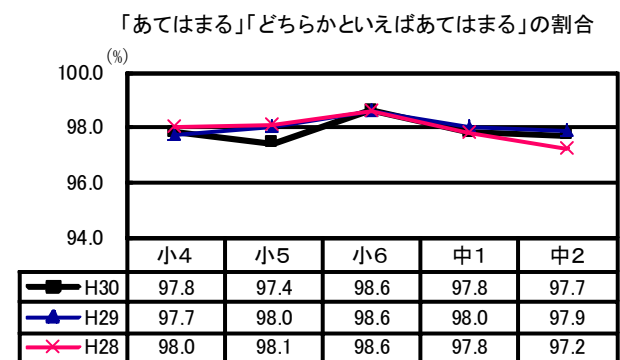
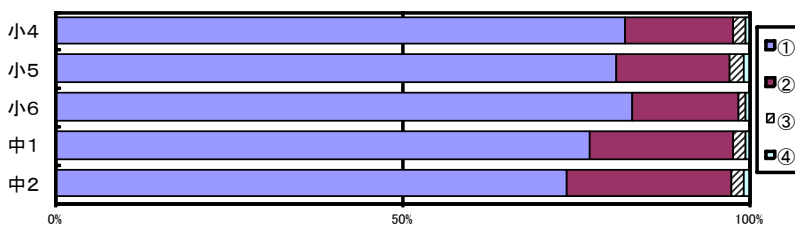


肯定的な回答の割合が、学年が上がるに従って減少していく状況は依然として見られるものの、小学校第4学年、中学校第1学年においては「あてはまる」と回答した児童生徒の割合は昨年度より高くなっている。

[1-2] 勉強は大切だ

①あてはまる ②どちらかといえばあてはまる ③どちらかといえばあてはまらない ④あてはまらない

	①	②	③	④
小4	82.3	15.5	1.7	0.5
小5	81.1	16.3	2.0	0.6
小6	83.3	15.3	1.1	0.3
中1	77.0	20.8	1.6	0.5
中2	73.8	23.9	1.7	0.6

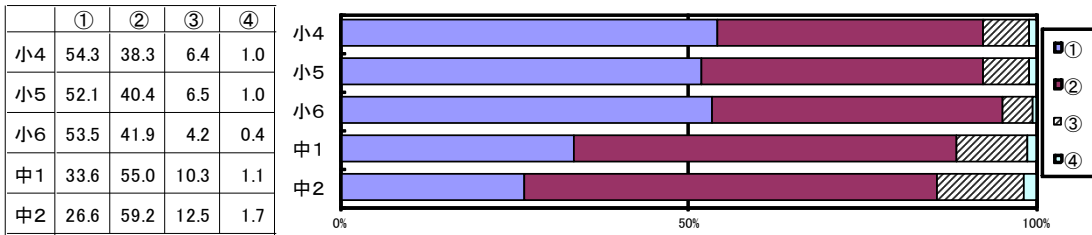


肯定的な回答の割合が、全ての学年で97%以上である。

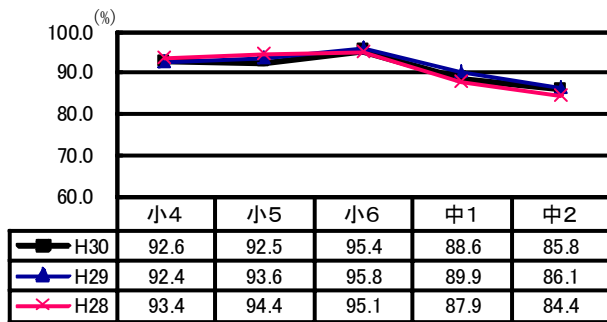
学習することの重要性に対する意識が高いことがうかがえる。

[ 1 - 3 ] 学校の勉強がよくわかる

①あてはまる ②どちらかといえばあてはまる ③どちらかといえばあてはまらない ④あてはまらない



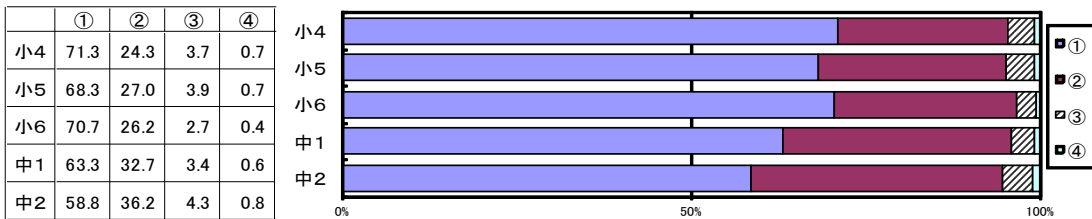
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合



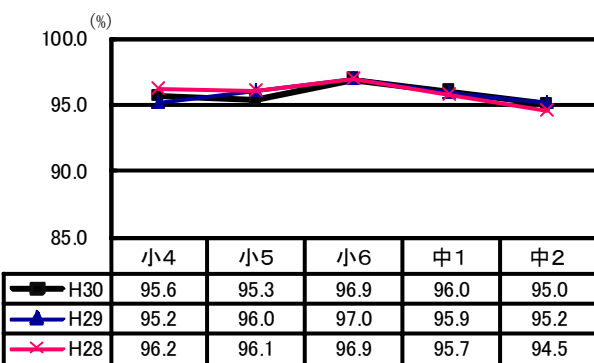
小学校では92%以上、中学校では85%以上が肯定的な回答をしている。肯定的な回答のうち、小学校では52%以上、中学校では26%以上が「あてはまる」と回答しており、昨年度とほぼ同様の傾向が見られる。

[ 1 - 4 ] ふだんの生活や社会に出たときに役立つよう、勉強したい

①あてはまる ②どちらかといえばあてはまる ③どちらかといえばあてはまらない ④あてはまらない



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合



肯定的な回答の割合が、全ての学年で95%以上である。中学校第1学年においては、この3年間で最も高い数値を示している。

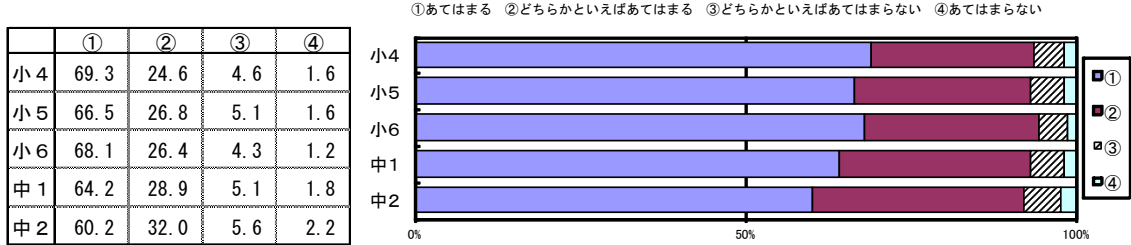
学習する目的意識を明確にもって勉強している児童生徒が多いことがうかがえる。

④ 生活全般について

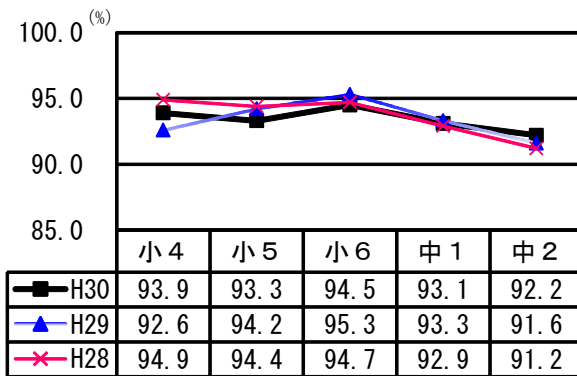
[グラフ等の見方]

表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合  
折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

[2-1] 学校が楽しい

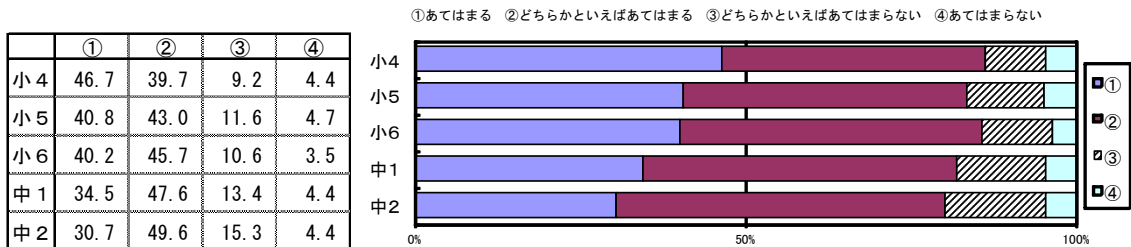


「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合

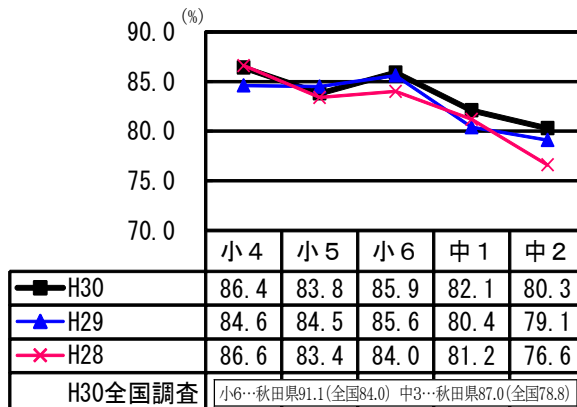


全ての学年で、肯定的な回答が92%以上であり、そのうち「あてはまる」という回答は60%以上である。中学校第2学年においては、この3年間で最も高い数値を示している。

[2-2] 自分にはよいところがあると思う



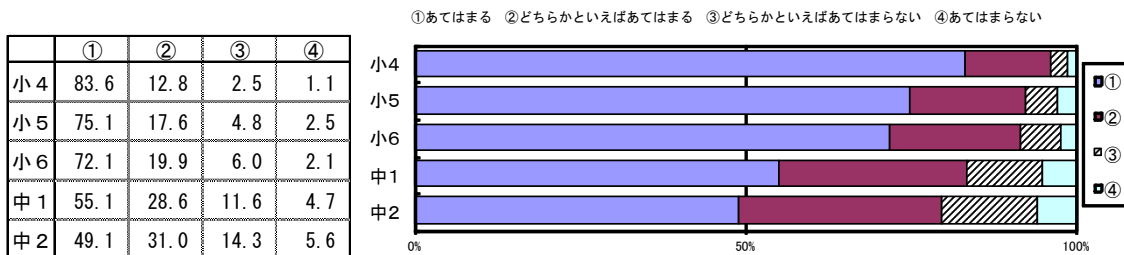
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合



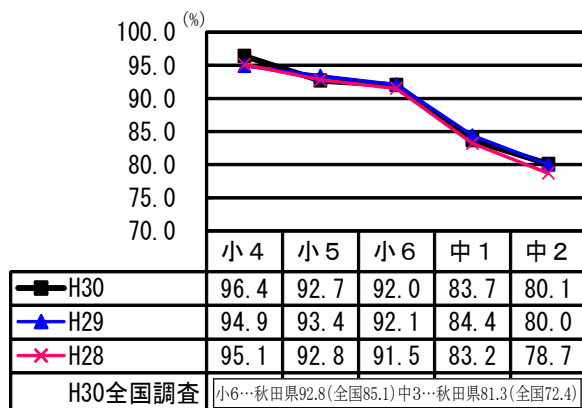
小学校では83%以上、中学校では80%以上が肯定的な回答をしている。小学校第6学年及び中学校第2学年では、肯定的な回答の割合が年々少しずつ高くなってきている。

学校生活の様々な場面において、自己肯定感を高める働き掛けを行っていることがうかがえる。

## [2-3] 将来の夢や目標をもっている

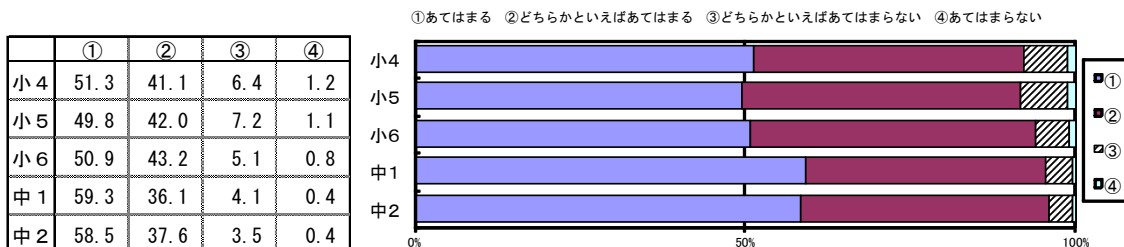


「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合

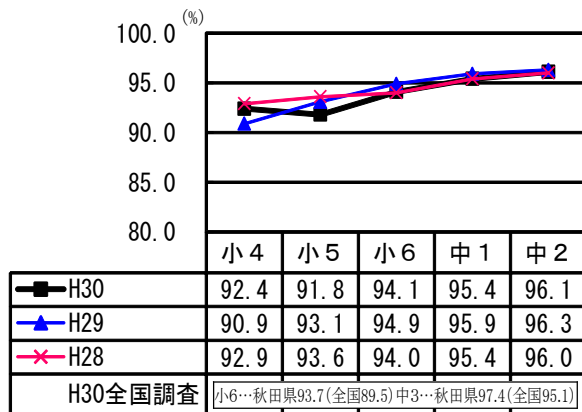


肯定的な回答の割合が、学年が上がるに従って低くなっている状況は依然として見られるものの、小学校では92%以上、中学校では80%以上が肯定的な回答をしている。

## [2-4] 学校のきまりを守っている



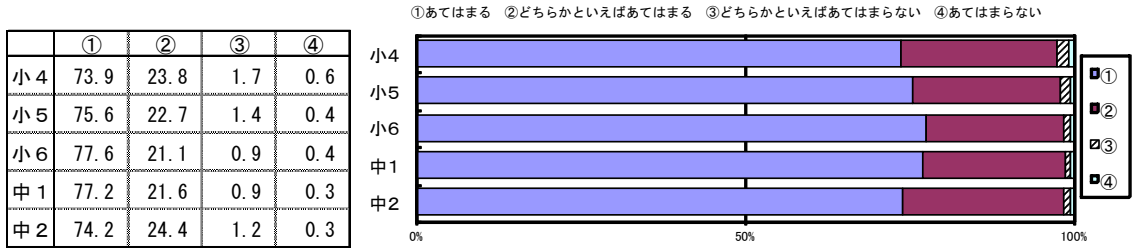
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合



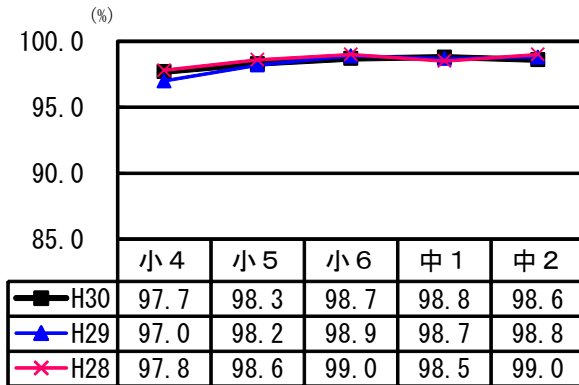
肯定的な回答の割合が高く、全ての学年で90%を超えている。

学校における集団生活の様々な場面で、児童生徒の規範意識の醸成につながる取組がなされていることがうかがえる。

[2-5] 友達との約束を守っている



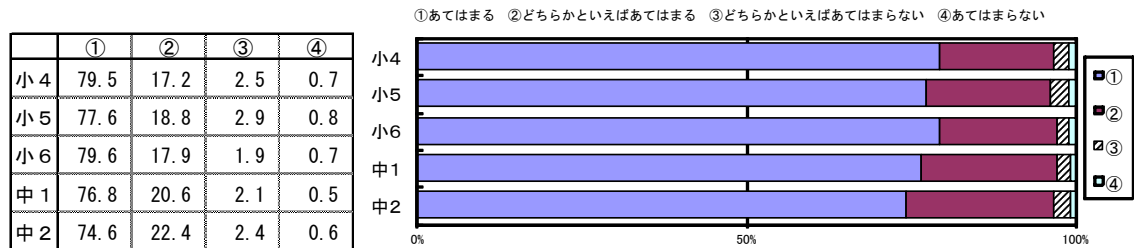
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合



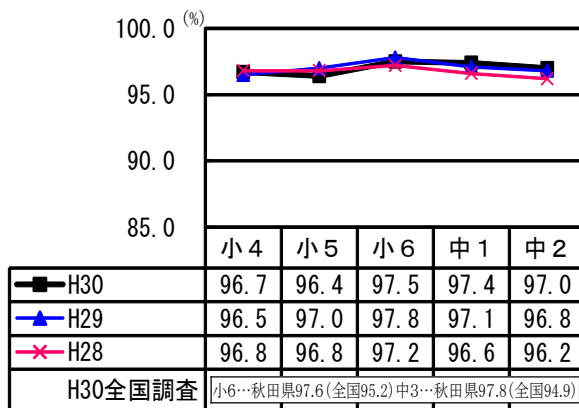
肯定的な回答の割合が、全ての学年で100%に近く、そのうち「あてはまる」と回答している割合は、小学校では73%以上、中学校では74%以上である。

児童生徒は、友達との約束を守り助け合って生活することで、良好な信頼関係を育もうとしている様子が見られる。

[2-6] 人の役に立つ人間になりたいと思う



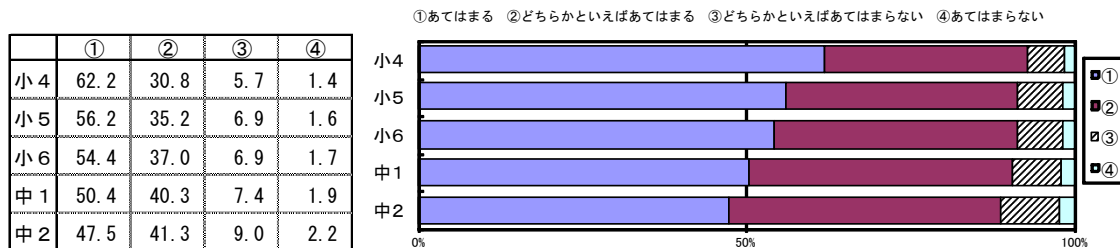
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合



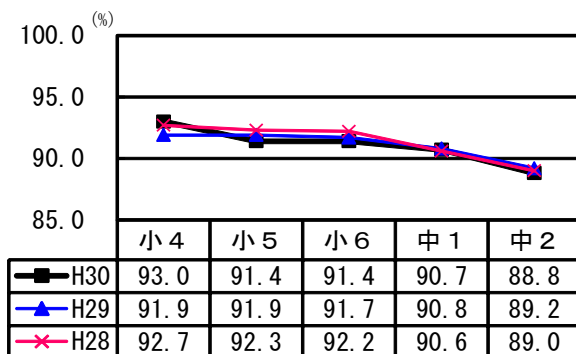
全ての学年で、肯定的な回答の割合が96%を超えている。肯定的な回答のうち、「あてはまる」と回答している割合は、小学校では77%以上、中学校では74%以上である。

各学校において、キャリア教育や道徳教育等を通して、協働することや、他者や公共のために役に立つことを大切にして行動するための働き掛けを行っていることがうかがえる。

[2-7] 地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合



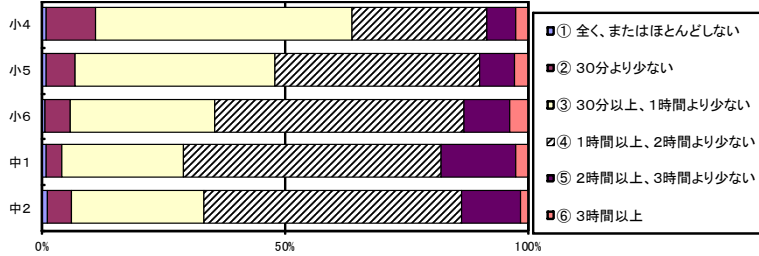
肯定的な回答の割合は、小学校では91%以上、中学校では88%以上であり、小学校第4学年ではこの3年間で最も高い数値を示している。

各学校のふるさと教育及びキャリア教育の取組が、児童生徒の地域社会に貢献しようとする意識の高まりにつながっていることがうかがえる。

⑤ 家庭学習について

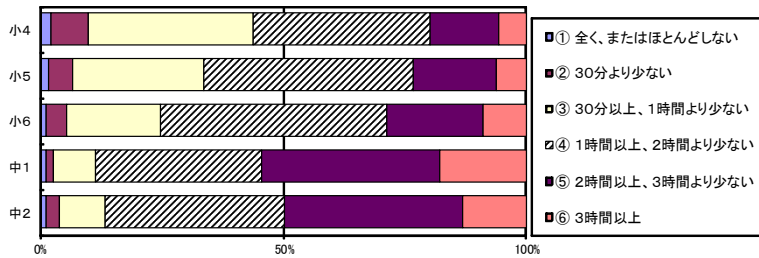
[グラフ等の見方]  
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合

学校がある日の勉強時間



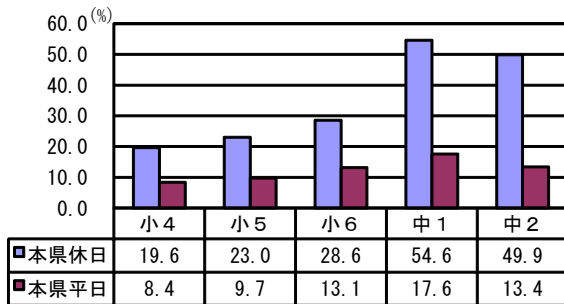
	①	②	③	④	⑤	⑥
小4	1.2	10.1	52.6	27.6	6.0	2.4
小5	1.0	6.1	40.9	42.3	7.1	2.6
小6	0.9	5.1	29.8	51.1	9.5	3.6
中1	1.0	3.4	24.9	53.0	15.1	2.5
中2	1.4	4.8	27.2	53.1	11.9	1.5

土曜日や日曜日の勉強時間

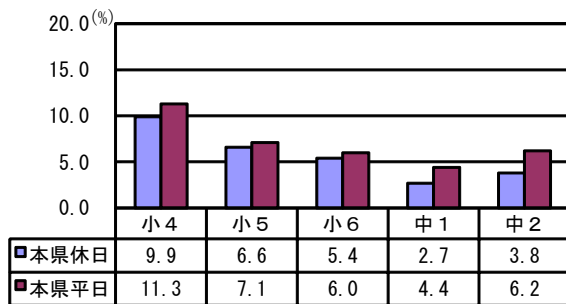


	①	②	③	④	⑤	⑥
小4	2.0	7.9	33.7	36.7	14.1	5.5
小5	1.5	5.1	27.0	43.3	17.1	5.9
小6	1.1	4.3	19.3	46.7	19.9	8.7
中1	1.0	1.7	8.5	34.2	37.1	17.5
中2	1.2	2.6	9.5	36.8	37.1	12.8

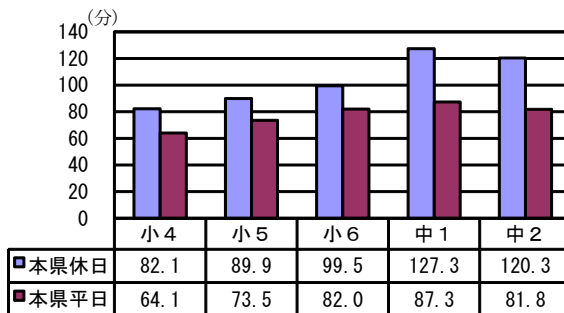
2時間以上の割合



全くしない又は30分未満の割合



家庭学習の平均時間



小・中学校とも、平日より休日の勉強時間が長くなっている。特に中学校第1学年では、休日に2時間以上勉強している生徒が半数を超えている。

また、小学校第4学年及び中学校第1学年では、家庭学習を全くしない又は30分未満の児童生徒の割合は、平日、休日とも昨年度と比べて低くなっている。

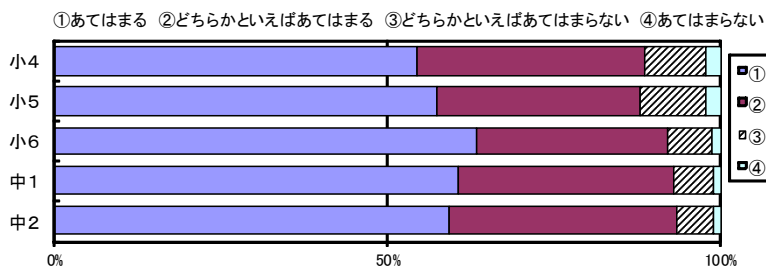


⑥ 授業について

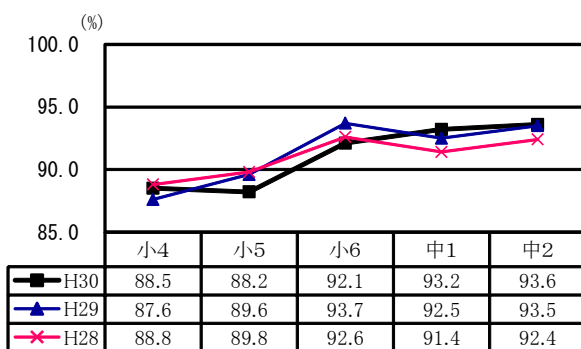
[グラフ等の見方]  
 表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合  
 折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

[4-1] ふだんの授業では、自分の考えを発表する機会があると思う

	①	②	③	④
小4	54.5	34.0	9.2	2.2
小5	57.5	30.7	9.7	2.2
小6	63.5	28.6	6.6	1.3
中1	60.8	32.4	5.8	1.1
中2	59.4	34.2	5.3	1.1



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合

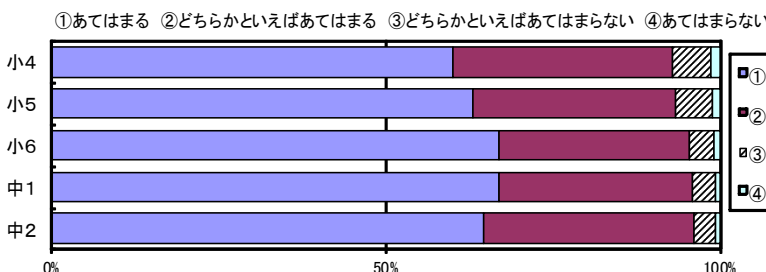


肯定的な回答の割合が、小学校では88%以上、中学校では93%以上であり、中学校においては、この3年間で最も高くなっている

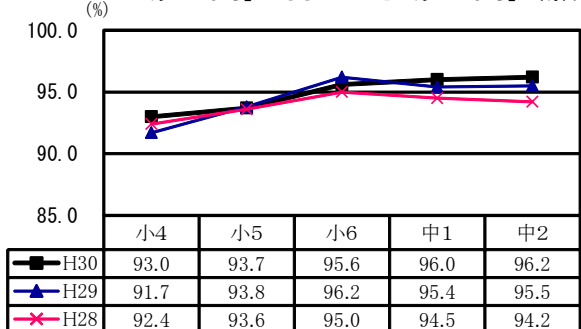
各学校においては、児童生徒が自分の考えを発表する機会を授業の中で積極的に位置付けていることがうかがえる。

[4-2] ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている

	①	②	③	④
小4	60.1	32.9	5.6	1.3
小5	63.3	30.4	5.3	1.1
小6	67.1	28.5	3.7	0.7
中1	67.1	28.9	3.4	0.6
中2	64.9	31.3	3.3	0.5



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合

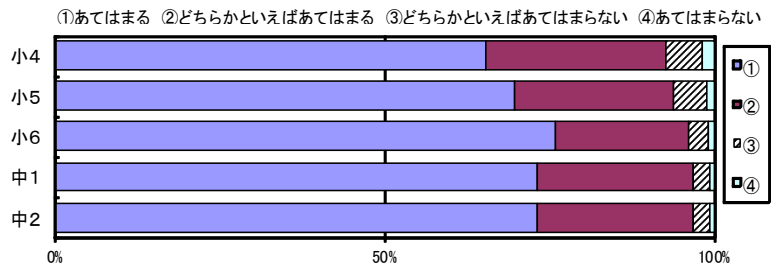


肯定的な回答の割合が、全ての学年で93%以上であり、小学校第4学年と中学校においては、この3年間で最も高くなっている。また、小・中学校とも、学年が上がるに従って、割合が高くなっている。

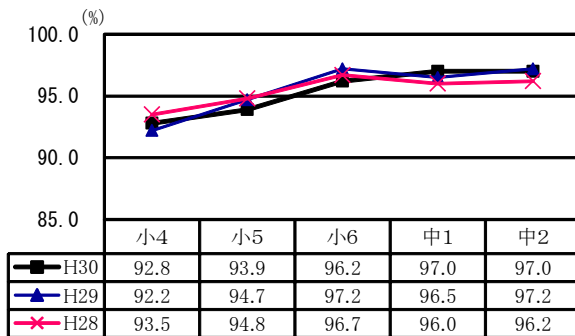
各学校において、児童生徒による話し合いの場が確実に設定され、友達との関わりから、互いのよさや多様な考えを認め合って授業が展開されていることがうかがえる。

[4-3] ふだんの授業では、授業の目標（めあて・ねらい）を立てて取り組んでいると思う

	①	②	③	④
小4	65.4	27.4	5.6	1.6
小5	69.8	24.1	5.1	0.9
小6	76.1	20.1	3.1	0.7
中1	73.3	23.7	2.5	0.5
中2	73.4	23.6	2.5	0.5



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合

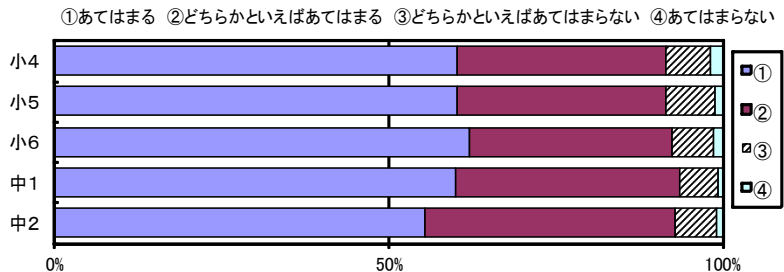


肯定的な回答の割合が、中学校第1学年においては、この3年間で最も高くなっている。

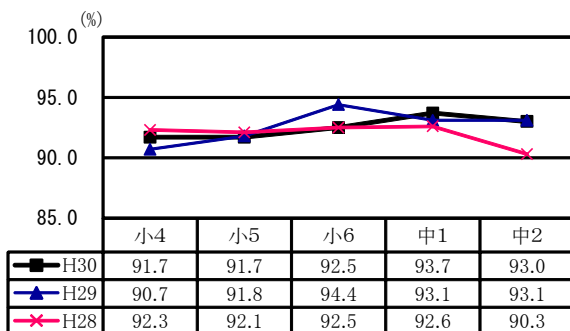
各学校においては、導入の手立てを工夫するなどして、児童生徒に学習の見通しをもたせ、授業を展開している様子がうかがえる。

[4-4] ふだんの授業では、最後に振り返る活動をよく行っていると思う

	①	②	③	④
小4	60.6	31.1	6.8	1.6
小5	60.4	31.3	7.2	1.1
小6	62.4	30.1	6.3	1.2
中1	60.3	33.4	5.7	0.6
中2	55.4	37.6	6.2	0.7



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合



肯定的な回答の割合が、全ての学年で90%以上である。

各学校においては、振り返りを大切にし、児童生徒が本時の学びと自身の変容を実感できる授業が展開されていることがうかがえる。

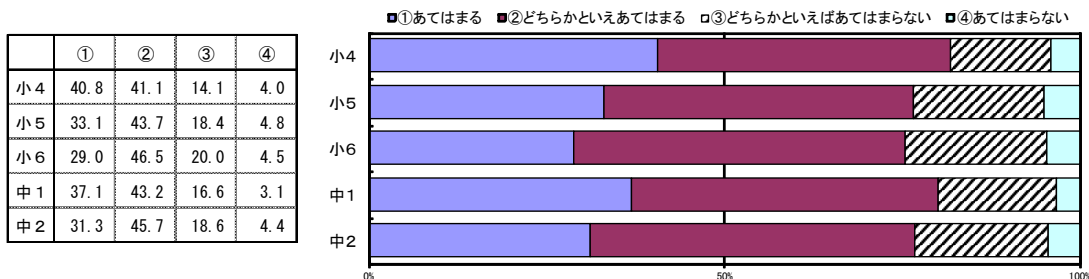
⑦ 各教科等の学習に対する意識について

[グラフ等の見方]

表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合

折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

【国語】質問：国語の勉強は好きだ

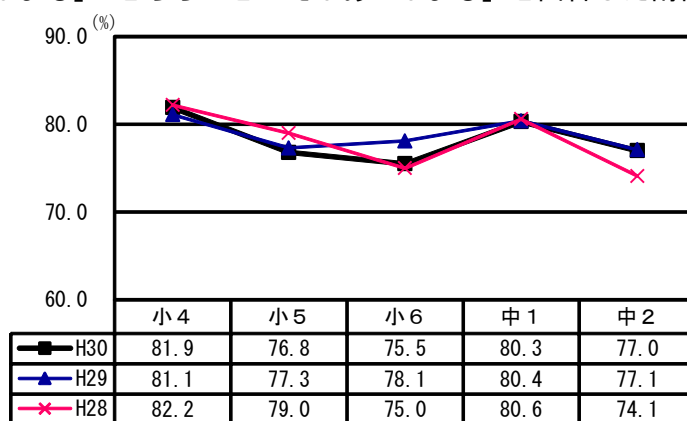


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

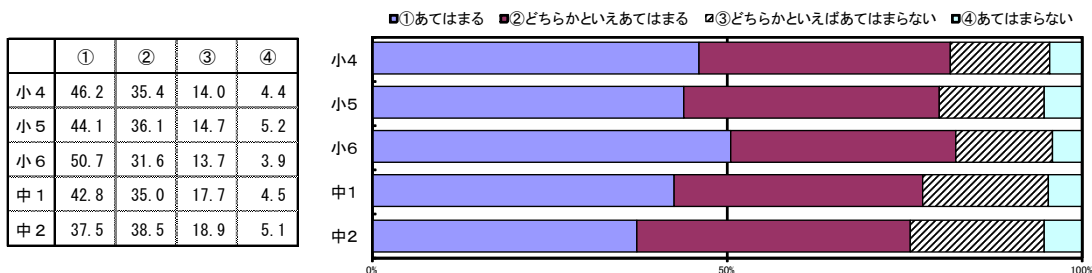
		小4	小5	小6	中1	中2
「あてはまる」等と回答した理由	① 内容に興味があっておもしろい	22.2%	19.2%	17.8%	21.9%	19.8%
	② 分かりやすい	15.6%	12.4%	10.5%	14.0%	14.6%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	9.5%	13.7%	16.6%	14.9%	15.7%
	④ 生活の中で役立つ	8.4%	8.8%	10.0%	8.2%	6.8%
	⑤ 考えるのが楽しい	15.6%	12.7%	11.4%	10.8%	9.5%
	⑥ 得意	6.6%	6.0%	5.3%	6.1%	5.9%
「あてはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	2.8%	4.4%	5.1%	5.1%	6.8%
	⑧ 分かりにくい	4.4%	4.0%	3.4%	2.9%	3.6%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	0.2%
	⑪ 考えるのがめんどろ	1.4%	2.4%	2.6%	1.5%	1.6%
	⑫ 不得意	8.4%	11.1%	12.0%	8.9%	9.5%
	⑬ その他・不明	4.9%	5.0%	4.9%	5.4%	5.9%

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合の推移



小学校では75%以上、中学校では77%以上が肯定的な回答をしている。肯定的な回答の理由として、全学年を通じて、「内容に興味があっておもしろい」の割合が最も高くなっている。また、「将来、社会に出たときに役立つ」を理由として挙げた児童生徒の割合が、小・中学校とも、学年が上がるに従って高くなる傾向が見られる。

【社会】質問：社会の勉強は好きだ

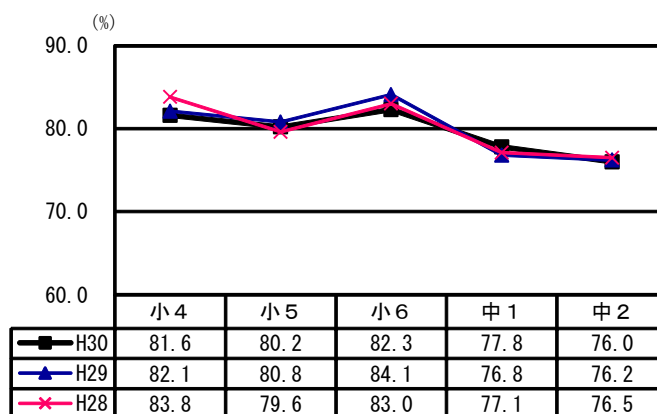


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

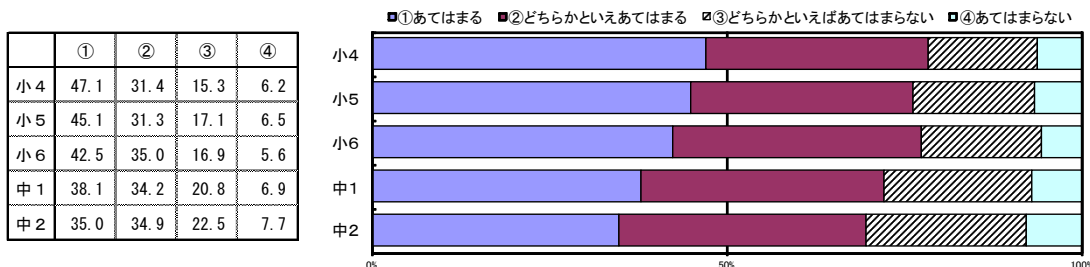
		小4	小5	小6	中1	中2
「あてはまる」等と回答した理由	① 内容に興味があっておもしろい	16.8%	19.2%	37.3%	32.0%	31.3%
	② 分かりやすい	9.8%	9.2%	8.6%	11.9%	12.3%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	31.5%	29.6%	14.3%	12.7%	11.4%
	④ 生活の中で役立つ	9.1%	7.0%	2.9%	2.5%	2.7%
	⑤ 考えるのが楽しい	7.9%	7.7%	10.0%	10.2%	8.2%
	⑥ 得意	4.2%	5.1%	7.1%	5.4%	5.8%
「あてはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	3.6%	4.3%	3.6%	3.9%	5.4%
	⑧ 分かりにくい	4.7%	4.4%	3.7%	4.2%	4.3%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.3%	0.2%	0.5%	1.2%	1.1%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.2%	0.1%	0.4%	0.5%	0.7%
	⑪ 考えるのがめんどろ	1.4%	1.6%	0.9%	0.6%	0.8%
	⑫ 不得意	7.3%	8.4%	7.8%	11.0%	11.0%
	⑬ その他・不明	3.1%	3.1%	3.0%	4.1%	5.0%

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合の推移



小学校では80%以上、中学校では76%以上が肯定的な回答をしている。肯定的な回答の理由として、小学校第4・5学年では、「将来、社会に出たときに役立つ」の割合が高く、小学校第6学年及び中学校第1・2学年では、「内容に興味があっておもしろい」の割合が高くなっている。

【算数、数学】質問：算数（数学）の勉強は好きだ

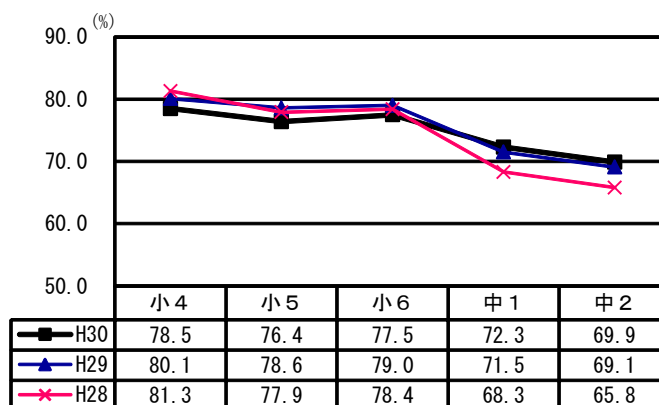


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

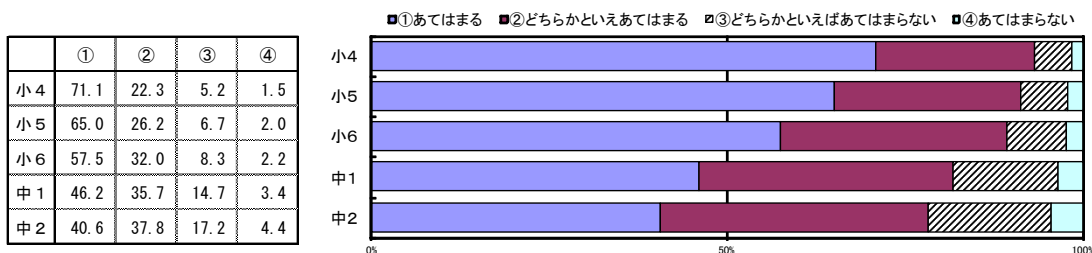
		小4	小5	小6	中1	中2
「あてはまる」等と 回答した理由	① 内容に興味があっておもしろい	8.9%	9.4%	9.1%	9.2%	9.7%
	② 分かりやすい	12.0%	10.4%	8.9%	10.8%	10.0%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	11.3%	12.4%	17.7%	15.8%	12.7%
	④ 生活の中で役立つ	13.3%	10.9%	11.8%	8.7%	6.2%
	⑤ 考えるのが楽しい	18.2%	19.8%	18.3%	17.7%	20.2%
	⑥ 得意	12.6%	11.5%	10.0%	7.7%	7.9%
「あてはまらない」等と 回答した理由	⑦ 内容に興味がない	1.6%	1.9%	2.3%	2.4%	2.9%
	⑧ 分かりにくい	6.5%	5.6%	4.1%	6.4%	5.8%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.1%	0.1%	0.1%	0.4%	0.6%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.1%	0.2%	0.1%	0.2%	0.3%
	⑪ 考えるのがめんどろ	3.0%	3.3%	3.5%	2.9%	3.5%
	⑫ 不得意	9.4%	11.8%	11.6%	14.5%	16.1%
	⑬ その他・不明	3.1%	2.8%	2.4%	3.3%	4.0%

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合の推移



肯定的な回答の割合は、小学校から中学校へと学年が上がるに従って減少しているが、中学校においては、この3年間で最も高くなっている。また、肯定的な回答の理由として、「考えるのが楽しい」の割合が全ての学年で最も高くなっている。一方、小学校第5学年から「不得意」の割合が「得意」の割合を上回っており、学年が上がるに従って「不得意」と「得意」の割合の差が広がる傾向が見られる。

【理科】質問：理科の勉強は好きだ

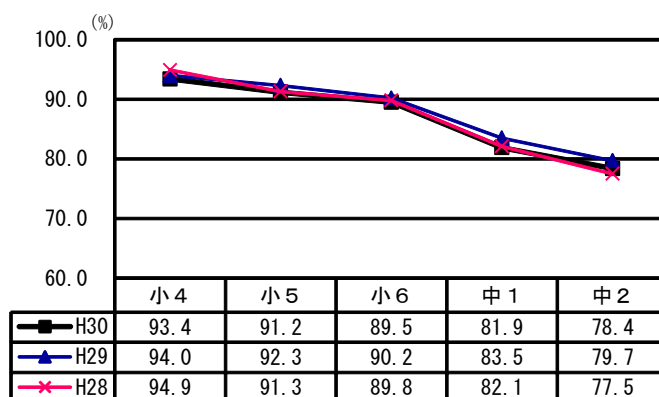


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

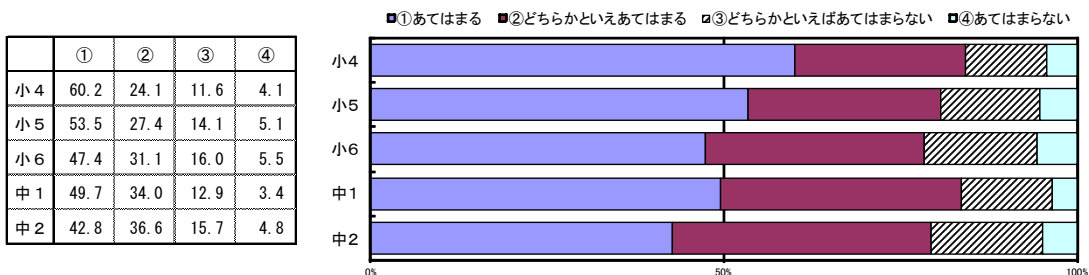
		小4	小5	小6	中1	中2
「あてはまる」等と回答した理由	① 内容に興味があっておもしろい	29.5%	33.5%	33.0%	32.7%	31.1%
	② 分かりやすい	10.5%	10.0%	11.0%	9.7%	10.2%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	4.4%	4.2%	4.8%	4.2%	4.9%
	④ 生活の中で役立つ	8.4%	6.1%	6.9%	6.6%	6.7%
	⑤ 考えるのが楽しい	25.3%	23.6%	20.8%	18.4%	15.5%
	⑥ 得意	12.3%	10.6%	9.5%	6.4%	6.0%
「あてはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	0.9%	1.4%	2.7%	2.8%	3.6%
	⑧ 分かりにくい	1.7%	1.8%	2.1%	4.3%	5.0%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.2%	0.4%	0.6%	1.3%	1.3%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.3%	0.3%	0.3%	0.7%	0.4%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.6%	0.8%	0.8%	0.9%	1.4%
	⑫ 不得意	2.3%	3.4%	3.6%	7.3%	8.9%
	⑬ その他・不明	3.6%	3.9%	3.9%	4.6%	5.1%

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合の推移



小学校では89%以上、中学校では78%以上が肯定的な回答をしている。肯定的な回答の理由として、「内容に興味があっておもしろい」の割合が最も高くなっている。また、昨年度と比べて「考えるのが楽しい」と回答している割合が、全ての学年において高くなっている。

【音楽】質問：音楽の勉強は好きだ

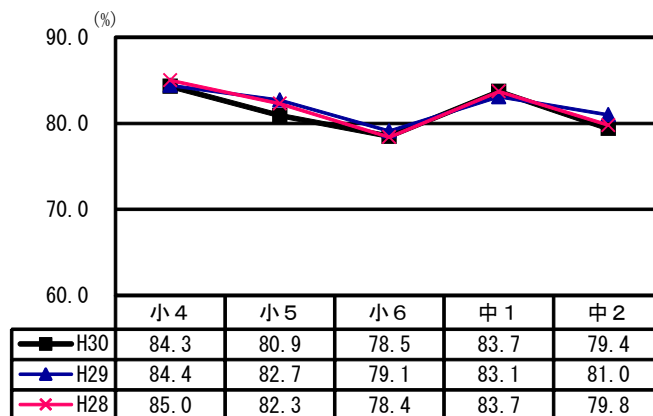


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

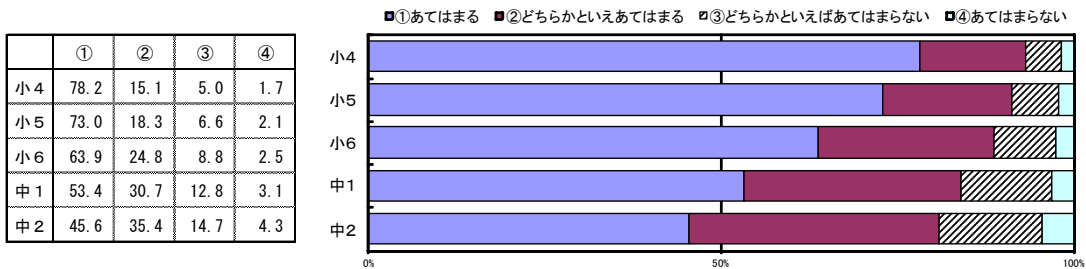
		小4	小5	小6	中1	中2
「あてはまる」等と回答した理由	① 内容に興味があっておもしろい	21.3%	24.7%	26.0%	34.1%	34.1%
	② 分かりやすい	13.2%	10.3%	10.5%	9.9%	7.8%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	2.2%	2.4%	2.0%	1.8%	1.5%
	④ 生活の中で役立つ	3.1%	2.5%	1.8%	2.1%	2.1%
	⑤ 考えるのが楽しい	8.3%	7.7%	7.5%	10.3%	9.2%
	⑥ 得意	26.4%	22.8%	19.9%	14.9%	11.7%
「あてはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	2.3%	3.7%	3.8%	4.1%	6.6%
	⑧ 分かりにくい	2.5%	2.1%	2.3%	0.9%	1.1%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.7%	1.5%	2.3%	2.2%	2.7%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.6%	0.9%	1.0%	1.2%	1.2%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.4%	0.3%	0.4%	0.5%	0.5%
	⑫ 不得意	8.1%	9.4%	10.7%	6.7%	7.3%
	⑬ その他・不明	10.8%	11.5%	11.8%	11.3%	14.0%

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合の推移



小学校では78%以上、中学校では79%以上が肯定的な回答をしている。中学校第1学年では、肯定的な回答のうち「あてはまる」と回答した割合が昨年度に比べて高くなっている。肯定的な回答の理由として、「内容に興味があっておもしろい」の割合が、学年が上がるに従って高くなる傾向が見られる。また、小学校では、「得意」の割合も高くなっている。

【図画工作、美術】質問：図工（美術）の勉強は好きだ

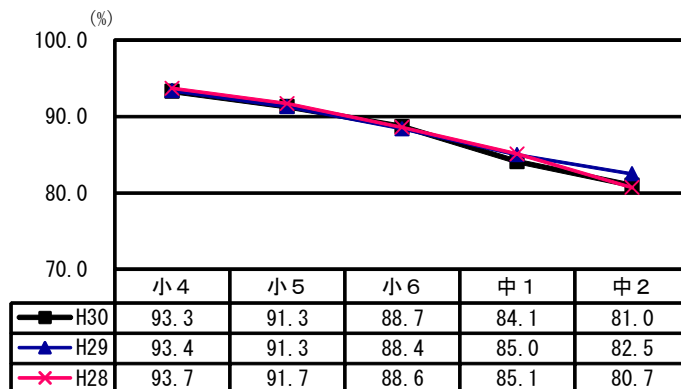


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

		小4	小5	小6	中1	中2
「あてはまる」等と回答した理由	① 内容に興味があっておもしろい	22.6%	26.4%	27.2%	30.2%	30.9%
	② 分かりやすい	5.1%	4.1%	4.3%	5.9%	5.3%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	2.8%	2.2%	2.4%	1.9%	1.3%
	④ 生活の中で役立つ	3.8%	3.4%	3.4%	2.6%	2.3%
	⑤ 考えるのが楽しい	25.3%	26.4%	26.9%	22.9%	21.2%
	⑥ 得意	28.0%	23.2%	18.6%	12.7%	11.3%
「あてはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	0.8%	1.4%	1.7%	3.5%	4.9%
	⑧ 分かりにくい	0.5%	0.3%	0.4%	0.6%	0.7%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.3%	0.4%	0.9%	1.9%	2.3%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.3%	0.4%	0.4%	1.0%	1.1%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.4%	0.6%	0.8%	0.6%	0.7%
	⑫ 不得意	3.9%	5.0%	6.7%	7.5%	8.4%
	⑬ その他・不明	6.3%	6.1%	6.3%	8.7%	9.8%

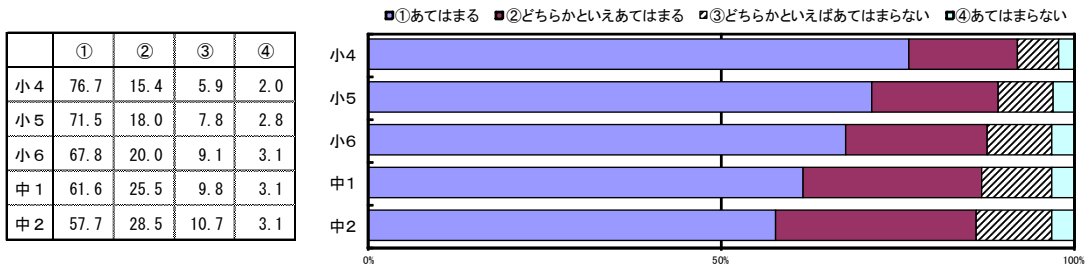
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合の推移



学年が上がるに従って肯定的な回答の割合が低くなっているが、小学校では88%以上、中学校では81%以上が肯定的な回答をしており、全体的に高い数値を示している。肯定的な回答の理由としては、「内容に興味があっておもしろい」の割合が学年が上がるに従って高くなっている。また、全学年において「考えるのが楽しい」「得意」の割合が高くなっている。



【体育、保健体育】質問：体育（保体）の勉強は好きだ

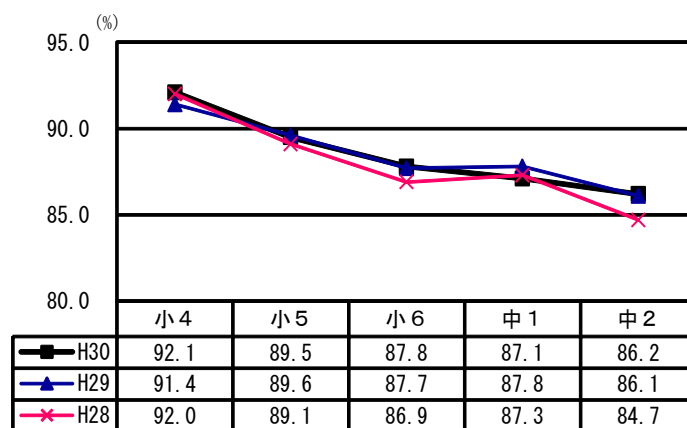


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

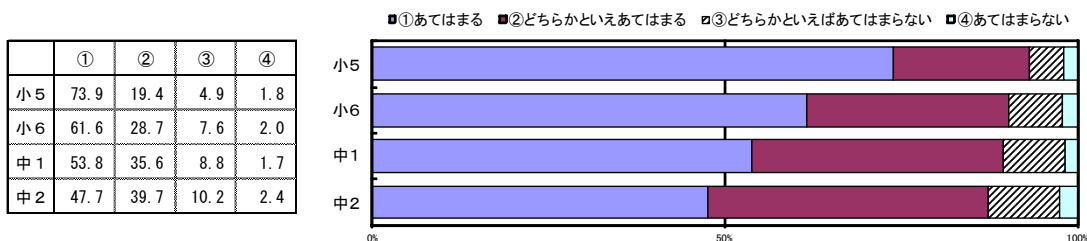
		小4	小5	小6	中1	中2
「あてはまる」等と回答した理由	① 内容に興味があっておもしろい	19.7%	24.8%	25.1%	26.2%	28.4%
	② 分かりやすい	4.7%	3.7%	3.9%	5.5%	4.1%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	4.5%	4.8%	4.4%	5.0%	3.9%
	④ 生活の中で役立つ	7.7%	5.6%	4.2%	6.2%	6.4%
	⑤ 考えるのが楽しい	2.7%	3.0%	3.3%	4.3%	4.2%
	⑥ 得意	42.4%	37.0%	35.8%	30.5%	27.8%
「あてはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	0.8%	0.8%	1.0%	1.8%	1.8%
	⑧ 分かりにくい	0.3%	0.3%	0.2%	0.3%	0.3%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.3%	0.4%	0.4%	0.6%	0.7%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.2%	0.3%	0.2%	0.3%	0.2%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.1%	0.2%	0.1%	0.2%	0.3%
	⑫ 不得意	5.7%	8.0%	9.9%	8.8%	9.7%
	⑬ その他・不明	10.9%	11.3%	11.5%	10.3%	12.2%

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合の推移



肯定的な回答の割合は全ての学年で86%以上であり、小学校第4・6学年、中学校第2学年において、この3年間で最も高くなっている。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「得意」の割合が高くなっている。また、「内容に興味があっておもしろい」の割合が、学年が上がるに従って高くなっている。

【家庭、技術・家庭】 質問：家庭（技・家）の勉強は好きだ

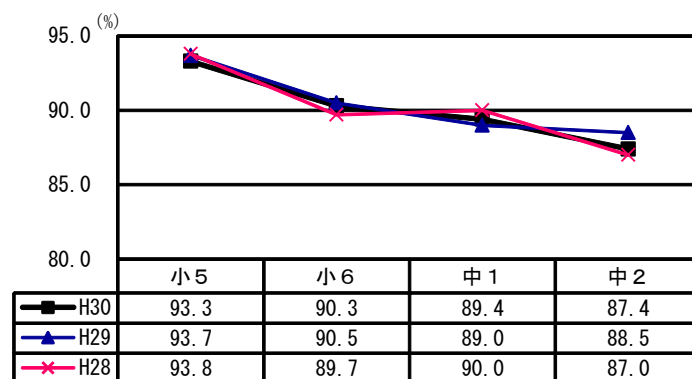


[理由]

%は全児童生徒に対する割合

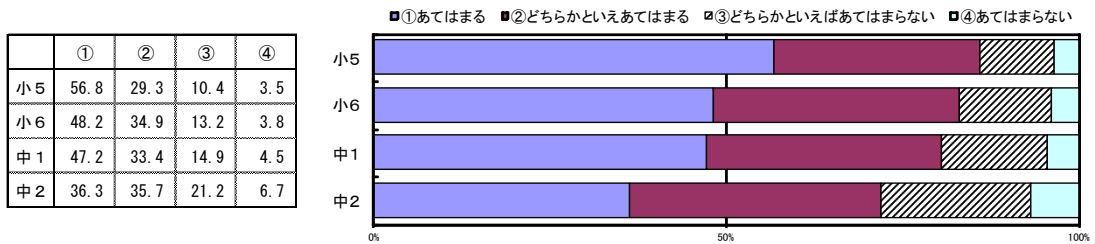
		小5	小6	中1	中2
「あてはまる」等と回答した理由	① 内容に興味があっておもしろい	17.5%	16.2%	22.0%	25.4%
	② 分かりやすい	4.0%	4.3%	4.8%	4.4%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	17.6%	18.5%	18.2%	16.7%
	④ 生活の中で役立つ	31.6%	31.9%	23.2%	20.9%
	⑤ 考えるのが楽しい	4.1%	3.4%	8.8%	7.8%
	⑥ 得意	15.6%	13.2%	9.0%	8.0%
「あてはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味が無い	1.2%	2.2%	3.2%	4.6%
	⑧ 分かりにくい	1.1%	0.9%	1.0%	1.1%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.2%	0.1%	0.3%	0.4%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.3%	0.3%	0.8%	0.8%
	⑫ 不得意	3.4%	5.5%	4.4%	4.5%
	⑬ その他・不明	3.3%	3.3%	4.2%	5.0%

「あてはまる」「どちらかといえあてはまる」と回答した割合の推移



肯定的な回答の割合は全ての学年で87%以上で、全教科の中で最も高くなっており、学年進行に伴う肯定的な回答の割合の減少も非常に小さい。肯定的な回答の理由として、小学校では「将来、社会に出たときに役立つ」「生活の中で役立つ」、中学校では「内容に興味があっておもしろい」の割合が、学年が上がるに従って高くなっている。

【英語（小学校外国語活動、中学校外国語）】質問：外国語活動（外国語）の勉強は好きだ

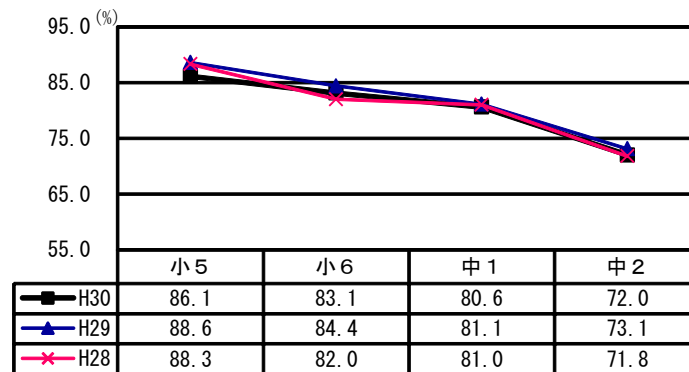


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

		小5	小6	中1	中2
「あてはまる」等と 回答した理由	① 内容に興味があっておもしろい	15.8%	14.0%	13.7%	13.0%
	② 分かりやすい	9.1%	8.3%	8.4%	7.2%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	31.2%	35.0%	32.4%	30.6%
	④ 生活の中で役立つ	6.2%	5.4%	4.9%	4.6%
	⑤ 考えるのが楽しい	11.7%	8.9%	6.8%	5.7%
	⑥ 得意	8.1%	7.0%	11.1%	7.4%
「あてはまらない」等と 回答した理由	⑦ 内容に興味がない	1.9%	2.4%	2.2%	3.0%
	⑧ 分かりにくい	4.5%	4.8%	4.5%	6.1%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.2%	0.3%	0.6%	0.5%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.3%	0.4%	0.5%	0.6%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.8%	1.0%	0.8%	1.4%
	⑫ 不得意	5.1%	7.3%	10.2%	15.6%
	⑬ その他・不明	5.0%	5.2%	3.9%	4.2%

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合の推移

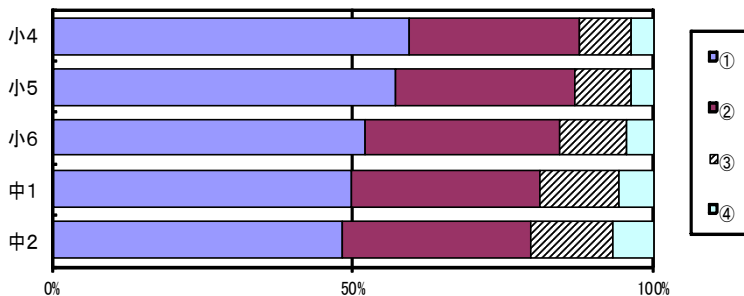


小学校では83%以上、中学校では72%以上が肯定的な回答をしている。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「将来、社会に出たときに役立つ」の割合が最も高くなっている。また、全学年において「内容に興味があっておもしろい」の割合が高くなっている。

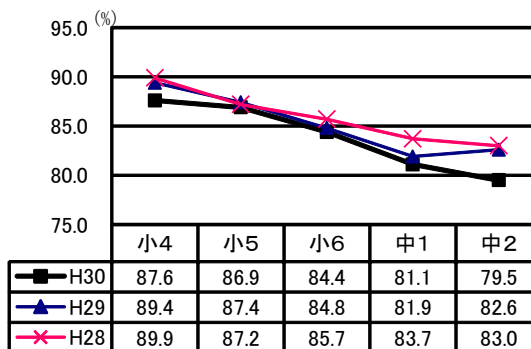
⑧ 読書について  
[読書は好きだ]

	①	②	③	④
小4	59.4	28.2	8.6	3.7
小5	57.2	29.7	9.4	3.7
小6	52.1	32.3	11.1	4.5
中1	49.6	31.5	13.0	5.8
中2	48.2	31.3	13.8	6.7

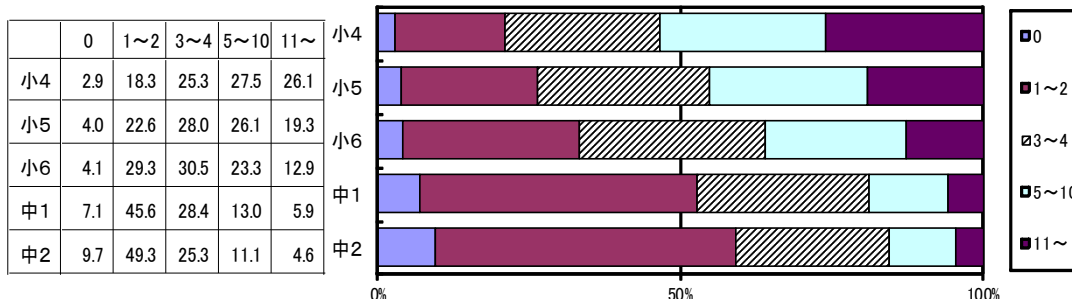
①あてはまる ②どちらかといえばあてはまる ③どちらかといえばあてはまらない ④あてはまらない



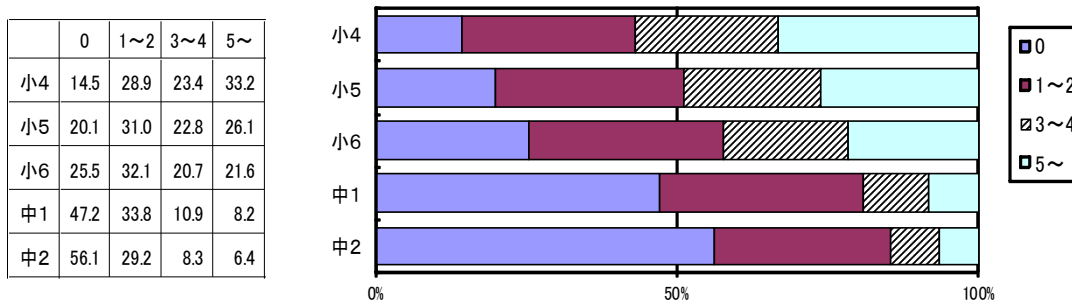
「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の割合



[1か月に何冊くらい本を読むか (教科書・学習参考書・マンガ・雑誌や付録を除く)]



[1か月に何回くらい図書館を利用するか]



全ての学年において、児童生徒の79%以上は読書が好きだと回答している。また、全ての学年の児童生徒の90%以上が1か月に1冊以上の本を読んでおり、特に小学校では、1か月に5冊以上の本を読んでいる児童が36%以上いることから、日常的に読書に親しんでいる様子がうかがえる。図書館等の利用回数については、小学校では月に1回以上利用している児童がおおよそ7割以上いるが、中学校では月に1回以上利用している生徒は5割程度である。

## 4 結果と考察

(1) 国語

(2) 社会

(3) 算数、数学

(4) 理科

(5) 英語

#### 4 結果と考察 (1)国語

平成30年度小学校学習状況調査 第4学年 国語 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					書 く 能 力	読 む 能 力	言語 知識・ 理解・ 技能
第 4 学 年	こ書 とく	ウ(3・4年)	・将来の夢と、その夢をもったきっかけが読む人に伝わるように文章を書いている。	12)	○		
	読 む こ と	ウ(3・4年)	・登場人物の行動や気持ちの変化に即しながら、人物相互の関係を踏まえ、登場人物の気持ちを想像して読んでいる。	7)		○	
				8)		○	
				9)		○	
				10)		○	
				11)		○	
	伝 統 的 な 言 語 文 化 と 国 語 の 特 質 に 関 す る 事 項	(1)ウ(イ) (3・4年)	・第4学年までに配当されている漢字を、文や文章の中で正しく読んでいる。	1)			○
				2)			○
		(1)イ(キ) (3・4年)	・第3学年までに配当されている漢字を、文や文章の中で正しく書いている。	3)			○
				4)			○
				5)			○
				6)			○
(1)ア(イ) (3・4年)	・ことわざや慣用句の意味と使い方について理解している。				○		

小学校 4年 国語 小問別通過率と設定通過率

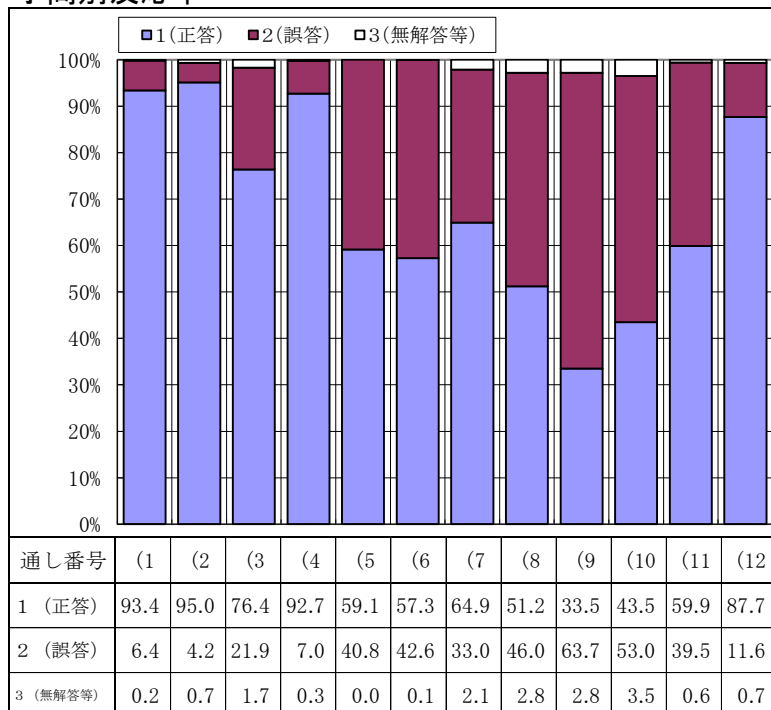
平均通過率 67.9%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	漢字の読み (あたり)	93.4	85.0	
(2)	漢字の読み (せっきょくてき)	95.0	85.0	
(3)	漢字の書き (医者)	76.4	75.0	
(4)	漢字の書き (温かい)	92.7	85.0	
(5)	修飾と被修飾との関係の理解	59.1	65.0	
(6)	ことわざや慣用句の理解	57.3	65.0	
(7)	登場人物の心情の理解	64.9	70.0	
(8)	登場人物の心情の理解	51.2	65.0	
(9)	叙述に基づいた状況の理解	33.5	60.0	
(10)	登場人物の心情の変化の理解	43.5	60.0	
(11)	登場人物の心情の変化の理解	59.9	65.0	
(12)	将来の夢とその夢をもった理由を書く [作文]	87.7	80.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 小学校 4年 国語

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (200校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	平均通過率
100%	53	69	15	60	7	5	8	4		1	4	58	
90%~100%	96	103	19	96	5	8	5	2	3	1	2	63	1
80%~90%	43	23	55	34	24	17	22	8	3	2	9	40	17
70%~80%	6	3	47	6	25	18	39	24	5	11	31	17	68
60%~70%	2	1	35	2	43	37	65	30	8	20	58	9	90
50%~60%		1	17	1	51	58	37	43	13	37	62	7	22
40%~50%			6		30	34	9	40	27	49	21	1	2
30%~40%			3		10	17	6	27	59	55	5	1	
20%~30%			1		4	5	3	18	52	16	5	3	
10%~20%					1	1	3	3	23	4	1		
0%~10%			2	1			3	1	7	4	2		



# 小学校4年 国語 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	領域別			計
	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	
+10% より高い	0	0	1	1
±10% の範囲内	1	2	5	8
-10% より低い	0	3	0	3
計	1	5	6	12

## 2 考察

### (1) 全体について

12問中9問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

### (2) 成果

①「書くこと」では、紹介する対象を明確にし、理由が分かるように文章を書くことに指導の成果が見られる。

②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、漢字の読み書きについて指導の成果が見られる。

### (3) 課題

①「読むこと」では、場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の言動や情景に関する叙述に着目し、登場人物の状況を理解したり、心情の変化を捉えたりすることに課題が見られる。

②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、修飾語と被修飾語の関係を理解することに課題が見られる。

## 3 今後の指導

叙述に着目して登場人物の状況を正確に理解した上で、登場人物の心情の変化などについて多様に想像を広げて読む指導の充実を図る。

- ・場面の移り変わりに応じて、登場人物の言動や情景などがどのように叙述されているかを整理することで、登場人物の置かれた状況を正確に理解できるようにする。
- ・文章中のどの叙述とどの叙述を結び付けて登場人物の心情の変化や性格などを捉えたかを交流するなど、複数の場面の叙述を結び付けて読むことの大切さに気付かせる学習活動を工夫することで、多様に想像を広げて読むことができるようにする。

3 「参考 通し番号9）」  
短きより走で、「のぶよ」の走る順番になったことが分かる表現を見つけ、**十五**字でぬき出して書きなさい。

文の中で語句の役割や語句相互の関係を捉え、文の構成についての正確な理解を促す指導の充実を図る。

- ・様々な構成の文を取り上げて、述語に照応する主語を捉えさせたり、修飾語がどの語句に係るかを考えさせたりすることで、語句の役割や語句相互の関係について理解できるようにする。
- ・「書くこと」の学習とも関連を図り、児童が自分で書いた文や文章を、主語と述語の関係や修飾語と被修飾語との関係などに注意しながら、丁寧に読み返して推敲する活動を意図的に取り入れる。

3 「参考 通し番号5）」  
次の文の「やわらかい」ほどの言葉をくわしくしていますか。  
次のア、エから一つ選んで、の中に記号を書きなさい。

ア わたあめのように やわらかい  
イ 雪の上を かけ回る。  
エ

平成30年度小学校学習状況調査 第5学年 国語 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点			
					話 す 能 力 聞 く 能 力	書 く 能 力	読 む 能 力	知 識 ・ 理 解 ・ 技 能
第 5 学 年	聞 話 く す こ と	ア(5・6年)	・伝えたい事柄についての知識や情報を関係付けて話している。	10)	○			
		エ(5・6年)	・話し手の意図をとらえながら話の内容を聞き取り、自分の考えをまとめている。	11)	○			
	こ 書 と く	ウ(5・6年)	・提案する内容について、選んだ理由と具体的な方法とを区別して書いている。	16)		○		
	読 む こ と	ウ(5・6年)	・文章の内容を的確に押さえて読んでいる。	12)			○	
				13)			○	
		ウ(5・6年)	・文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえている。	14)			○	
		ウ(5・6年)	・事実と感想、意見などとの関係を押さえて読んでいる。	15)			○	
	伝 統 的 な 言 語 文 化 と 国 語 の 特 質 に 関 す る 事 項	(1)ウ(ア) (5・6年)	・第5学年までに配当されている漢字を、文や文章の中で正しく読んでいる。	1)				○
				2)				○
			・第4学年までに配当されている漢字を、文や文章の中で正しく書いている。	3)				○
				4)				○
		(1)イ(エ) (5・6年)	・熟語の構成について理解している。	5)				○
		(1)ウ(イ) (5・6年)	・漢字の由来、特質などについて理解している。	6)				○
		(1)イ(ク) (5・6年)	・敬語の使い方について理解している。	7)				○
(1)イ(キ) (3・4年)	・修飾と被修飾との関係について理解している。	8)				○		
(1)ア(イ) (3・4年)	・ことわざや慣用句の意味と使い方を理解している。	9)				○		

小学校 5年 国語 小問別通過率と設定通過率

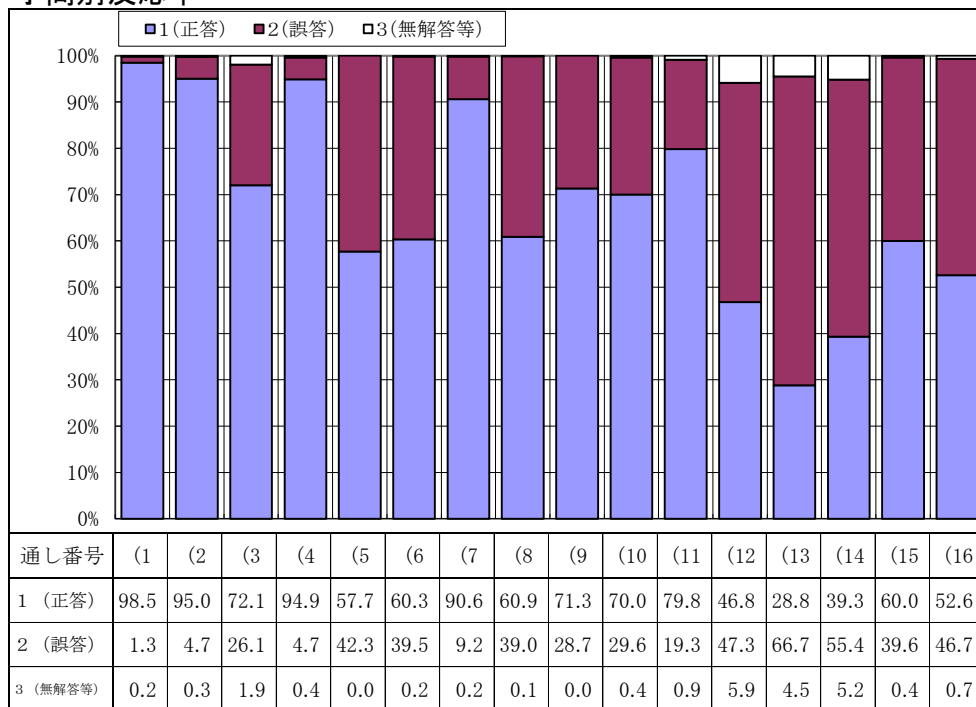
平均通過率 67.4%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	漢字の読み (ささえる)	98.5	85.0	
(2)	漢字の読み (ひょうばん)	95.0	80.0	
(3)	漢字の書き (配達)	72.1	70.0	
(4)	漢字の書き (笑う)	94.9	80.0	
(5)	熟語の構成の理解	57.7	65.0	
(6)	漢字の成り立ちの理解	60.3	65.0	
(7)	敬語の正しい使い方の理解	90.6	80.0	
(8)	修飾と被修飾との関係の理解	60.9	65.0	
(9)	ことわざや慣用句の理解	71.3	70.0	
(10)	取材の仕方の工夫の理解	70.0	65.0	
(11)	取材したことを発表原稿にまとめる	79.8	75.0	
(12)	筆者の意図の理解	46.8	65.0	
(13)	指示する語句が指し示す内容の理解	28.8	65.0	
(14)	文章の要旨をまとめる	39.3	60.0	
(15)	文章の構成や展開の工夫の理解	60.0	60.0	
(16)	提案する内容を選んだ理由と実現のための具体的な方法を書く [作文]	52.6	70.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 小学校 5年 国語

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (201校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	平均通過率
100%	131	69	12	77	3	4	47	11	13	8	28	2	3	2	3	24	
90%~100%	67	108	14	97	4	5	79	8	15	1	51	1		1	1	20	
80%~90%	3	24	48	23	12	15	63	19	36	27	55	9	2		13	20	11
70%~80%			54	2	28	31	10	38	37	67	27	14	7	5	22	12	65
60%~70%			40		46	53	2	34	58	64	14	19	10	17	64	9	104
50%~60%			26	1	52	51		45	30	27	11	41	23	29	62	23	20
40%~50%			5		28	29		31	7	5	6	55	16	48	26	21	
30%~40%			1		16	7		12	5	1	5	36	21	50	5	35	1
20%~30%			1		6	4		2			2	17	38	31	2	28	
10%~20%					1	1		1				2	43	11		5	
0%~10%				1	5	1				1	2	5	38	7	3	4	

# 小学校5年 国語 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	領域別				計
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	
+10%より高い	0	0	0	4	4
±10%の範囲内	2	0	1	5	8
-10%より低い	0	1	3	0	4
計	2	1	4	9	16

## 2 考察

### (1) 全体について

- ①16問中12問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ②「読むこと」に関しては、3問が設定通過率の「-10%より低い」状況であり、今後の改善が必要である。

### (2) 成果

- ①「話すこと・聞くこと」では、話し手の意図を考慮しながら内容を整理し、発表用の原稿としてまとめることについて、指導の成果が見られる。
- ②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、漢字の読み書きや敬語の正しい使い方について、指導の成果が見られる。

### (3) 課題

- ①「読むこと」では、指示する語句の指し示す内容を押さえながら文章の内容を正確に理解したり、要旨をまとめたりすることに課題が見られる。
- ②「書くこと」では、目的や意図に応じ、条件に沿って自分の考えを書くことに課題が見られる。

## 3 今後の指導

**指示する語句の指し示す内容を確認しながら、文章の内容を正確に捉える指導の充実を図る。**

- ・指示する語句が指し示す内容を考え、文中で置き換えてみた上で、前後の文と文、内容と内容のつながりが妥当かを検討し合うなど、学習活動を工夫する。
- ・「書くこと」の指導とも関連を図り、指示する語句を適切に使うことで、文をより簡潔に表現したり、内容のつながりを明瞭に表したりできることを実感できるようにする。

**目的や意図に応じて、収集した材料を整理し、構成や内容、書き表し方を工夫して書く指導の充実を図る。**

- ・目的や意図に応じて、収集した材料を取捨選択したり、材料の優先順位を考えたりすることで、伝える内容を明確にすることや書き表し方の工夫を考えることにつながるようにする。
- ・推敲したり、感想や意見を交流し合ったりする学習活動を通して、書いた文章が目的や意図に応じた構成や内容、書き表し方になっているかを児童自身が確かめて、表現に生かすことができるようにする。

4 「参考 通し番号16)」  
 にとみさんの学校の児童会では、「学校生活をよりよいものにするため、「学校を百倍すてきにする方法」というテーマで全校児童からアイデアを募集しています。あなたなら次のアウのうち、どの内容を提案しますか。「提案する内容」を選んだ理由と、提案を実現するための方法としてあなだが考えたことを、あとの《注意》にしたがって書きなさい。

2 「参考 通し番号13)」  
 きなさい。その場が指し示している内容を、文章中の言葉を用いて書

平成30年度小学校学習状況調査 第6学年 国語 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点			
					話 す 能 力 聞 く 能 力	書 く 能 力	読 む 能 力	知 識 ・ 理 の 解 い て 技 の 能
第 6 学 年	聞話 くす ことと こ書 とく	イ(5・6年)	・目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫している。	12)	○			
		ウ(5・6年)	・目的に応じて、グラフから分かる事実と、感想や意見などを区別して書いている。	20)		○		
	読 む こ と	エ(5・6年)	・登場人物の相互関係や行動描写に着目し、心情をとらえている。	13)			○	
			・情景描写から、場面の様子をとらえている。	14)			○	
			・登場人物の心情を表す描写をとらえている。	15)			○	
				16)			○	
				17)			○	
		・登場人物の行動や会話から、心情や人物像について、自分の考えをまとめている。	18)			○		
			19)			○		
	国 語 統 的 特 な 質 言 に 語 関 文 す 化 と 事 項	(1)ウ(ア)	・第6学年までに配当されている漢字を、文や文章の中で正しく読んでいる。	1)				○
		(1)ウ(イ)	・第5学年までに配当されている漢字を、文や文章の中で正しく書いている。	2)				○
		(1)ウ(エ)	・送り仮名に注意して漢字を正しく書いている。	3)				○
		(1)ウ(オ)	・送り仮名に注意して漢字を正しく書いている。	4)				○
		(1)イ(ハ)	・送り仮名に注意して漢字を正しく書いている。	5)				○
		(1)ア(イ)	・ことわざや慣用句の意味と使い方について理解している。	6)				○
		(1)イ(キ)	・修飾と被修飾との関係について理解している。	7)				○
		(1)イ(ク)	・文の中での語句の照応の仕方について理解している。	8)				○
(1)イ(ケ)		・敬語の使い方について理解している。	9)				○	
(1)イ(コ)	・比喩の表現の工夫について理解している。	10)				○		
(1)イ(ク)	・比喩の表現の工夫について理解している。	11)				○		
(1)イ(ケ)	・比喩の表現の工夫について理解している。					○		
(1)イ(コ)	・熟語の構成について理解している。					○		

小学校 6年 国語 小問別通過率と設定通過率

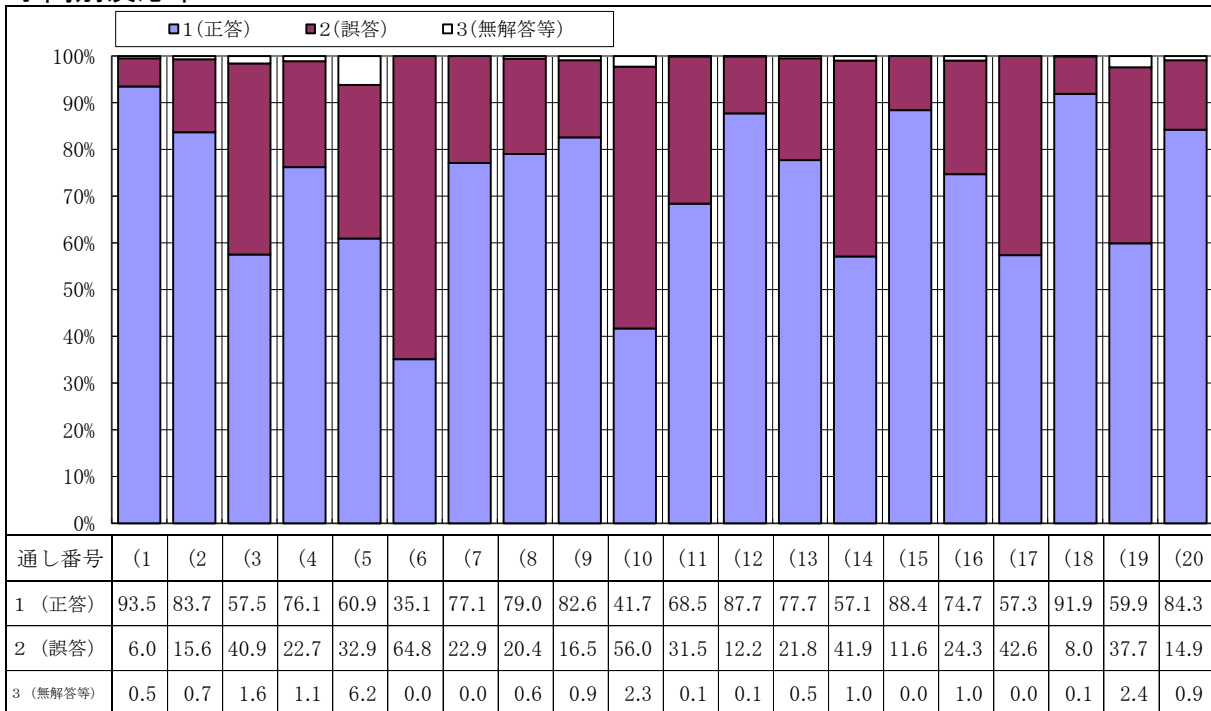
平均通過率 71.7%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	漢字の読み (つくる)	93.5	80.0	
(2)	漢字の読み (かんけつ)	83.7	80.0	
(3)	漢字の書き (務める)	57.5	70.0	
(4)	漢字の書き (保護)	76.1	70.0	
(5)	漢字の書き・正しい送り仮名 (退ける)	60.9	65.0	
(6)	ことわざや慣用句の理解	35.1	60.0	
(7)	修飾と被修飾との関係の理解	77.1	70.0	
(8)	語句の照応の仕方についての理解	79.0	70.0	
(9)	敬語の正しい使い方の理解	82.6	70.0	
(10)	比喩表現の理解	41.7	60.0	
(11)	熟語の構成の理解	68.5	70.0	
(12)	スピーチの構成の工夫の理解	87.7	75.0	
(13)	登場人物の心情の理解	77.7	70.0	
(14)	情景の理解	57.1	65.0	
(15)	登場人物の心情の理解	88.4	80.0	
(16)	登場人物の心情の理解	74.7	70.0	
(17)	登場人物の心情の理解	57.3	65.0	
(18)	叙述を根拠にして登場人物の心情をまとめる	91.9	80.0	
(19)	叙述を根拠にして登場人物の心情をまとめる	59.9	65.0	
(20)	グラフから読み取った事実と考えたことを書く〔作文〕	84.3	75.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 小学校 6年 国語

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (200校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	49	22	9	17	9	2	20	14	29	6	9	29	16	7	27	11	7	37	6	38	
90%~100%	104	41	3	23	8	1	22	20	45	2	6	58	21	1	57	8		98	4	51	3
80%~90%	37	75	20	46	27	2	57	66	63	10	31	85	64	10	97	46	3	58	13	47	20
70%~80%	8	46	32	55	38	3	62	64	40	11	52	21	54	25	13	78	17	6	32	42	113
60%~70%	2	13	36	42	41	6	24	26	16	14	54	5	20	44	6	45	50	1	57	11	55
50%~60%		2	34	13	26	17	9	8	5	32	32	1	19	56		8	80		39	8	8
40%~50%			34	3	25	31	4		2	32	9		3	33		2	21		31	1	
30%~40%		1	18	1	12	61	1	1		36	3		2	15			14		12	1	1
20%~30%			11		7	60				38	2			4		1	6		3		
10%~20%			2		4	10				14				1			1		2		
0%~10%			1		3	7	1	1		5	2	1	1	4		1	1		1	1	



# 小学校6年 国語 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	領域別				計
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	
+10%より高い	1	0	1	2	4
±10%の範囲内	0	1	6	6	13
-10%より低い	0	0	0	3	3
計	1	1	7	11	20

## 2 考察

### (1) 全体について

20問中17問が「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

### (2) 成果

- ①「書くこと」では、目的や意図に応じて、表やグラフから情報を取り出し、事実と感想、意見などを区別して書くことについて、指導の成果が見られる。
- ②「読むこと」では、叙述を根拠にして登場人物の心情をまとめることに関して、指導の成果が見られる。
- ③「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、主述の関係や敬語の理解に関して指導の成果が見られる。

### (3) 課題

- ①「読むこと」では、言葉の意味や働きを考えながら、情景について、想像力を働かせて読み取ることに課題が見られる。
- ②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、慣用句の意味や使い方、表現の工夫についての理解に課題が見られる。

## 3 今後の指導

「読むこと」では、叙述に着目しながら、心情や情景を具体的に想像したり、表現の効果について考えたりすることができるよう、指導の手立てを工夫する。

- ・行動や会話、様子などを表す複数の描写を関連付けて、心情や情景を具体的に想像したり、表現の技法などの工夫を捉えて、表現が読み手に与える効果を考えたりするなど、叙述に着目して解釈する学習活動の充実を図る。
- ・登場人物の心情や情景について考えを交流し合う際には、考えを広げたり深めたりできるよう、他の考えを参考に再考を促すなど、働き掛けを工夫する。

2  
「参考 通し番号 14」

うつろな目玉に、大きく開いた口。だらりとのびたひげまでが、手に取るように見えた。ありますが、この表現から、このどのような様子が伝わりますか。書きなさい。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、各領域の学習と関連させ、慣用句の意味や使い方について理解を深める指導の充実を図る。

- ・慣用句に関心をもち、意味や使い方について調べようとする意欲を高められるよう、日常生活の中でよく使われる慣用句を意図的に取り上げて指導する。
- ・慣用句を使う具体的な場面を想定して短文を書くなど、他領域の学習と関連付けながら、慣用句に慣れ親しみ、自分の表現に適切に取り入れることができるよう、学習活動を工夫する。

4  
「参考 通し番号 6」

「ア」部の慣用句の中で、正しい使い方をしているものを一つ選んで、中に記号を書きなさい。

ア 会場は、水を打ったようになさわがしだ。  
 イ 彼の言葉は、手塩にかけて厳しかった。  
 ウ 彼の習字の腕前は、先生の折り紙付きだ。  
 エ 妹の指のつめは、すずめの涙ほどだ。

平成30年度中学校学習状況調査 第1学年 国語 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点			
					聞 く こ と の 能 力	書 く こ と の 能 力	読 む こ と の 能 力	知 識 ・ 理 解 の 技 能
第 1 学 年	聞 く こ と	エ(中1)	・必要に応じて質問し、情報を聞き出している。	12)	○			
			・必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えを整理している。	13)	○			
	こ と く	ア(中1)	・日常生活で体験したことから課題にふさわしい材料を集め、自分の考えをまとめている。	20)		○		
	読 む こ と	ア(中1)	・文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解している。	14)			○	
				15)			○	
		イ(中1)	・文章の中心的な部分と付加的な部分とを読み分けている。	16)			○	
			・目的や必要に応じて情報を選択し、要約している。	19)			○	
		オ(中1)	・文章に表れている筆者のものの見方や考え方をとらえている。	17)			○	
		エ(中1)	・文章の展開や表現の特徴について、自分の考えをもっている。	18)			○	
	国 語 統 的 特 長 の 質 言 に 語 文 化 と 事 項	(1)ウ(ア)(中1)	・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別 配当表に示されている漢字に加え、その他の常 用漢字のうち250字程度から300字程度の漢字を 正しく読んでいる。	1)			○	
				2)			○	
		(1)ウ(ア)(小5・6)	・学年別配当表に示されている漢字を正しく書い ている。	3)			○	
				4)			○	
		(1)ウ(イ)(中1)	・文脈に即して漢字を適切に使っている。	5)			○	
(1)イ(ウ)(中1)		・事象や行為等を表す多様な語句について理解し ている。	6)			○		
(1)イ(エ)(小5・6)		・熟語の構成について理解している	7)			○		
(1)イ(イ)(中1)		・文脈に即して語句を適切に使っている。	8)			○		
(1)イ(ウ)(中1)		・四字熟語の意味と使い方について理解している。	9)			○		
(1)ア(ア)(中1)	・歴史的仮名遣いについて理解している。	10)			○			
(1)イ(キ)(小3・4)	・修飾と被修飾との関係について理解している。	11)			○			

中学校 1年 国語 小問別通過率と設定通過率

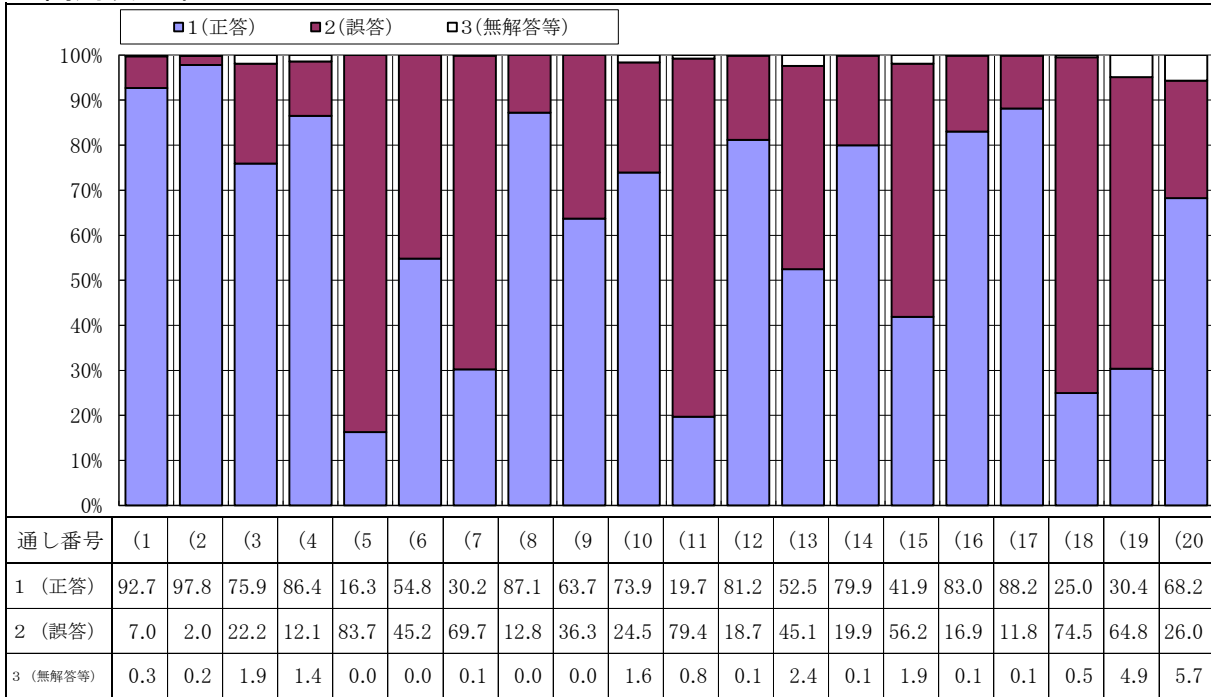
平均通過率 62.4%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	漢字の読み (あやまる)	92.7	85.0	
(2)	漢字の読み (きちょう)	97.8	85.0	
(3)	漢字の書き (展示)	75.9	80.0	
(4)	漢字の書き (幼い)	86.4	85.0	
(5)	同音の漢字の理解	16.3	70.0	
(6)	文脈に適した語句の理解	54.8	60.0	
(7)	熟語の構成の理解	30.2	70.0	
(8)	文脈に適した語句の理解	87.1	80.0	
(9)	四字熟語の理解	63.7	65.0	
(10)	歴史的仮名遣いの理解	73.9	80.0	
(11)	修飾と被修飾との関係の理解	19.7	60.0	
(12)	質問の仕方の工夫の理解	81.2	75.0	
(13)	話を聞いて自分の考えをまとめる	52.5	60.0	
(14)	文脈における語句の意味の的確な理解	79.9	65.0	
(15)	文脈における語句の意味の的確な理解	41.9	60.0	
(16)	文章の構成や展開の工夫の理解	83.0	75.0	
(17)	筆者のものの見方や考え方の理解	88.2	75.0	
(18)	段落相互の関係の理解	25.0	60.0	
(19)	目的に応じて文章を要約する	30.4	60.0	
(20)	日常生活の中から材料を集め、考えをまとめて書く [作文]	68.2	70.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 中学校 1年 国語

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (117校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	16	45	4	11		1	2	13	3	13		7		4	1	7	13		1	3	
90%~100%	72	68	9	35		1		23		16	1	11	3	5		13	31				12
80%~90%	28	2	30	42		4		63	7	27		50	5	55		62	63		4	27	1
70%~80%	1	1	41	19		7	1	14	22	23	1	41	12	44	2	30	8		1	24	8
60%~70%			22	7	1	21	2	2	34	20	1	6	17	8	5	5	1	1	5	18	78
50%~60%			7	2	2	43	4		40	10	4	1	33		14			1	6	15	29
40%~50%			3		3	31	4		8	4			21		37			5	10	10	
30%~40%					4	6	42	1	1	3	14		11		42			17	22	5	
20%~30%					17	2	51				21		9		12			60	27	1	1
10%~20%					65		9				55		3		1			25	26		
0%~10%		1	1	1	25	1	2	1	2		20	1	3	1	3		1	8	15	2	

# 中学校 1 年 国語 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類	領域別				計
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	
+10%より高い	0	0	2	1	3
±10%の範囲内	2	1	1	7	11
-10%より低い	0	0	3	3	6
計	2	1	6	11	20

## 2 考察

### (1) 全体について

- ①20問中14問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ②領域別では、「読むこと」と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」にやや課題が見られる。

### (2) 成果

- ①「書くこと」では、ことわざや故事成語の意味と生活体験とを関連付けて書くことに関して指導の成果が見られる。
- ②「読むこと」では、比喩の意味を正しく理解したり、筆者の物の見方や考え方を捉えたりすることに指導の成果が見られる。

### (3) 課題

- ①「読むこと」では、同じ文脈における語句同士の関係を捉えること、段落相互の関係を捉えること、目的に応じて文章を要約することに課題が見られる。
- ②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、同音異字の漢字や熟語の構成について理解することや、修飾語と被修飾語との関係を理解することに課題が見られる。

## 3 今後の指導

文章の中心的な部分と付加的な部分を読み分け、目的に応じて要約したり、要旨を捉えたりする指導の充実を図る。

- ・説明的な文章の構成上の特徴を踏まえ、論の展開の中心となる部分と、例示や引用などの付加的な部分との関係に着目して、サイドラインを引きながら読むことなどの習慣化を図る。
- ・自分の考えの根拠となる語句や部分を引用して論証することや、限られた文字数で概要を報告することなど、目的や必要に応じた内容や分量、方法で要約したり要旨を捉えたりする言語活動を設定する。

5 「参考 通し番号 19」  
その種の誕生とともに持つて生まれた遺伝的仕組みとはどういうことか。「体温調節」という言葉を使って、三十文字以内で書きなさい。

漢字の音訓や成り立ち、文脈に即した意味や用法などについて、他領域の学習と関連させた指導の充実を図る。

- ・同音や同訓の語句については、成り立ち、意味や用法などの側面から文脈にふさわしい漢字を判断して選択し、正しく書くことなどを、作文を書く際にも繰り返し指導して定着を図る。
- ・故事成語や小学校で既習の「論語」など、古典で学習する印象に残るエピソードと語句の意味や用法を関連させて理解を促すなど指導の工夫を図る。

2 「参考 通し番号 5」  
次の文の適切なものを選び、記号を書きなさい。  
ウア 快開  
エイ 改会  
・後世に残るかい心の作品をつくり上げる。

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点			
					聞 く す こ と と	書 く こ と	読 む こ と	知 識 ・ 理 の 解 い て 技 の 能
第 2 学 年	聞 話 く す こ と と	エ (中2)	・話の論理的な構成や展開などに注意して聞き取り，発 言の内容をとらえている。	1)	○			
		エ (中2)	・話の中心的な部分と付加的な部分などを聞き分け，発 言の根拠となる事実をとらえている。	2)	○			
		オ (中2)	・相手の立場や考えを尊重し，目的に沿った話合いの進 め方を理解している。	3)	○			
	書 く こ と	ア (中2)	・観点に基づいて社会生活の中から話題を決め，自分の 考えをまとめている。	20)		○		
	読 む こ と	ア (中2)	・抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意 して読み，主語をとらえている。	14)			○	
		イ (中2)	・登場人物の言動の意味などを考え，内容を理解してい る。	16)			○	
				17)			○	
				18)			○	
				19)			○	
	エ (中2)	・文章に表れているものの見方や考え方について理解し ている。	15)			○		
	国 語 統 的 特 な 質 言 に 語 関 文 化 と 事 項	(1)ウ(ア) (中2)	・第1学年までに学習した常用漢字に加え，その他の常 用漢字のうち300字程度から350字程度までの漢字を正 しく読んでいる。	4)				○
				5)				○
		(1)ウ(イ) (中1)	・学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書い ている。	6)				○
7)							○	
(1)イ(エ) (小5・6)		・熟語の構成について理解している。	8)				○	
			10)				○	
(1)ア(イ) (小3・4)		・慣用句の意味と使い方について理解している。	9)				○	
(1)イ(ア) (中2)	・敬語の使い方について理解している。	11)				○		
(1)イ(ウ) (中2)	・修飾と被修飾との関係について理解している。	12)				○		
(1)ア(ア) (中1)	・歴史的仮名遣いについて理解している。	13)				○		

中学校2年 国語 小問別通過率と設定通過率

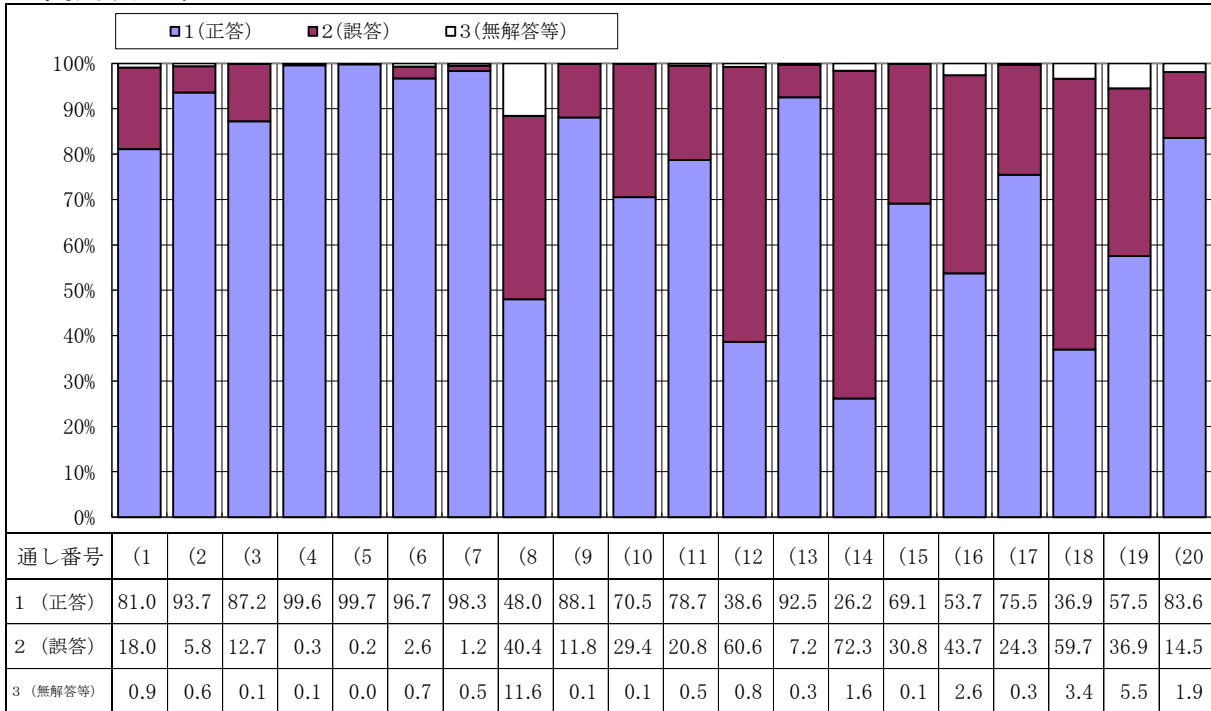
平均通過率 73.7%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	提案の内容を聞き取る	81.0	75.0	
(2)	根拠を聞き取る	93.7	70.0	
(3)	話合いの進め方の理解	87.2	80.0	
(4)	漢字の読み (かくされて)	99.6	80.0	
(5)	漢字の読み (かんきょう)	99.7	80.0	
(6)	漢字の書き (腹)	96.7	75.0	
(7)	漢字の書き (忘れられない)	98.3	75.0	
(8)	四字熟語の構成の理解	48.0	60.0	
(9)	慣用句の理解	88.1	80.0	
(10)	熟語の構成の理解	70.5	75.0	
(11)	敬語の正しい使い方の理解	78.7	70.0	
(12)	修飾と被修飾との関係の理解	38.6	65.0	
(13)	歴史的仮名遣いの理解	92.5	85.0	
(14)	主語の理解	26.2	60.0	
(15)	筆者のものの見方や考え方の理解	69.1	70.0	
(16)	表現の特徴の理解	53.7	60.0	
(17)	登場人物の設定の理解	75.5	70.0	
(18)	文章の構成や展開、表現の特徴の理解	36.9	60.0	
(19)	登場人物の心情の変化の理解	57.5	60.0	
(20)	社会生活の中から材料を集め、考えをまとめて書く [作文]	83.6	75.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 中学校 2年 国語

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (117校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	12	17	8	91	103	36	60	3	11	3	9	1	23		1		2		2	14	
90%~100%	28	77	27	26	14	72	54	3	39	4	20		60		2		4		5	42	
80%~90%	31	20	70			8	3	11	56	15	35		29		16	3	34		15	28	11
70%~80%	19	1	10					10	11	47	27	1	5		32	7	46	2	16	14	81
60%~70%	14	1	1			1		12		34	16	2		1	45	19	25	2	13	8	24
50%~60%	11		1					18		13	7	11		4	15	40	5	12	26	7	1
40%~50%	1							15		1	2	29		6	2	37		29	26	3	
30%~40%								14				48		24		6		44	9	1	
20%~30%								15				21		41	3	4	1	15	4		
10%~20%								8				4		31				4	1		
0%~10%	1	1						8			1			10	1	1		9			



# 中学校2年 国語 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の 分類	領域別				計
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	
+10%より高い	1	0	0	4	5
±10%の範囲内	2	1	4	4	11
-10%より低い	0	0	2	2	4
計	3	1	6	10	20

## 2 考察

### (1) 全体について

20問中16問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

### (2) 成果

- ①「話すこと・聞くこと」では、話し手の主張の根拠を聞き取るなど、論理的な展開に注意して聞き取ることについて、指導の成果が見られる。
- ②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、漢字の読み書きや敬語の適切な使い方、歴史的仮名遣いの理解などについて、指導の成果が見られる。

### (3) 課題

- ①「読むこと」では、文学的文章において、登場人物相互の関係や言動の意味を踏まえて、心情を理解することに課題が見られる。
- ②古典における読み取りでは、登場人物や描かれた情景などを整理し、主語を捉えることに課題が見られる。

## 3 今後の指導

**登場人物の言動などの叙述と心情との関連を考えながら読む指導の充実を図る。**

- ・登場人物の言動や情景描写など、心情が暗示的に表現されている叙述に着目し、言動の意味を考えたり描写を解釈したりして心情を捉えることができるよう指導を工夫する。
- ・登場人物の心情を捉える際に、根拠となる叙述を出し合うだけでなく、叙述の解釈の妥当性について議論するなど、自分の考えを吟味できるような学習活動を工夫する。

3 「参考  
(2) 通し番号  
19)」と  
文章  
に入る  
中の「シ  
ホの心  
情を想  
像しな  
さい。」

**古典に描かれた情景や登場人物の心情、関係等を整理して、内容の理解を深める指導の充実を図る。**

- ・現代語訳や語注などを手掛かりにして内容を大まかに捉えた上で、情景や登場人物の心情を説明し合う学習活動を取り入れるなど、内容を整理して理解できるよう指導を工夫する。
- ・古典について解説した文章や、関連する本、音声、映像メディアなどを積極的に活用して古典の世界に親しませることで、登場人物や作者の思いを豊かに想像できるよう指導を工夫する。

2 「参考  
見せら  
れる主  
語を、  
文章  
中から  
抜き  
書き  
しな  
さい。」

#### 4 結果と考察 (2) 社会

平成30年度小学校学習状況調査 第5学年 社会 評価規準と評価の観点

学年	内容	評価規準	通し番号	観 点		
				思考判断表現	技能	知識理解
第3・4学年	(6)イ	・地図帳を活用して、秋田新幹線が通る都道府県について必要な情報を集め、適切に読み取っている。	(1)		○	
	(6)イ	・地図帳を活用して、都道府県の位置について必要な情報を集め、適切に読み取っている。	(2)		○	
	(1)ア	・方位に関する基礎的な知識や主な地図記号を活用して、適切に地図を読み取っている。	(3)		○	
	(1)ア	・方位に関する基礎的な知識を活用して、適切に地図を読み取っている。	(4)		○	
	(1)ア	・地図記号や地図上の距離の求め方に関する知識・技能を活用して、適切に地図を読み取っている。	(5)		○	
	(6)ア	・自分の住む市町村の位置について、適切に表現している。	(6)	○		
	(6)イ	・秋田県の地形や自然の概要を理解している。	(7)			○
	(2)アイ	・複数の資料を関連付けて学習問題を考え、適切に表現している。	(8)	○		
	(5)ウ	・地域の発展に尽くした先人の働きを理解している。	(9)			○
	(4)ア	・交通事故の発生件数, 事故原因を資料から読み取っている。	(10)		○	
	(4)ア	・交通事故を防ぐための施設について理解している。	(11)			○
第5学年	(1)イ	・気温や出荷量を示す資料を適切に読み取っている。	(12)		○	
	(1)イ	・農業が自然環境と深いかわりをもって営まれていることについて考え、適切に表現している。	(13)	○		
	(2)ウ	・米づくりの機械化について、資料を読み取って長所と短所について考え、適切に表現している。	(14)	○		
	(2)ウ	・日本の農業の課題に対する取組について考え、適切に表現している。	(15)	○		
	(2)ウ	・水産物の生産の過程や輸送などに様々な費用がかかることを理解している。	(16)			○
	(2)ウ	・水産物の価格の決め方について理解している。	(17)			○
	(2)ウ	・育てる漁業について、資料を基に考え、適切に表現している。	(18)	○		
	(1)ア	・世界の広がりの中で、我が国の位置について理解している。	(19)			○
(1)ア	・我が国の領土と、主な国の名称について理解している。	(20)			○	

小学校 5年 社会 小問別通過率と設定通過率

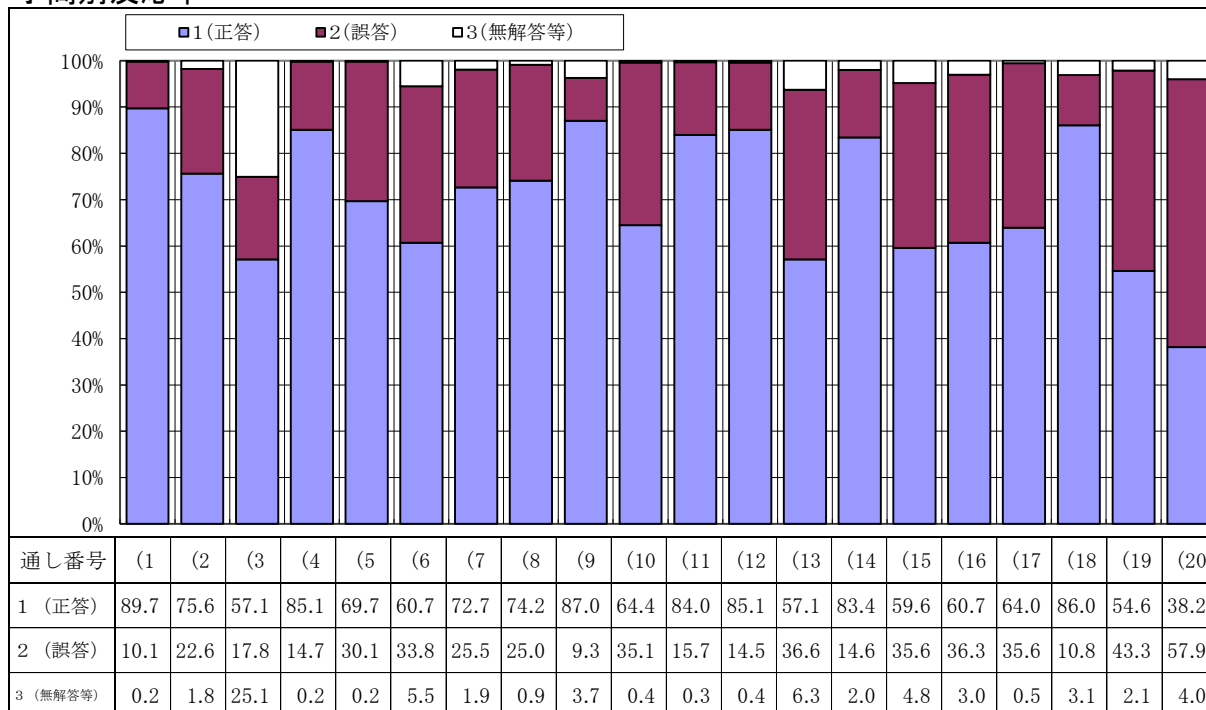
平均通過率 70.5%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	地図帳の読み取り	89.7	80.0	
(2)	地図帳の総合的な活用	75.6	70.0	
(3)	地図の読み取りと地図記号	57.1	70.0	
(4)	地図上での方位	85.1	85.0	
(5)	地図記号や地図上の距離	69.7	70.0	
(6)	秋田県の市町村の位置	60.7	65.0	
(7)	秋田県の自然や地形の概要	72.7	65.0	
(8)	地域の販売の工夫	74.2	65.0	
(9)	地域の発展に尽くした先人	87.0	90.0	
(10)	交通事故の資料の読み取り	64.4	70.0	
(11)	交通事故を防ぐ施設	84.0	70.0	
(12)	野菜づくりについての資料活用	85.1	70.0	
(13)	気候の特色を生かした野菜づくり	57.1	65.0	
(14)	米づくりにおける機械化の長所と短所	83.4	80.0	
(15)	農業の課題への取組	59.6	65.0	
(16)	水産物の生産や輸送にかかる費用	60.7	80.0	
(17)	水産物の価格	64.0	60.0	
(18)	水産資源の保護、育成	86.0	75.0	
(19)	我が国の位置と国土の広がり	54.6	60.0	
(20)	我が国の領土と主な国の名称と位置	38.2	60.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 小学校 5年 社会

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (201校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	43	21	24	28	9	11	16	42	56	6	26	19	4	34	7	8	9	27	4	3	1
90%~100%	70	17	22	46	7	7	26	43	66	4	31	44	1	54	3	14	9	55	9	1	4
80%~90%	67	57	28	85	36	40	35	29	45	23	90	92	10	56	24	26	26	86	25	12	42
70%~80%	13	55	26	25	56	31	61	22	15	33	39	32	38	32	34	33	32	25	24	8	72
60%~70%	5	36	9	14	47	37	33	23	11	57	11	10	36	14	47	31	52	4	28	23	67
50%~60%	2	9	14	2	28	32	16	10	2	61	3	2	45	5	32	43	39	3	39	30	11
40%~50%		2	20		12	19	4	6	2	11	1		35	3	25	23	22		21	19	3
30%~40%		2	21		5	16	7	4	1	5		1	18		18	14	9		21	29	
20%~30%			23			6	2	12					10	1	7	6	2		16	37	
10%~20%		1	11			1	1	5	2				2		2	1			7	28	1
0%~10%	1	1	3	1	1	1		5	1	1		1	2	2	2	2	1	1	7	11	

# 小学校5年 社会 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別			内 容 別			計
	思考・判断・表現	技能	知識・理解	共通問題	地理的内容	3・4年	
+10% より高い	1	1	1	0	2	1	3
±10% の範囲内	5	5	4	3	4	7	14
-10% より低い	0	1	2	1	1	1	3
計	6	7	7	4	7	9	20

## 2 考察

### (1) 全体について

20問中17問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」で、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

### (2) 成果

- ①経年比較している9問中6問において通過率の上昇が見られ、前年度の結果を踏まえた指導の改善が図られている。
- ②地図帳の活用、野菜づくりについての資料の読み取りなど、資料活用の技能について、指導の成果が見られる。

### (3) 課題

- ①身近な地域の特色ある地形や土地利用の様子、主な公共施設などを地図記号を用いて表す学習の充実を図る必要がある。
- ②生産の過程や輸送における費用や販売される際の価格など、具体的な事実を基に人々の工夫や努力を捉えさせる必要がある。

## 3 今後の指導

価格や費用、交通網など、具体的な事実に着目して農業や水産業などに携わる人々の工夫や努力について考える学習活動の充実を図る。

### ○ポイント [通し番号(16 (17 (18 を例として]

農業や水産業の盛んな地域では、運輸の働きにより鮮度を保ちながら生産物を早く消費地へ届ける努力をしていることを、消費者の需要や価格と関連付けて捉えさせる。

### ○具体例

- ①魚などが生産地から消費地までどのように運ばれるのか、高速道路網などの資料を活用しながら、およその輸送経路や輸送手段を調べさせる。
- ②商品の管理、売り場での並べ方や値段の付け方、宣伝の仕方など、販売者の工夫について第3・4学年での学習内容を再確認させる。
- ③生鮮食料品の価格は時期や場所によって変わることや、生産の過程で様々な費用がかかること、生産物を消費地まで運ぶためには費用がかかることなどを総合的に考えさせる。

### 【店に魚が届くまで】



平成30年度小学校学習状況調査 第6学年 社会 評価規準と評価の観点

学年	内容	評価規準	通し番号	観 点		
				思考判断表現	技能	知識理解
第5学年 (第3・4学年の内容を含む)	※(6)イ	・地図帳を活用して、秋田新幹線が通る都道府県について必要な情報を集め、適切に読み取っている。	(1)		○	
	※(6)イ	・地図帳を活用して、都道府県の位置について必要な情報を集め、適切に読み取っている。	(2)		○	
	(1)ア	・方位や地図記号に関する基礎的な知識を活用して、適切に地図を読み取っている。	(3)		○	
	※(4)イ	・地域社会における火災への対処について、病院が連携している理由について理解している。	(4)			○
	※(4)イ	・消防団の活動について、理解している。	(5)			○
	※(4)イ	・地域社会における火災への対処について、関係機関が協力して行っていることを考え、適切に表現している。	(6)	○		
	(3)ウ	・我が国の工業の課題について、資料から読み取ったことを適切に表現している。	(7)	○		
	(4)ア	・放送や新聞などの産業と国民生活との関わりについて、適切に表現している。	(8)	○		
	(1)ア	・世界の広がりの中で、我が国の位置について理解している。	(9)			○
	(1)ア	・我が国の領土と、主な国の名称について理解している。	(10)			○
第6学年	(1)イ	・奈良時代に活躍した人物について、その主な業績と結び付けて理解している。	(11)			○
	(1)イ	・古代において天皇中心の新しい国の政治が確立されたことについて、資料から適切に読み取っている。	(12)		○	
	※(6)ア	・歴史学習でふれた場所を、具体的な国土の位置として理解している。	(13)			○
	(1)ウ	・鎌倉時代に活躍した人物について、その主な業績と結び付けて理解している。	(14)			○
	(1)ウ	・中世の政治が武士によって進められるようになったことを判断し、適切に表現している。	(15)	○		
	(1)オ	・信長や秀吉についての基礎的な知識を活用し、考えたことを適切に表現している。	(16)	○		
	(1)オ	・徳川家康の業績について理解している。	(17)			○
	(1)オ	・参勤交代について資料を読み取り、考えたことを適切に表現している。	(18)	○		
(1)カ	・江戸時代の新しい学問について、調べる際に必要な資料を適切に選択している。	(19)		○		
(1)カ	・歌舞伎や浮世絵など、町人の文化が栄えたことを適切に表現している。	(20)	○			

※は〔第3学年及び第4学年〕の範囲である。

小学校 6年 社会 小問別通過率と設定通過率

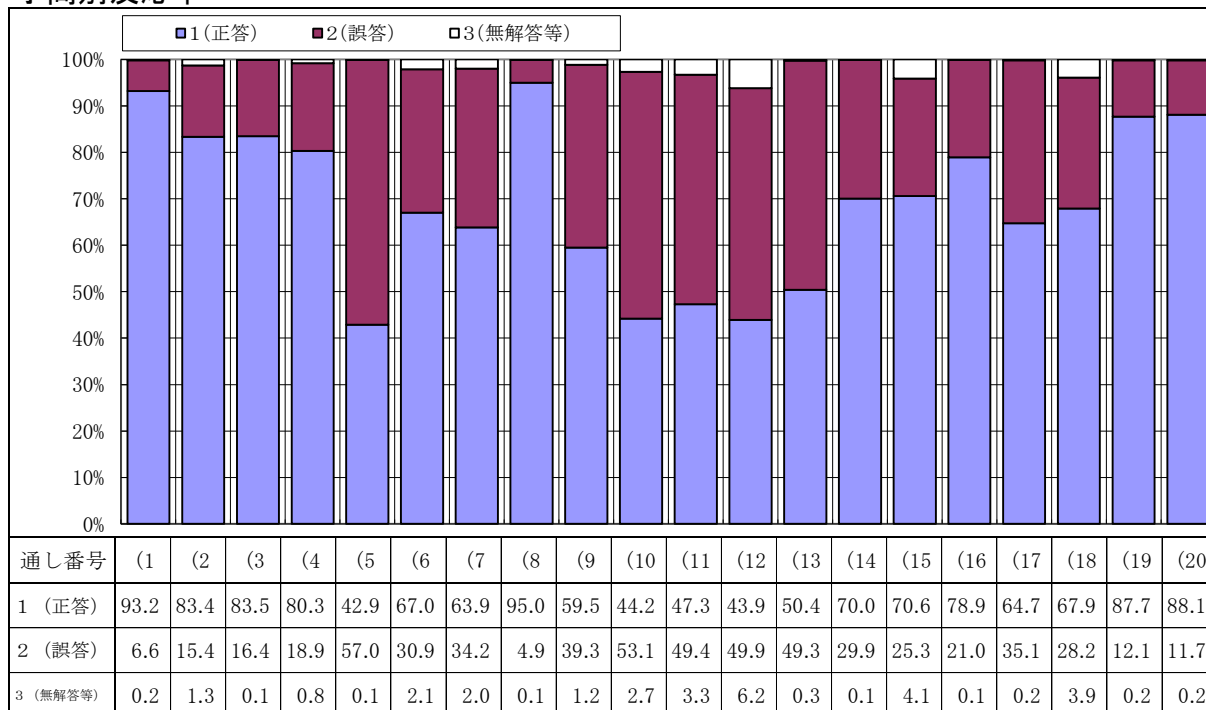
平均通過率 69.1%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	地図帳の読み取り	93.2	85.0	
(2)	地図帳の総合的な活用	83.4	75.0	
(3)	方位、地図記号の活用	83.5	85.0	
(4)	火災発生時の病院の役割	80.3	80.0	
(5)	消防団の役割	42.9	60.0	
(6)	火災発生時の関係機関の協力	67.0	70.0	
(7)	日本の工業の課題	63.9	75.0	
(8)	情報産業と国民生活	95.0	80.0	
(9)	我が国の位置と国土の広がり	59.5	65.0	
(10)	我が国の領土と主な国の名称と位置	44.2	65.0	
(11)	奈良時代に活躍した人物	47.3	60.0	
(12)	天皇中心の新しい国の政治	43.9	60.0	
(13)	都道府県の名称と位置	50.4	70.0	
(14)	鎌倉時代に活躍した人物	70.0	75.0	
(15)	武士による政治	70.6	65.0	
(16)	天下統一までの様子	78.9	75.0	
(17)	徳川家康の業績	64.7	75.0	
(18)	参勤交代の影響	67.9	75.0	
(19)	江戸時代の新しい学問	87.7	75.0	
(20)	江戸時代の町人文化	88.1	90.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 小学校 6年 社会

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (200校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	54	32	25	18	3	11	7	63	8	5	4	4	4	8	9	14	4	13	23	25	
90%~100%	101	35	47	37	1	22	7	113	11	1	2	1	1	13	16	17	2	9	59	66	1
80%~90%	39	78	75	73		36	30	22	26	11	8	4	3	37	36	63	17	35	96	79	18
70%~80%	6	43	34	38	5	32	49	1	24	15	18	13	7	52	52	71	35	58	16	26	91
60%~70%		11	13	20	8	35	29		38	15	32	29	30	48	51	28	70	38	5	2	71
50%~60%		1	3	6	33	28	48	1	31	28	32	31	67	25	24	6	56	21			17
40%~50%			1	2	56	17	13		29	35	27	40	55	11	6		9	12			1
30%~40%			1	2	56	9	14		16	40	29	39	24	2	3		2	6		1	1
20%~30%				2	29	4	1		10	29	24	28	6		2		3	5			
10%~20%					3	3	1		4	15	14	8	1	2				2			
0%~10%			1	2	6	3	1		3	6	10	3	2	2	1	1	2	1	1	1	



# 小学校6年 社会 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			内 容 別			計
	思考・判断・表現	技能	知識・理解	共通問題	地理的内容	歴史的内容	
+10% より高い	1	1	0	0	1	1	2
±10% の範囲内	5	3	3	3	3	5	11
-10% より低い	1	1	5	1	2	4	7
計	7	5	8	4	6	10	20

## 2 考察

### (1) 全体について

全体の通過率は69.1であり、昨年度を10.7ポイント下回った。経年比較している設問8問のうち昨年度の通過率を上回った設問は3問だった。経年比較して通過率が下回った5問のうち、2問は設定通過率の「±10%の範囲内」であったが、「我が国の領土と主な国の名称と位置」「都道府県の名称と位置」「参勤交代の影響」を問う設問は「-10%より低い」となった。

### (2) 成果

- ①身近な情報手段の中から、新聞・ラジオ・テレビ・インターネットなどのメディアの特徴を捉え選択することについて、指導の成果が見られる。
- ②江戸時代に新しい学問がおこったことや町人文化が栄えたことについて、その背景を考えさせ、特徴を大まかに捉えさせることについて、指導の成果が見られる。

### (3) 課題

- ①世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解することに課題が見られる。
- ②我が国の大まかな歴史や、関連する人物の業績を理解することに課題が見られる。

## 3 今後の指導

資料から読み取った情報を基に、根拠を明らかにして考えを伝え合い、協働して問題を解決する学習活動の充実を図る。

### ○ポイント [通し番号 (12) を例として]

「大陸文化の摂取」や「大化の改新」の学習を経て、大仏造営の様子から、天皇を中心とした政治が確立されたことを理解させるために、年表や図などを関連付けて考察させたり、資料を基に考えを出し合ってまとめさせたりする。

### ○具体例

天皇中心の政治がどのように展開していったかを、資料から読み取らせる。

#### ① 「歴史年表」から、740年頃までの主なできごとを読み取らせ、時代背景を理解させる。

- ・聖徳太子や中大兄皇子、中臣鎌足らが目指した天皇中心の国づくりは、病気や貴族の反乱などで、順調に進まなくなっていた。

#### ② 「国分寺の分布」や「大仏をつくる詔」などの資料から、聖武天皇の願いや業績について話し合わせる。

- ・都に東大寺を、地方に国分寺を建てたのはなぜか。
- ・詔に、国中の幸せのために大仏をつくると書いてあるのはなぜか。

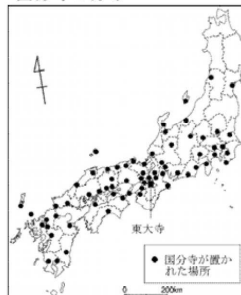
#### ③ 資料から読み取ったことを再構成させる。

- (まとめの例)
- 聖武天皇のころから、天皇を中心にした新しい政治が、都から全国に広がっていったことがわかりました。

歴史年表

年	主なできごと	コメント
701	文武天皇の子として生まれる	
710	都が平城京(奈良県)へ移る	
724	天皇の位につく	
737	このころで病気が流行する	○聖武天皇が天皇になってから4回も都を移しているのは、病気や貴族の反乱などで、社会に不安が広がっていたからなんだね。
740	貴族の反乱が起こる	
741	都を恭仁京(京都府)に移す	○詔とは、天皇のおおせやそれを書いた文章のことだよ。金銅の大仏づくりは国の大事業だったんだ。
743	国分寺を建てる勅令を出す	
743	大仏をつくる願を出す	
744	都を難波宮(大阪府)に移す	
744	都を紫香楽宮(滋賀県)に移す	
745	都を平城京(奈良県)にもどす	
747	行基らの協力により、大仏づくりが始まる	

国分寺の分布



大仏をつくる詔

仏教をさかんにし、国中が幸せになることを願って、金銅の大仏づくり、大きな山をけずって大仏殿を建てよう。私は富と権力を手にしている。大仏をつくることは易しいことだ。しかし、多くの人々が協力してつくらなければ、国中が幸せになるのは難しい。大仏づくりに参加したいものは、その願いをかなえよう。

平成30年度中学校学習状況調査 第1学年 社会 評価規準と評価の観点

学年・分野	内 容	評 価 規 準	通し 番号	観 点		
				思考 判断 表現	技能	知識 理解
小学校 第6学年	(1)ク	・我が国の国力の充実や国際的地位の向上に貢献した先人の働きを理解し、その知識を身に付けている。	(1)			○
	(1)ク	・明治政府が大日本帝国憲法を制定し、立憲政治を確立したことを理解し、その知識を身に付けている。	(2)			○
	(1)ケ※	・都道府県の名称と位置を理解している。	(3)			○
	(1)ケ	・高度経済成長のかけで環境問題が生じたことについて考察し、適切に表現している。	(4)	○		
	(2)ア	・国民生活には、地方公共団体や国の政治の働きが反映していることについて、資料からの確に読み取っている。	(5)		○	
	(2)イ	・国民としての権利及び義務と日常生活との結び付きについて考察し、適切に表現している。	(6)	○		
	(2)イ	・選挙の意味について考察し、適切に表現している。	(7)	○		
中学校 地理的 分野	(3)イ	・我が国の国際協力の現状を知るために必要な資料を、適切に選択している。	(8)		○	
	(1)ア	・地球儀から有用な情報を選択して、大陸の位置を的確に読み取っている。	(9)		○	
	(1)ア	・地球儀から有用な情報を選択して、日本の位置を的確に読み取っている。	(10)		○	
	(1)イ	・熱帯に暮らす人々の生活の工夫について、自然条件と関連付けて考察し、適切に表現している。	(11)	○		
	(1)ウ	・東南アジア諸国の首都について、資料を的確に読み取り、必要な情報を収集している。	(12)		○	
	(1)ウ	・東南アジア諸国の特色について、統計資料を的確に読み取り、必要な情報を収集している。	(13)		○	
中学校 歴史的 分野	(1)ウ	・東南アジア諸国の貿易の変化について、統計資料を的確に読み取り、必要な情報を収集している。	(14)		○	
	(2)ア	・世界の古代文明のおこりについて理解し、その知識を身に付けている。	(15)			○
	(2)ア	・世界の古代文明に共通する特色を、地図を基に考察し、その理由を適切に表現している。	(16)	○		
	(1)ウ	・歴史の大きな流れと各時代の特色を理解し、その知識を身に付けている。	(17)			○
	(2)ア	・各時代の特色を比較することにより、歴史の大きな流れを考察し、その結果を表している。	(18)	○		
	(2)イ	・古代の政治の特色について、資料を基に考察し、適切に表現している。	(19)	○		
	(2)イ※	・政治の中心地について理解し、その知識を身に付けている。	(20)			○

※は〔3, 4学年〕2内容(6)アの47都道府県の名称と位置に関する内容も含まれる。

中学校 1年 社会 小問別通過率と設定通過率

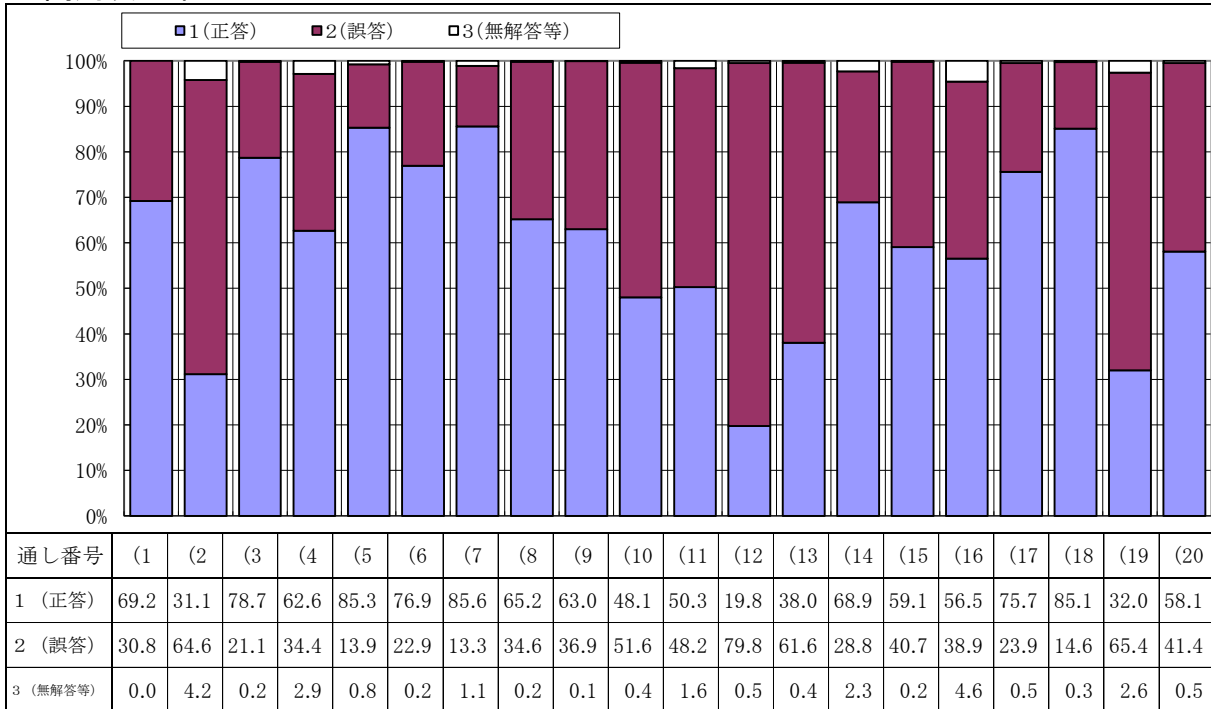
平均通過率 60.4%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	明治新政府の改革を進めた人物	69.2	75.0	
(2)	大日本帝国憲法の制定	31.1	60.0	
(3)	冬季オリンピックが開かれた県の位置	78.7	85.0	
(4)	高度経済成長と環境問題	62.6	65.0	
(5)	地方公共団体の政治の働き	85.3	75.0	
(6)	国民の権利及び義務	76.9	70.0	
(7)	国民の権利（選挙権）	85.6	70.0	
(8)	日本の国際協力に関する資料の活用	65.2	75.0	
(9)	大陸の分布	63.0	70.0	
(10)	地球儀（模式図）の活用	48.1	60.0	
(11)	熱帯に暮らす人々の生活の工夫	50.3	60.0	
(12)	世界の諸地域に関する資料の読み取り	19.8	65.0	
(13)	世界の諸地域に関する資料の読み取り	38.0	65.0	
(14)	世界の諸地域に関する資料の読み取り	68.9	65.0	
(15)	古代文明のおこり	59.1	80.0	
(16)	古代文明の特色	56.5	65.0	
(17)	歴史の大まかな流れと各時代の遺物	75.7	85.0	
(18)	歴史の大まかな流れと各時代の特色	85.1	80.0	
(19)	古代の政治の特色	32.0	60.0	
(20)	政治の中心地	58.1	70.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 中学校 1年 社会

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (117校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	3	1	4	5	11	4	8	3	5	1	1		1	3	5	4	4	13	1	3	
90%~100%	3		12	1	28	13	40	2	1		1			6		1	12	21		5	
80%~90%	8		40	12	51	31	40	6	9	1	4			33	6	10	33	64	1	6	1
70%~80%	40	2	45	28	26	43	25	32	21	6	13		1	23	21	11	31	19		23	6
60%~70%	43	3	13	26	1	16	2	37	39	6	23		1	19	27	24	27		2	14	59
50%~60%	15	8	2	29		8	1	34	26	36	22	1	13	10	27	28	9		12	30	49
40%~50%	3	14	1	12				1	9	43	21	4	32	5	23	21			14	23	2
30%~40%	1	27		2				1	6	18	22	11	51	7	6	13			29	9	
20%~30%		35		1					1	4	6	36	11	5	1	3			25	3	
10%~20%		22									2	50	5	2					25		
0%~10%	1	5		1		2	1	1		2	2	15	2	4	1	2	1		8	1	

# 中学校 1 年 社会 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			内 容 別			計
	思考・判断・表現	技能	知識・理解	小学校	地理的分野	歴史的分野	
＋10% より高い	1	1	0	2	0	0	2
±10% の範囲内	5	3	3	5	3	3	11
－10% より低い	1	3	3	1	3	3	7
計	7	7	6	8	6	6	20

## 2 考察

### (1) 全体について

全体の通過率が60.4であり、昨年度を9.4ポイント下回った。経年比較している設問10問中、昨年度の通過率を上回った設問が4問あった。技能、知識・理解では、通過率が設定通過率の「-10%より低い」設問が、それぞれ3問ずつあった。

### (2) 成果

①国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していることについて、資料からの確に読み取ったり、選挙権を行使することの意味について、考察し表現したりすることについて指導の改善が図られている。

②各時代の特色を比較することにより、歴史の大きな流れを考察し表現することについて指導の成果が見られる。

### (3) 課題

①地図帳や地球儀、グラフや写真などの資料から必要な情報を読み取り、まとめることに課題が見られる。

②歴史的事象についての基礎的・基本的な知識や概念の定着に課題が見られる。

## 3 今後の指導

複数の資料から、社会的事象に関する様々な情報を効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける学習活動の充実を図る。

### ○ポイント [通し番号(12 (13を例として))

複数の資料から読み取った情報を関連付けることで、どのような地理的な特色が見えてくるのかを推論する学習活動を積み重ね、地理的な見方・考え方を鍛える。

### ○具体例

面積、人口、国内総生産、米の生産量などの資料から読み取ることができる情報を関連付けて、地域の地理的な特色を捉えさせる。

#### 資料 東南アジア諸国の比較

国	面積 (千km <sup>2</sup> )	国内総生産 (百万ドル)	一人あたり国民 総所得(ドル)	人口 (千人)	米の生産量 (千t)	天然ゴムの生産量 (千t)
インドネシア	1,911	861,934	3,234	263,991	70,846	3,158
タイ	513	395,168	5,523	69,038	32,620	4,409
マレーシア	330	296,284	9,494	31,624	2,645	674
フィリピン	300	292,449	3,513	104,918	18,968	99
シンガポール	0.7	292,734	49,776	5,709	-	-

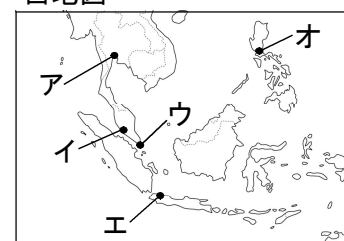
(「世界国勢図会」2017/18年版から作成)

①地図帳を活用して、資料に示した国の首都を調べ、その位置を、白地図のア～オと対応させる。

②資料と地図等から、地域の地理的な特色を捉えさせるための気づきや問いをもたせる。

- ・人口が1億人をこえている国がある。
- ・人口と米の生産量に関係がありそうだ。
- ・プランテーションによる天然ゴムの生産が見られる。
- ・東南アジアの農業や工業、貿易について、統計などの資料から必要な情報を収集して調べてみたい。

白地図



分野	内容	評価規準	通し番号	観 点		
				思考判断表現	技能	知識理解
地理的分野	(1)	・地球儀上での六大陸や三大洋の位置関係を理解し、その知識を身に付けている。	(1)			○
	(1)	・地球儀から有用な情報を選択して、日本の位置を的確に読み取っている。	(2)		○	
	(1)	・地球儀上での緯度や経度、正反対の地点を、的確に読み取っている。	(3)		○	
	(1)	・資料から自然環境の特色と住居の特色を、的確に読み取っている。	(4)		○	
	(1)	・世界の各州の面積や人口の特色を理解し、その知識を身に付けている。	(5)			○
	(1)	・世界の各州の地域的特色を、諸条件と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	(6)			○
	(1)	・アメリカ合衆国の農業の特色を、資料からの的確に読み取っている。	(7)		○	
	(1)	・アメリカ合衆国の農業の特色について、資料を基に考察し、適切に表現している。	(8)	○		
	(2)	・七地方区分の各地方に位置する都道府県の名称と県庁所在地名を理解し、その知識を身に付けている。	(9)			○
	(2)	・日本の領域の特色について、複数の資料を関連付けて考察し、適切に表現している。	(10)	○		
	(2)	・日本の工業の特色を、複数の資料を関連付けて考察し、適切に表現している。	(11)	○		
	歴史的分野	(2)	・稲作に適する自然的条件を、資料から読み取れることを関連付けて考察し、適切に表現している。	(12)	○	
(2)		・古代の各時代の政治や社会の様子を示す資料を、適切に選択している。	(13)		○	
(2)		・古代の政治の特色について、資料を基に考察し、適切に表現している。	(14)	○		
(3)		・鎌倉幕府の支配が全国に広まる過程を、資料から読み取れることを関連付けて考察し、適切に表現している。	(15)	○		
(3)		・元寇が与えた影響について、資料から読み取れることを関連付けて考察し、適切に表現している。	(16)	○		
(3)		・中世の産業の様子を示す資料を、適切に選択している。	(17)		○	
(4)		・江戸幕府による大名や農民を統制する政策や法律について理解し、その知識を身に付けている。	(18)			○
(4)		・キリスト教徒の増加と鎖国政策との関連について理解し、その知識を身に付けている。	(19)			○
	(4)	・江戸時代の教育の普及と文化の広がりに関する資料から、有用な情報を的確に読み取っている。	(20)		○	

中学校 2年 社会 小問別通過率と設定通過率

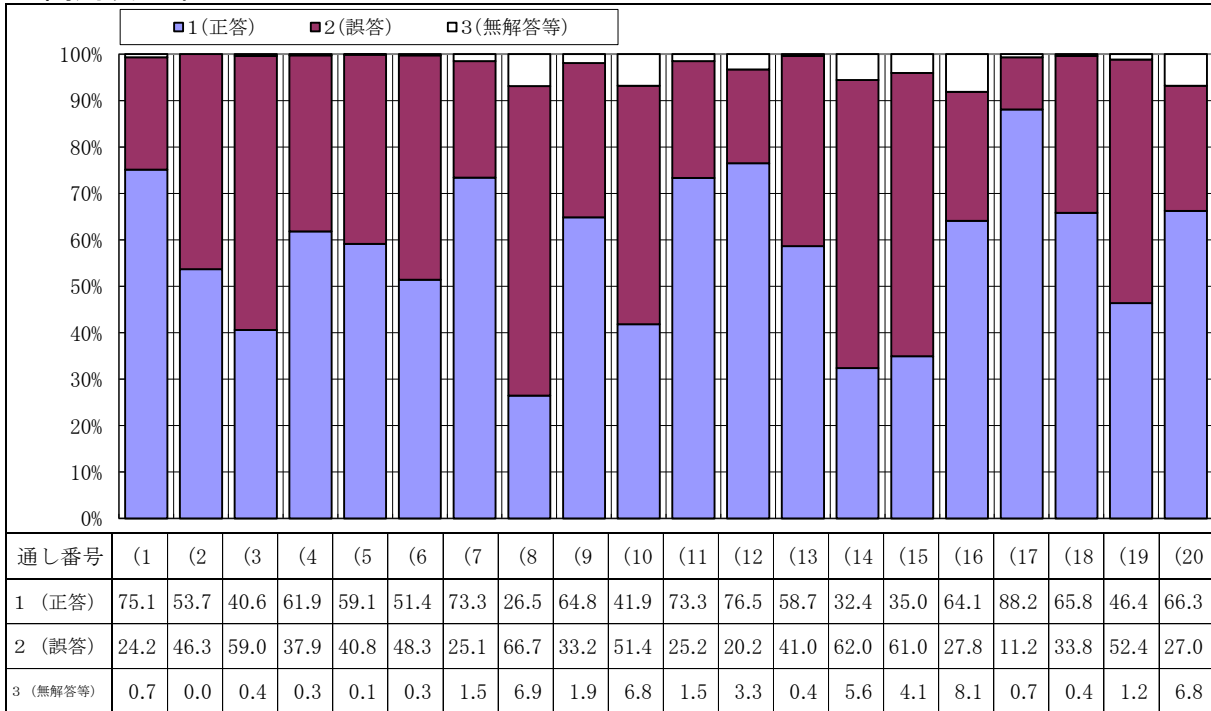
平均通過率 57.7%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	海洋の位置	75.1	85.0	
(2)	地球儀(模式図)の活用	53.7	60.0	
(3)	地球上の正反対の位置	40.6	60.0	
(4)	世界の人々の生活と環境	61.9	70.0	
(5)	各州の地域的特色	59.1	70.0	
(6)	各州の地域的特色	51.4	60.0	
(7)	世界の様々な地域	73.3	80.0	
(8)	世界の様々な地域	26.5	60.0	
(9)	日本の地方区分, 県庁所在地	64.8	70.0	
(10)	日本の領域の特色	41.9	65.0	
(11)	日本の工業の特色	73.3	80.0	
(12)	日本の農業の特色	76.5	85.0	
(13)	各時代の政治や社会の様子	58.7	65.0	
(14)	古代の政治の特色	32.4	60.0	
(15)	鎌倉幕府の支配の様子	35.0	60.0	
(16)	元寇が与えた影響	64.1	70.0	
(17)	中世の産業の様子	88.2	90.0	
(18)	江戸幕府の大名や農民の統制	65.8	75.0	
(19)	鎖国政策	46.4	60.0	
(20)	江戸時代の教育の普及と文化の広がり	66.3	75.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 中学校 2年 社会

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (117校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	2	1		1			4				9	16	2	1		4	17	1	1	3	
90%~100%	15	1		1	1		3		5		20	25	2			1	34	6	2	10	
80%~90%	28	6		8	9	2	37	1	22	1	19	33	4	1	2	13	56	9	2	28	
70%~80%	38	8	2	15	10	5	38	3	22	6	24	15	11	1		23	10	28	5	17	11
60%~70%	26	18	6	42	32	16	20	6	27	9	23	14	36	5	8	33		40	12	16	37
50%~60%	7	37	17	37	45	46	10	9	26	23	16	8	38	8	13	29		19	23	18	53
40%~50%	1	35	38	10	15	31	4	11	7	28	4	2	17	11	19	12		8	39	11	15
30%~40%		8	40		4	13		15	3	18		2	7	39	27	1		3	19	9	
20%~30%		2	10	2		2		22	2	15	2			30	21	1		2	12	3	1
10%~20%		1	1					19	1	14				16	16						
0%~10%			3	1	1	2	1	31	2	3		2		5	11				1	2	2



# 中学校 2年 社会 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			内 容 別		計
	思考・判断・表現	技能	知識・理解	地理的分野	歴史的分野	
+10% より高い	0	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	3	6	4	8	5	13
-10% より低い	4	1	2	4	3	7
計	7	7	6	12	8	20

## 2 考察

### (1) 全体について

全体の平均通過率が57.7であり、昨年度を1.4ポイント下回った。また、設定通過率の「-10%よりも低い」設問は、思考・判断・表現が4問、技能が1問、知識・理解が2問だった。各設問で求められている力を着実に育成できるよう、指導の改善を図る必要がある。

### (2) 成果

- ①日本の工業や農業の特色など、複数の資料を関連付けて考察した結果を適切に表現することに関して、指導の改善が見られる。
- ②中世の産業の様子や江戸時代の教育の普及と文化の広がりについて、資料を的確に読み取ることができており、おおむね良好な状況にある。

### (3) 課題

- ①日本の対蹠点（地球上の正反対の地点）を探したり、領域の範囲や特色について読み取ったりするなど、地球儀や地図を活用した学習を取り入れ、緯度や経度の仕組みや性質を考察したり、我が国の海洋国家としての特色を理解させたりする必要がある。
- ②時代の特色やその移り変わり、歴史的現象の特色や現象相互の関連などについて、共通点や相違点、因果関係等に注目して、自分の言葉でまとめたり説明したりする学習活動の充実を図っていく必要がある。

## 3 今後の指導

日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する学習活動の充実を図る。

### ○ポイント [通し番号(10を例として)]

日本の略地図や地図、資料等を活用し、書き込みなどの作業をしたり必要な情報を読み取ったりして、我が国の海洋国家としての特色を様々な面から考察させる。

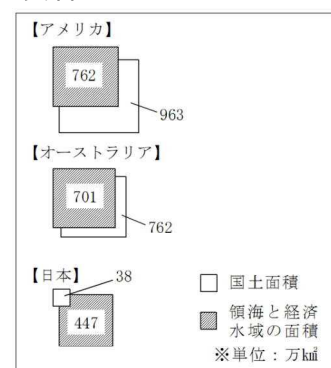
### ○具体例

- ①日本の略地図に、国土の東西南北端などの島々を描き加える作業を行い、領土の範囲を捉えさせる。
- ②資料1を基に、我が国の領土が、離島を含む大小多数の島々からなり、それらは弧状に連なっていることを読み取らせる。
- ③資料1を基に、我が国の領海や経済水域の広がりを、自分の言葉でまとめさせる。
- ④資料1を活用して、沖ノ鳥島や南鳥島などの離島がなくなれば、日本の領海や経済水域がどのように変わるかを考察させる。
- ⑤資料2のように、我が国と他の国々を、国土面積や領海、経済水域を含めた面積などで比較させるなどして、気付いたことをまとめさせる。



資料1

### 資料2



#### 4 結果と考察 (3)算数、数学

平成30年度小学校学習状況調査 第4学年 算数 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					考 え 方	技 能	知 識 ・ 理 解
第 3 学 年	A 数 と 計 算	(3)アイウ 乗法	・ 2位数×2位数の計算ができる。	(1)		○	
			・ 乗法に関して成り立つ性質を基にして、 計算の仕方を考えている。	(15)	○		
		(5)アイ 小数の意味や表し方	・ 1/10の位までの小数の加法で、(小数) + (整数) の場合の計算ができる。	(2)		○	
		(6)アイ 分数の意味や表し方	・ 分数の意味や分数の表し方を理解してい る。	(14)			○
	B 量 と 測 定	(1)アイ 長さ、重さの単位と 測定	・ 長さや重さ、かさの単位について理解して いる。	(7)			○
			・ 正味の重さの求め方を考え、説明すること ができる。	(18)	○		
		(2) 目的に応じての単位 や計器の選択	・ ものの重さをはかる場合に、およその見当 を付け、適切な計器を選択することができる。	(5)		○	
	C 図 形	(1)アウ 二等辺三角形、正三 角形などの図形	・ 正三角形の意味や性質を基にして考え、 説明することができる。	(13)	○		
			・ 箱の縦の長さ、並べた球の関係から箱 の横の長さを求めることができる。	(9)		○	
	D 数 量 関 係	(2)イ 数量の関係を表す式	・ 未知の数量を△を用いて表現することによ り、数量の関係を式で表せることや、△に 当てはまる数の求め方を理解している。	(17)			○
(3)ア 表と棒グラフ		・ 示された情報とグラフを関連付けて考え、 判断することができる。	(12)	○			
第 4 学 年	A 数 と 計 算	(1)ア 整数の表し方	・ 十進位取り記数法の意味を理解している。	(4)			○
			・ 大きな数の大小を、十進位取り記数法の仕 組みを基にして考えることができる。	(19)	○		
		(2)アイウ 概数と四捨五入	・ 切り捨てにより百の位までのおよその数に して計算することができる。	(16)		○	
			・ 「以上」「未満」を用いて表す数の範囲を 理解している。	(10)			○
	(3)アイウエ 整数の除法	・ 除法に関して成り立つ性質を用いて、計算 の工夫を考えることができる。	(11)	○			
		・ 除法における被除数、除数、商及び余りの 関係を理解している。	(3)			○	
		・ 数量の関係を捉え、基準量を求めるために 除法の式に表すことができる。	(8)		○		
D 数 量 関 係	(4)アイ 資料の分類整理	・ 資料を二つの観点から分類整理し、表を用 いて表すことができる。	(6)		○		
		・ 棒グラフと折れ線グラフの両方が示され たグラフから、必要な情報を読み取り、 読み取ったことが正しいか、正しくないか の理由を説明することができる。	(20)	○			

小学校 4年 算数 小問別通過率と設定通過率

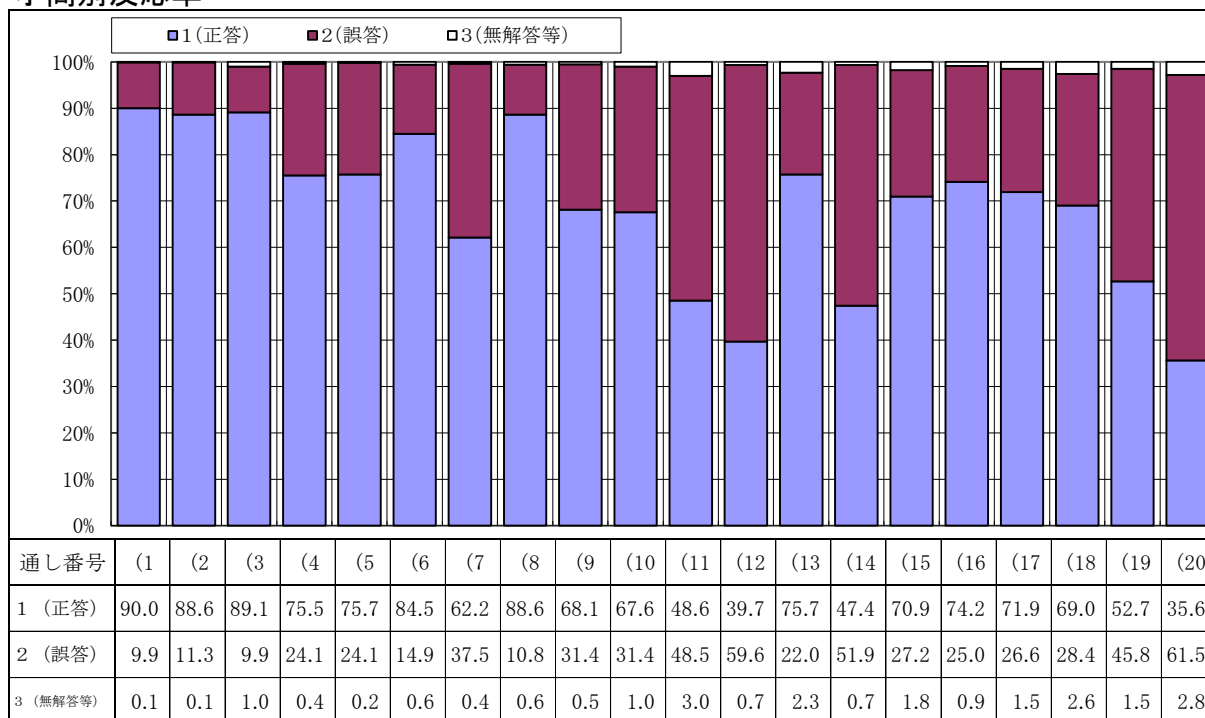
平均通過率 68.8%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	(2位数) × (2位数) の計算	90.0	90.0	
(2)	小数の加法	88.6	90.0	
(3)	除法における被除数, 除数, 商及び余りの関係	89.1	85.0	
(4)	十進位取り記数法の意味理解	75.5	80.0	
(5)	適切な計器の選択	75.7	70.0	
(6)	資料の分類整理	84.5	80.0	
(7)	量の単位換算	62.2	65.0	
(8)	基準量と比較量の関係	88.6	80.0	
(9)	球の性質	68.1	70.0	
(10)	四捨五入する数の範囲	67.6	60.0	
(11)	除法の性質	48.6	60.0	
(12)	目的に応じたグラフの読み取り	39.7	60.0	
(13)	正三角形の性質	75.7	60.0	
(14)	分数の意味理解と表現	47.4	70.0	
(15)	乗数の性質	70.9	70.0	
(16)	概数を使った計算	74.2	70.0	
(17)	△を用いた式	71.9	70.0	
(18)	正味の重さの求め方	69.0	70.0	
(19)	大きな数の大小	52.7	60.0	
(20)	2つのグラフの読み取り	35.6	60.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 小学校 4年 算数

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (200校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	41	33	46	17	15	24	5	41	7	7	3	2	29	3	12	14	13	11	5	3	
90%~100%	78	70	71	15	13	42	2	68	3	8	2		29	8	18	15	9	5	1	1	2
80%~90%	69	69	61	42	47	66	13	65	29	41	5	2	56	10	32	52	51	30	7	5	22
70%~80%	9	18	14	73	66	45	35	17	52	52	15	6	38	23	58	54	50	56	19	11	74
60%~70%	3	9	4	33	40	11	56	6	68	29	29	12	23	24	42	39	47	58	29	18	77
50%~60%		1	3	17	12	11	61	1	24	30	45	37	18	33	24	18	22	21	61	16	21
40%~50%			1	2	6	1	16	1	9	18	44	53	4	32	8	3	4	15	38	29	4
30%~40%				1	1		5		5	6	31	47	1	16	1	3	2	3	21	40	
20%~30%							1		2	6	15	31	2	23	5	2	1	1	12	55	
10%~20%							3			2	6	7		15			1		6	14	
0%~10%							3	1	1	1	5	3		13					1	8	

# 小学校4年 算数 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別			領 域 別				計
	考え方	技能	知識・理解	数と計算	量と測定	図形	数量関係	
+10% より高い	1	0	0	0	0	1	0	1
±10% の範囲内	3	7	5	9	3	1	2	15
-10% より低い	3	0	1	2	0	0	2	4
計	7	7	6	11	3	2	4	20

## 2 考察

### (1) 全体について

- ①20問中16問が、設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ②観点別に見ると「技能」は良好であるが、「考え方」に課題が見られる。

### (2) 成果

- ①図形の構成要素に着目し根拠を明らかにして説明することについて、昨年度と比べて改善が図られている。
- ②「以上」「未満」を用いて表す数の範囲の理解について、昨年度と比べて改善が図られている。

### (3) 課題

- ①示された情報とグラフを関連付けて考え、判断することに課題が見られる。
- ②分数の意味や分数の表し方についての理解に課題が見られる。

## 3 今後の指導

グラフから読み取った複数の観点を明らかにする活動の充実を図る。

**[参考 通し番号(12)]**  
 まさきさんの小学校は、「元気にあいさつをする」と「進んで発表をする」の2つのめあてに取り組んでいます。次のグラフは、6月と11月にアンケート調査を行った結果、2つのめあてについて「取り組んだ」と答えた人数をグラフに表したものです。まさきさんは、このグラフについて、あることに着目してメモに書きました。

2つのめあてについて  
「取り組んだ」と答えた人数

(人)

240  
200  
160  
120  
80  
40  
0

元気に あいさつをする 進んで 発表をする

6月 11月

**[まさきさんのメモ]**  
 ・「元気にあいさつをする」  
約200人  
 ・「進んで発表をする」  
約160人

【まさきさんのメモ】は、グラフのどのようなことに着目して書かれていますか。着目していることを、次のア～エの中から1つえらんで、その記号を  の中に書きましょう。

ア 6月のそれぞれの人数      イ 11月のそれぞれの人数  
 ウ 6月の人数と11月の人数の和      エ 6月の人数と11月の人数の差

- ・収集した情報をグラフに整理した後、グラフから分かることを話し合う活動を取り入れ、グラフから読み取った情報が、複数の観点からなることに気付くことができるようにする。
- ・他者がグラフから読み取った情報が、グラフのどの部分に着目して読み取った情報なのかを、グラフと関連付けて解釈する場を設定し、読み取った観点を明らかにする活動を取り入れる。
- ・例えば、通し番号(12では、「どちらのめあてについてよく取り組んだといえるか」を判断する際、グラフを読み取る観点が異なると、結論が異なる場合もあることに気付くことができるようにする。

分数の意味の違いについて理解を深める活動の充実を図る。

**[参考 通し番号(14)]**  
 2mの長さのテープがあります。このテープを図のように4等分しました。  
の部分の長さを分数で表すと何mですか。答えを  の中に書きましょう。

0 1 2 (m)

- ・分数の意味については、テープ図などで多様な捉え方を確認しながら、その意味の違いについて説明し合う場を設定する。
- ・1mのテープと2mのテープをそれぞれ4等分する操作をテープ図に表して考える活動等を取り入れ、基にする量が異なると、何等分するかは操作が同じであっても1つ分の量の大きさが異なることを理解できるようにする。
- ・実際の長さを測ったテープなどの具体物を用い、分数における量の大きさの感覚を豊かにすることも大切である。

平成30年度小学校学習状況調査 第5学年 算数 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					考 え 方	技 能	知 識・ 理 解
第 4 学 年	A 数 と 計 算	(2)アイウ 概数と四捨五入	・「以上」「未満」を用いて表す数の範囲を理解している。	(13)			○
		(6)イ 同分母分数の加 法, 減法	・(帯分数) - (帯分数) の計算ができる。	(1)		○	
	B 量 と 測 定	(1)ア 面積の単位と測定	・面積の単位について理解している。	(4)			○
		(2)イ 角の大きさ	・180° より大きい角度を求めることができる。	(7)		○	
	C 図 形	(1)イ 平行四辺形, ひし 形, 台形	・正三角形の辺の長さに着目し, ひし形の定義に基づいて, ひし形になることの理由を説明することができる。	(15)	○		
		(2)アイ 立方体, 直方体な どの立体図形	・直方体を構成する面について考え, 必要のない図形を判断することができる。	(11)	○		
			・立方体の面と面の平行を理解している。	(18)			○
	D 数 量 関 係	(1)ア 伴って変わる二つ の数量	・具体的な事象について, 表から伴って変わる二つの数量の変化を見だし, 数値を求めることができる。	(19)		○	
		(2)ウ 数量の関係を表す 式	・伴って変わる二つの数量の関係を表や図を基に考え, ○を用いて表された正しい式をかくことができる。	(20)	○		
		(3)ア 四則に関して成り 立つ性質	・乗法で表された式を, 100をかける式にして, 計算の工夫を考えることができる。	(10)	○		
第 5 学 年	A 数 と 計 算	(1)イ 整数の性質	・最大公約数を用いて, 正方形の一辺の長さを求めることができる。	(9)		○	
		(2)ア 整数, 小数の記数法	・小数の表し方を十進位取り記数法を基に考えることができる。	(12)	○		
		(3)ア 小数の乗法, 除法	・基準量を求めるために除法を用いることを理解している。	(17)			○
		(3)アイ 小数の乗法, 除法	・1/100の位までの小数の乗法の計算ができる。	(2)		○	
			・小数の除法について, 商を一の位まで求め, あまりも求めることができる。	(3)		○	
			・小数の除法の意味について理解している。	(8)			○
	(4)エ 分数	・異分母の分数の大きさの比べ方を言葉や数を用いて説明することができる。	(5)	○			
	B 量 と 測 定	(2)イ 体積の単位と測定	・1Lは1辺が10cmの立方体の体積であることを理解している。	(14)			○
	C 図 形	(1)イ 平面図形の性質	・それぞれの四角形の性質を基に, 対応する辺や角に着目しながら, 対角線によって分けられた図形が合同になるかどうかを考え, 判断している。	(16)	○		
	D 数 量 関 係	(1)ア 伴って変わる二つ の数量の関係	・簡単な場合について比例の関係を理解している。	(6)			○

小学校 5年 算数 小問別通過率と設定通過率

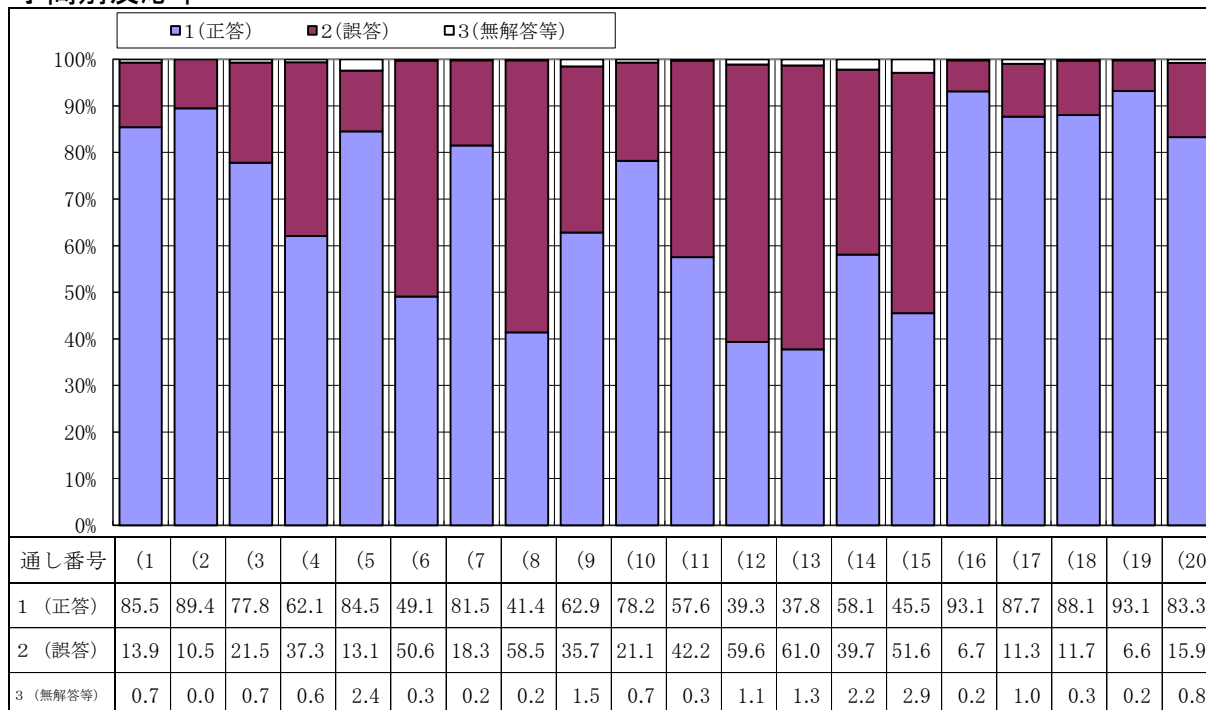
平均通過率 69.8%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	(帯分数) - (帯分数) の計算	85.5	90.0	
(2)	(小数) × (小数) の計算	89.4	90.0	
(3)	(小数) ÷ (小数) の計算	77.8	75.0	
(4)	面積の単位	62.1	70.0	
(5)	異分母分数の大小	84.5	80.0	
(6)	比例の関係	49.1	60.0	
(7)	180° より大きい角度の測定	81.5	75.0	
(8)	小数の除法の意味	41.4	60.0	
(9)	公約数の利用	62.9	65.0	
(10)	計算の工夫	78.2	75.0	
(11)	直方体を構成する面	57.6	60.0	
(12)	小数の仕組み	39.3	60.0	
(13)	四捨五入する数の範囲	37.8	65.0	
(14)	体積の単位	58.1	65.0	
(15)	四角形の定義	45.5	60.0	
(16)	合同な三角形の条件	93.1	80.0	
(17)	基準量と比較量の関係	87.7	70.0	
(18)	立方体の展開図における平行な面	88.1	75.0	
(19)	伴って変わる数量の捉え	93.1	85.0	
(20)	伴って変わる数量の関係の読み取り	83.3	80.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 小学校 5年 算数

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (201校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	34	48	20	9	39	1	23	1	7	13	7	1	3	6	5	48	36	34	57	21	
90%~100%	46	74	33	6	45	3	42	2	10	22	3	1	1	6		110	72	54	99	47	
80%~90%	72	61	59	25	63	5	63	1	26	69	5	6	4	12	7	36	67	95	38	70	29
70%~80%	37	14	46	32	35	14	51	6	34	57	25	10	5	27	12	4	20	12	5	45	82
60%~70%	8	4	26	43	16	32	14	21	40	27	48	17	9	45	21	2	3	4		11	79
50%~60%	4		10	45	3	44	6	32	52	9	70	24	29	65	46		1	1		3	9
40%~50%			6	23		44	1	44	21	3	31	39	32	22	39		1		1	1	1
30%~40%				13		33		55	5		6	50	54	13	46					1	
20%~30%				4		21		29	4		2	30	37	3	19					1	1
10%~20%					1		4				1	14	17	1	3						
0%~10%			1	1		3	1	6	2	1	3	9	10	1	3	1	1	1	1	1	



# 小学校5年 算数 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			領 域 別				計
	考え方	技能	知識・理解	数と計算	量と測定	図形	数量関係	
+10% より高い	1	0	2	1	0	2	0	3
±10% の範囲内	4	6	2	5	3	1	3	12
-10% より低い	2	0	3	3	0	1	1	5
計	7	6	7	9	3	4	4	20

## 2 考察

### (1) 全体について

- ①20問中15問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ②課題の見られる設定通過率の「-10%より低い」問題の5問中3問が新聞である。
- ③観点別では「知識・理解」「考え方」に、領域別では「数と計算」に課題が見られる。

### (2) 成果

- ①具体的な場面に即し最大公約数を活用することについて、昨年度と比べて改善が図られている。
- ②立方体の面と面の平行の理解について、昨年度と比べて改善が図られている。

### (3) 課題

- ①小数の除法を表す場面の理解について課題が見られる。
- ②図形の特徴や性質に着目して、他者の説明に即しながら根拠を明らかにして説明することに課題が見られる。

## 3 今後の指導

小数において具体的な問題場を設定して、二つの数量の関係を確認しながら、演算決定につなげる学習活動の充実を図る。

### [参考 通し番号(8)]

答えが  $40 \div 0.8$  の式で求められる問題を、次のア～ウの中から1つ選んで、その記号を  の中に書きましょう。

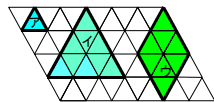
- ア 1mの重さが40gのはり金があります。このはり金0.8mの重さは何gですか。
- イ 0.8Lのガソリンで40km走る自動車があります。1Lのガソリンでは、この自動車は何km走ることができますか。
- ウ 40個で0.8kgのコップがあります。このコップ1個の重さは何kgですか。

- ・数量の関係を捉えて図や数直線に表す活動を、各学年の内容に応じて系統的に位置付け、計算の意味の理解を基に演算決定をすることができるようにする。
- ・「基準になる大きさ」「割合」「割合に当たる大きさ」の関係を適切に読み取ることができるよう、図と数直線を関連付けながら説明し合う活動を行う。
- ・小数を簡単な整数に置き換えたり、言葉の式にして考えたりする活動を設定し、二つの数量の関係を確認させることも大切である。

図形についての観察や構成などの活動を通して、図形についての理解を深めるとともに、図形を判断する根拠を明らかにして説明するなどの算数的活動の充実を図る。

### [参考 通し番号(15)]

次の図形は合同な正三角形をしきつめてできています。



みさきさんは、この図形の中にあるイの三角形が正三角形であることを次のように説明しました。

#### [みさきさんの説明]

イの三角形のすべての辺の長さは、アの正三角形の辺の長さの3つ分です。3つの辺の長さがすべて等しいので、イの三角形は正三角形になります。

たろうさんは、みさきさんの説明を参考にして、ウの四角形がどのような四角形になるのかを次のように説明しました。たろうさんの説明が正しくなるように、説明の続きを  の中に書きましょう。

- ・図形の特徴や性質を見いだすためには、図形を構成したり分解したりする活動を行う必要がある。その際、図形どうしの関連や相違点を図に表したり、表にまとめたりする活動も有効である。
- ・図形の構成要素や性質を基に筋道を立てて考えられるよう、「辺、長さ、等しい」等の用語を的確に用いて説明する活動を設定する。
- ・他者の説明を解釈し、適切な説明をつくり上げるなどの活動を取り入れることも有効である。

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点				
					考 え 方	技 能	知 識 ・ 理 解		
第 5 学 年	A 数 と 計 算	(3)ア 小数の乗法, 除法	・ 小数の除法の意味について理解している。	(6)			○		
		(4)イ 分数	・ 整数の除法の結果が分数を用いると, 常に一つの数として表されることを理解している。	(2)			○		
	B 量 と 測 定	(1)ア 図形の面積	・ 平行四辺形の面積を求めることができる。	(7)		○			
			・ 必要な部分の長さを判断して, 三角形の面積を求めることができる。	(8)		○			
	C 図 形	(3)ア 量の大きさの測定値	・ 仮の平均を用いた考えを解釈し, 示された数値を基準とした場合の平均の求め方を, 言葉や式を用いて説明することができる。	(18)	○				
			(4)ア 異種の二つの量の割合	・ 単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解している。	(13)			○	
	D 数 量 関 係	(1)アウエ 平面図形の性質	・ 直径と円周の関係を理解している。	(16)			○		
			・ 正多角形の1つの内角の大きさの求め方を考えることができる。	(11)	○				
		(2)ア 立体図形の性質	・ 三角柱の展開図を理解している。	(12)			○		
	A 数 と 計 算	(2) 数量の関係を表す式	・ 二つの数量の関係を図や式と関連付けて考え, 判断することができる。	(17)	○				
			(3) 百分率	・ 基準量と割合から比較量を求めることができる。	(15)		○		
			(4) 円グラフや帯グラフ	・ 複数のグラフから必要な情報を読み取り, 読み取ったことが正しくない理由を説明することができる。	(20)	○			
第 6 学 年	A 数 と 計 算	(1)アイウ 分数の乗法, 除法	・ 分数×小数の計算ができる。	(1)		○			
			・ 分数の除法で, 除数と商の大きさの関係について理解している。	(4)			○		
			・ 分数の除法の計算の仕方を解釈し, 示された数の場合の計算の仕方を, 言葉や式を用いて説明することができる。	(5)	○				
	B 量 と 測 定	(2)ア 円の面積	・ 正方形と円を組み合わせてできる図形の面積を比較するために順序立てて考え, 判断した理由を説明することができる。	(9)	○				
			(4) 速さ	・ 速さの意味を理解している。	(3)			○	
	C 図 形	(1)イ 縮図や拡大図, 対称な図形	・ 線対称な図形において, 対称の軸をかくことができる。	(19)		○			
			D 数 量 関 係	(3)ア 文字を用いた式	・ $x$ に数をあてはめて, 式の値を求めることができる。	(10)		○	
					・ 具体的な場面で, 数量の関係に着目して文字を使って式に表現することができる。	(14)	○		

小学校 6年 算数 小問別通過率と設定通過率

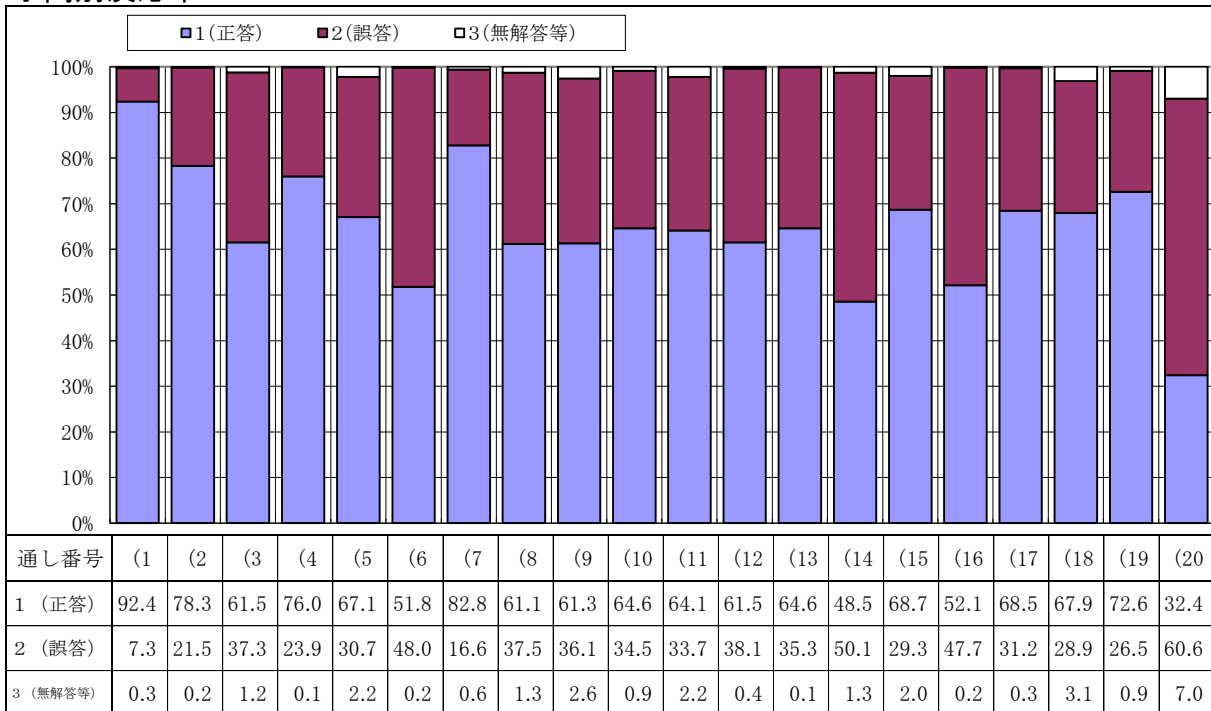
平均通過率 64.9%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	(分数) × (小数) の計算	92.4	75.0	
(2)	分数の意味	78.3	80.0	
(3)	速さの意味	61.5	70.0	
(4)	除数と商の関係	76.0	75.0	
(5)	分数の除法の計算の仕方	67.1	65.0	
(6)	小数の除法の意味	51.8	65.0	
(7)	平行四辺形の面積	82.8	80.0	
(8)	三角形の面積	61.1	70.0	
(9)	円を含む複合図形の面積	61.3	65.0	
(10)	代入した式の値	64.6	80.0	
(11)	正多角形の内角の大きさ	64.1	70.0	
(12)	三角柱の展開図	61.5	70.0	
(13)	単位量当たりの大きさ	64.6	65.0	
(14)	関係を表す式	48.5	60.0	
(15)	割合を含んだ数量の関係	68.7	70.0	
(16)	直径と円周の関係	52.1	75.0	
(17)	□や○などを用いた式	68.5	70.0	
(18)	仮の平均	67.9	75.0	
(19)	線対称な図形の対称の軸	72.6	70.0	
(20)	必要な情報の読み取りと、数学的な説明	32.4	60.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 小学校 6年 算数

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (200校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	57	38	9	16	10	7	25	8	7	11	11	8	8	8	14	5	11	9	20	2	1
90%~100%	99	38	4	20	7		51	7	1	6	10		2	2	18	6	7	12	23		4
80%~90%	32	51	20	58	26	11	65	20	21	22	22	4	12	7	31	19	27	22	47	4	14
70%~80%	9	34	33	48	48	15	37	39	24	39	29	32	42	17	50	17	56	57	47	2	56
60%~70%	2	13	55	40	51	34	16	40	63	43	53	69	78	26	38	26	53	56	32	9	76
50%~60%	1	11	40	11	39	43	3	40	46	38	46	55	42	42	29	23	35	31	20	20	40
40%~50%		7	26	2	11	48	2	29	27	18	20	25	12	30	9	43	8	10	7	26	7
30%~40%		3	10	3	6	27		12	9	12	8	5	2	34	8	35	3	1	2	46	1
20%~30%		3	1		1	12		3	1	8		1		17	2	15		1	1	53	1
10%~20%						1		1				1	1	13		8				27	
0%~10%		2	2	2	1	2	1	1	1	3	1		1	4	1	3		1	1	11	

# 小学校6年 算数 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			領 域 別				計
	考え方	技能	知識・理解	数と計算	量と測定	図形	数量関係	
+10% より高い	0	1	0	1	0	0	0	1
±10% の範囲内	5	4	5	3	6	3	2	14
-10% より低い	2	1	2	1	0	1	3	5
計	7	6	7	5	6	4	5	20

## 2 考察

### (1) 全体について

- ①20問中15問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ②観点別では「考え方」「知識・理解」に、領域別では「数量関係」にやや課題が見られる。

### (2) 成果

- ①これまでの本調査において課題であった「分数×小数の計算」については、改善が図られている。
- ②全国学力・学習状況調査において課題であった単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味の理解については、改善が図られている。

### (3) 課題

- ①速さの意味を理解することについて課題が見られる。
- ②直径と円周の関係を理解することについて課題が見られる。

## 3 今後の指導

数直線などを用いて、示された時間で進む道のりを見積もる学習活動の充実を図る。

### 【参考 通し番号(3)】

時速80kmで走る自動車は、30分間で何km進みますか。答えを  の中に書きましょう。

- ・示された時速を基に時間と道のりの関係を数直線などに表し、時速は1時間当たりに進む道のりであることを理解できるようにすることが大切である。
- ・時間が30分や20分など、数量の把握が比較的容易な場面を数直線などに示し、そのときに進む道のりについて判断した根拠を示して話し合う活動を取り入れることも考えられる。

身の回りにある円の形をしたものについて、円周の直径に対する割合を調べる作業的・体験的な学習活動の充実を図る。

### 【参考 通し番号(16)】

わたるさんは次のA～Cの異なる大きさの円について、円周の長さや直径の長さをそれぞれ調べました。そして、円周の長さや直径の長さの関係について考えたことを次のようにまとめました。わたるさんの「まとめ」が正しくなるように、①にあてはまる言葉を次のA～ウの中から1つ選んで、その記号を  の中に書きましょう。

A 車のタイヤ



B さくら



C 500円硬貨



【まとめ】

円の円周の長さを直径の長さでわったとき、  ①

- A 大きい円ほど商が大きくなる。
- I 小さい円ほど商が大きくなる。
- ウ 円の大きさに関係なく商は等しくなる。

- ・円周率が円周の直径に対する割合であることを理解できるよう、身の回りにある円の形をしたものについて、円周の長さや直径の長さを測定する活動を取り入れることが必要である。
- ・「円周の長さ÷直径の長さ」を計算し、表に表すなどして、円の大小に関わらずいつでも円周の長さが直径の長さの約3.14倍になっていることに気付くことができるようにする。

平成30年度中学校学習状況調査 第1学年 数学 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					考 え 方	技 能	知 識 ・ 理 解
小 学 校 第 6 学 年	A 数と 計 算	(1)イ 分数の乗法, 除法	・分数×小数の計算ができる。	(1)		○	
	B 量と 測 定	(3)ア 角柱及び円柱の体積	・三角柱の体積を求めるために必要な数量を選び, 体積を求めることができる。	(14)		○	
		(5) メートル法の単位の 仕組み	・水の体積と重さの関係を理解している。	(8)			○
	C 図 形	(1)ア 縮図や拡大図	・拡大図の意味を理解している。	(12)			○
			・縮図の考え方をを用いて, 直接測ることができない長さを求める方法を考えることができる。	(13)	○		
	D 数 量 関 係	(2)ウ 比例	・反比例の意味及び性質を理解している。	(10)			○
(4)イ 資料の考察		・柱状グラフから読み取ったことを根拠にして判断した理由を説明することができる。	(15)	○			
(5) 起こり得る場合		・起こり得る場合について, 落ちや重なりがないように調べる方法を考えることができる。	(11)	○			
中 学 校 第 1 学 年	A 数と 式	(1)アイウエ 正の数・負の数	・正負の数の累乗や乗法の計算ができる。	(2)		○	
			・絶対値の意味を理解している。	(3)			○
			・実際の値と基準との差を表した正負の数から, 実際の値の平均を求めることができる。	(9)		○	
			・正の数と負の数の範囲で, 減数と差の大きさの関係について判断したことを説明することができる。	(17)	○		
		(2)アイウエ 文字を用いた式	・事象の中にある数量の関係を, 等式で表すことができる。	(4)		○	
			・項が二つの一次式の約分について, 正しい方法で計算することができる。	(6)		○	
			・数量の関係について文字式で表すことを理解している。	(16)			○
			・具体的な事象の中にある数量やその関係・法則を, 文字を用いた式を使って説明することができる。	(20)	○		
		(3)アイウ 一元一次方程式	・係数が分数の一次方程式を解くことができる。	(5)		○	
			・一次方程式の解の意味を理解している。	(7)			○
			・具体的な場面で, 一次方程式をつくることができる。	(18)		○	
			・具体的な事象について比例式が成り立つかどうかを判断し, その理由を説明することができる。	(19)	○		

中学校 1年 数学 小問別通過率と設定通過率

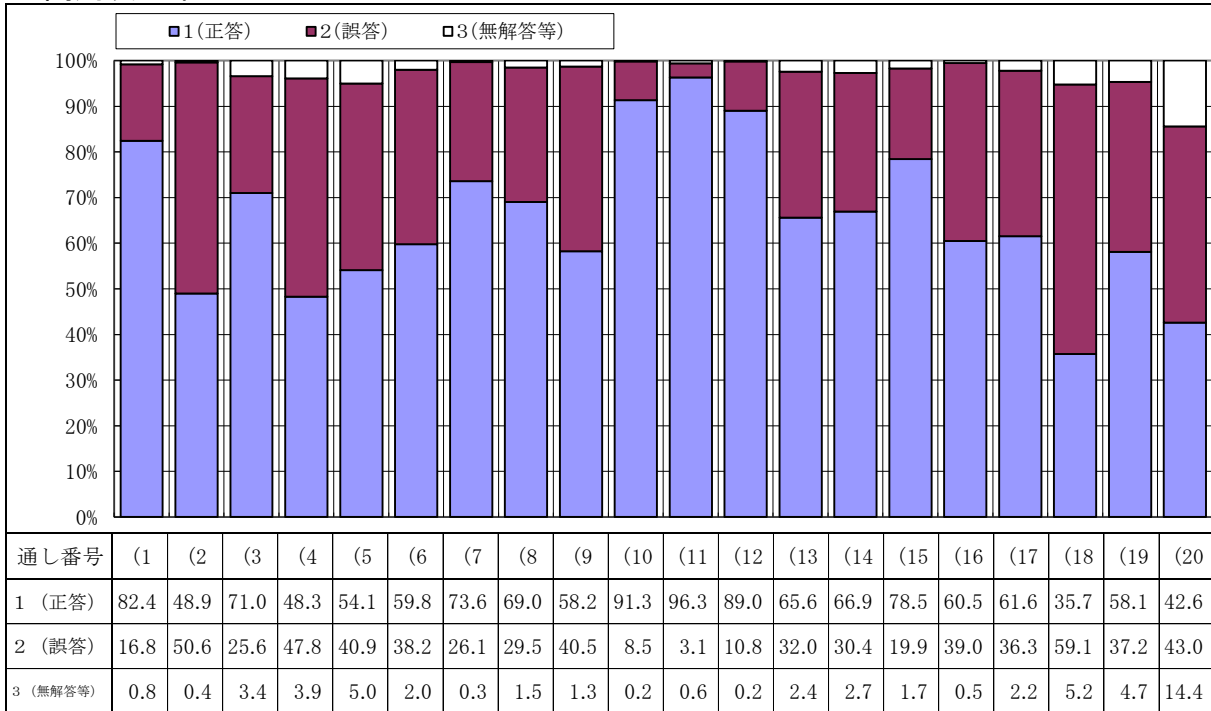
平均通過率 65.5%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	(分数) × (小数) の計算	82.4	80.0	
(2)	累乗を含む正の数, 負の数の計算	48.9	70.0	
(3)	絶対値の意味	71.0	75.0	
(4)	等式を用いた表現	48.3	60.0	
(5)	分数係数の一次方程式	54.1	60.0	
(6)	項が二つの一次式の約分	59.8	60.0	
(7)	一次方程式の解の意味	73.6	80.0	
(8)	体積を表す単位の関係	69.0	70.0	
(9)	仮平均を用いた平均の求め方	58.2	60.0	
(10)	反比例の意味や性質	91.3	90.0	
(11)	起こりうる場合の数	96.3	90.0	
(12)	拡大図の意味	89.0	75.0	
(13)	拡大図や縮図の利用	65.6	70.0	
(14)	三角柱の体積	66.9	70.0	
(15)	柱状グラフの読み取り	78.5	80.0	
(16)	数量の関係と文字式	60.5	70.0	
(17)	正負の数の範囲における, 減数と差の大きさの関係	61.6	70.0	
(18)	一次方程式の利用	35.7	60.0	
(19)	比例式の立式	58.1	60.0	
(20)	文字式の利用	42.6	60.0	

※「—」は設定通過率±10%を示している。

# 中学校 1年 数学

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (117校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	13	2	5	3	1	2	11	4	1	24	41	12	2	5	6	1	5		4		
90%~100%	22	2	9			2	11	5	1	59	71	45	4	5	15	2	3	1	3	1	1
80%~90%	41	4	21	2	3	14	34	11	4	30	5	50	6	11	36	3	13	2	4	1	3
70%~80%	33	7	36	5	18	19	28	32	11	4		7	37	28	42	21	16	1	18		33
60%~70%	6	20	25	10	25	23	17	44	30			1	38	44	12	32	34	4	25	6	62
50%~60%	1	21	16	31	29	22	8	17	43				17	20	3	38	29	9	30	27	16
40%~50%		32	2	32	20	12	4	2	22				8	3		16	7	22	21	28	1
30%~40%		20	2	25	13	14	1	1	4				2		2	1	6	29	9	36	
20%~30%		6	1	8	5	4	2									1	3	36	2	12	
10%~20%		1			1	1												11		3	1
0%~10%	1	2		1	2	4	1	1	1			2	3	1	1	2	1	2	1	3	



# 中学校 1 年 数学 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別			領 域 別				計
	見方・考え方	技能	知識・理解	数と計算 数と式	量と測定	図形	数量関係	
+10% より高い	0	0	1	0	0	1	0	1
±10% の範囲内	5	5	5	9	2	1	3	15
-10% より低い	1	3	0	4	0	0	0	4
計	6	8	6	13	2	2	3	20

## 2 考察

### (1) 全体について

- ①小学校の内容に関する問題における通過率は、8問全ての問題で設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ②中学校の内容に関する問題における通過率は、12問中8問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、技能の定着に課題が見られる。

### (2) 成果

- ①三角柱の体積を求めるために必要な数量を選び体積を求めることについては、改善が図られている。
- ②拡大図の意味を理解することについては、通過率が大きく上昇し改善が図られている。

### (3) 課題

- ①具体的な場面で、一次方程式をつくることに課題が見られる。
- ②具体的な事象の中にある数量の関係や法則を、文字を用いた式を使って説明することに課題が見られる。

## 3 今後の指導

具体的な場面における問題について方程式を活用して解決するために、問題の中にある数量や数量どうしの関係を捉え、方程式をつくる学習活動の充実を図る。

### [参考 通し番号(18)]

次の【問題】で、りんごの個数を  $x$  個として、方程式をつくりなさい。ただし、つくった方程式を解く必要はありません。

#### 【問題】

1個120円のりんごと1個80円のみかんを合わせて11個買いました。このときの代金の合計は1000円でした。りんごとみかんを、それぞれ何個買いましたか。

- ・問題の中から数量を取り出し、表や図に整理して、相等関係にある数量を見いだす活動を取り入れる。
- ・つくった方程式が、問題の中にある相等関係を成り立たせているかについて見直す活動を大切にする。

文字を用いて式で表現したり、表現された式の意味を解釈したりする活動を取り入れながら、事柄が成り立つ理由を筋道立てて説明する活動の充実を図る。

### [参考 通し番号(20)]

右の表の  $n$  段目の3列目に入る自然数は  $5n - 2$  という式で表すことができます。次の【説明】が正しくなるように、[ ] に続きを書きなさい。

表

	1列目	2列目	3列目	4列目	5列目
1段目	1	2	3	4	5
2段目	6	7	8	9	10
3段目	11	12	13	14	15
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
$n$ 段目			$5n - 2$		
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

#### 【説明】

表の  $n$  段目の5列目に入る自然数は、

[ ] したがって、 $n$  段目の3列目を表す式は  $5n - 2$  になる。

- ・図や表に示された数に着目し、規則性を見いだす活動を大切にす。その上で、見いだした規則性を式に表現する活動を取り入れる。
- ・項に着目して項の意味を考察するとともに、図や表と式とを関連付けて説明する場を意図的に設定する。

平成30年度中学校学習状況調査 第2学年 数学 評価規準と評価の観点

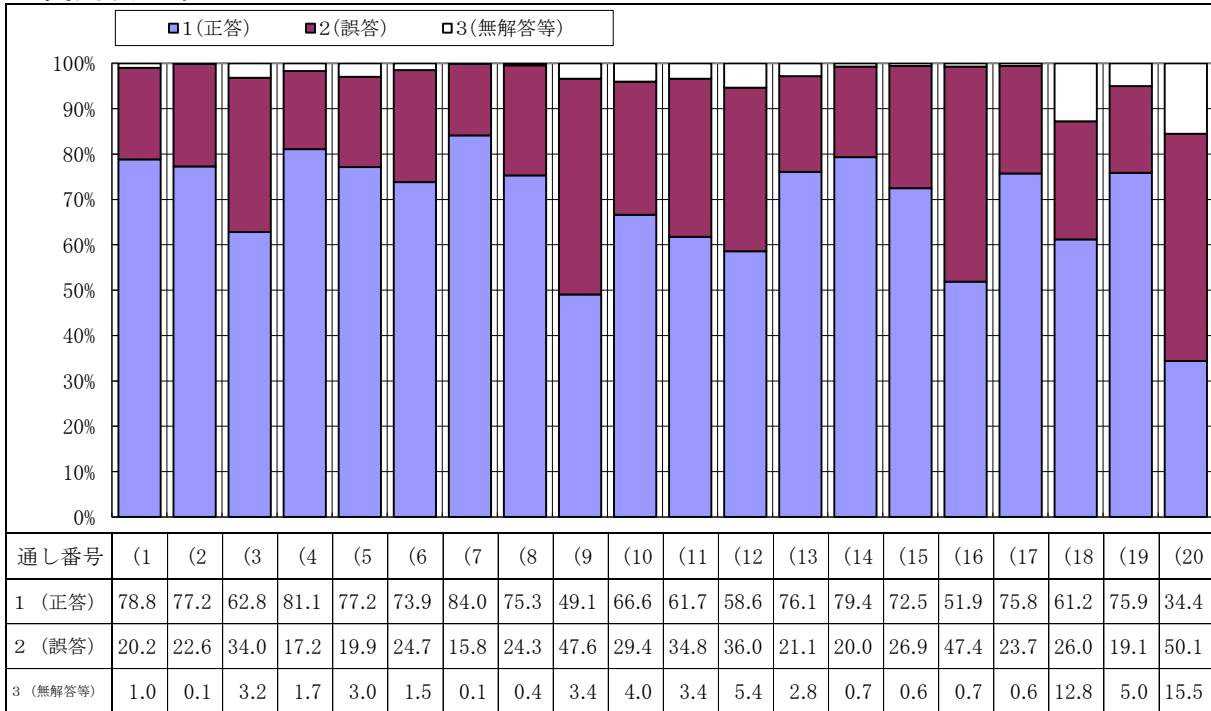
学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					考 え 方	技 能	知 識 ・ 理 解
小 学 校 第 6 学 年	A 数 と 計 算	(1)イ 分数の乗法, 除法	・分数×小数の計算ができる。	(1)		○	
		(2)エ 文字を用いた式	・事象の中にある数量の関係を, 等式で表すことができる。	(3)		○	
中 学 校 第 1 学 年	A 数 と 式	(3)ア 一元一次方程式	・一次方程式の解の意味を理解している。	(2)			○
		(1)アイ 平面図形	・回転移動した図形をかくことができる。	(6)		○	
	・折り目の線が角の二等分線になることを捉え, 正しく作図することができる。		(19)		○		
	B 図 形	(2)アイウ 空間図形	・円錐の体積の求め方を理解している。	(9)			○
			・空間における直線と平面の位置関係(辺と面が平行であること)を展開図から考え, 判断することができる。	(15)	○		
	C 関 数	(1)アイエ 比例・反比例	・関数関係の意味を理解している。	(11)			○
			・反比例の比例定数について理解している。	(12)			○
	D 資 料 の 活 用	(1)アイ 資料の散らばりと 代表値	・平均値の意味を理解している。	(7)			○
			・相対度数を基にして, 資料の傾向を読み取ることができる。	(14)	○		
	中 学 校 第 2 学 年	A 数 と 式	(1)アイウ 式の計算	・与えられた方法で式の値を求めることができる。	(5)		○
・等式を目的に応じて変形することができる。				(10)		○	
・連続する2つの奇数の和が4の倍数になることを, 文字を用いた式を使って説明することができる。				(20)	○		
(2)ウ 連立方程式			・連立方程式を解くことができる。	(4)		○	
			・具体的な事象において, 割合に着目して式を考えることができる。	(8)	○		
C 関 数		(1)イエ 一次関数	・一次関数の意味を表と関連付けて理解している。	(16)			○
			・一次関数のグラフから式を求めることができる。	(13)		○	
			・具体的な事象について, 一次関数のグラフを用いて考えることができる。	(17)	○		
			・具体的な事象について, グラフを利用して解決する方法を説明することができる。	(18)	○		

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	(分数) × (小数) の計算	78.8	85.0	
(2)	一次方程式の解の意味	77.2	85.0	
(3)	等式を用いた表現	62.8	65.0	
(4)	連立方程式の計算	81.1	80.0	
(5)	式の値	77.2	70.0	
(6)	回転移動の作図	73.9	70.0	
(7)	平均値の意味	84.0	75.0	
(8)	連立方程式の立式	75.3	65.0	
(9)	円錐の体積	49.1	60.0	
(10)	等式の変形	66.6	70.0	
(11)	関数の意味	61.7	70.0	
(12)	反比例の比例定数	58.6	70.0	
(13)	一次関数のグラフ	76.1	75.0	
(14)	資料の傾向の読み取り	79.4	70.0	
(15)	空間における直線と平面の位置関係	72.5	70.0	
(16)	一次関数の判別	51.9	60.0	
(17)	一次関数の利用	75.8	70.0	
(18)	一次関数の利用	61.2	60.0	
(19)	作図の利用	75.9	70.0	
(20)	文字式を用いた説明	34.4	60.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 中学校 2年 数学

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (117校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	3	8	2	5	6	2	3	3	1	2		1	3	3	2	2	2	3	6		
90%~100%	22	22	1	14	13	5	20	6		2	2	3	6	12	4		6	4	17		1
80%~90%	38	27	9	49	33	30	64	25	4	10	7	11	28	39	21	2	24	8	39	2	10
70%~80%	36	30	19	39	41	47	25	50	10	29	20	12	50	48	43	7	58	13	28	4	38
60%~70%	11	20	38	6	19	25	5	25	15	41	32	32	13	10	27	24	21	28	13	6	59
50%~60%	5	7	31	3	5	6		8	26	22	40	28	13	4	17	38	3	40	11	16	8
40%~50%	1	2	9						28	9	10	18	3		2	27	2	13	1	15	
30%~40%			6			1			22		3	7				15		7	1	20	1
20%~30%			2			1			6	2	1	4	1			2	1	1		25	
10%~20%									2			1								18	
0%~10%	1	1		1					3		2			1	1				1	11	

# 中学校 2 年 数学 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別			領 域 別				計
	見方・考え方	技能	知識・理解	数と計算 数と式	図 形	関 数	資料の活用	
+10% より高い	1	0	0	1	0	0	0	1
±10% の範囲内	4	8	4	6	3	5	2	16
-10% より低い	1	0	2	1	1	1	0	3
計	6	8	6	8	4	6	2	20

## 2 考察

### (1) 全体について

- ① 20問中17問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ② 昨年度の課題である「円錐の体積」や「反比例の比例定数」を求める問題においては、課題の改善が十分進んでいるとはいえない状況である。
- ③ 観点別では、一次方程式の解の意味や関数の定義、反比例や一次関数の関数関係の特徴などの「知識・理解」の問題にやや課題が見られる。

### (2) 成果

- ① 連立方程式の立式について、昨年度と比べて改善が図られている。
- ② 回転移動した図形の作図について、昨年度と比べて改善が図られている。

### (3) 課題

- ① 表から一次関数を判別することに課題が見られる。
- ② 数量の関係を文字を用いた式を使って説明することに課題が見られる。

## 3 今後の指導

表から  $x$ 、 $y$  についての変化の特徴を捉え、既習の関数関係の特徴と照らし合わせながら考察する活動の充実を図る。

### 【参考 通し番号(16)】

1000mの道のりを歩きます。 $x$  m歩いたときの残りの道のりを  $y$  mとします。このときの  $x$  と  $y$  の関係を表にして調べました。この表からわかることを、下のア～エの中から1つ選んで、その記号を書きなさい。

歩いた道のり $x$ (m)	0	1	2	3	4	...
残りの道のり $y$ (m)	1000	999	998	997	996	...

- ア  $y$  は  $x$  に比例する。  
 イ  $y$  は  $x$  に反比例する。  
 ウ  $y$  は  $x$  の一次関数である。  
 エ  $x$  と  $y$  の関係は、比例、反比例、一次関数のいずれでもない。

- 具体的な事象における二つの数量の変化や対応の特徴を、表、式、グラフを用いて考察し表現する活動を取り入れるとともに、それらを相互に関連付けることで、一次関数についての理解を深める。
- 比例や反比例と一次関数を比較しながら、それぞれの関数関係の特徴を確認させたり、一次関数であると判断した根拠を説明させたりする活動を取り入れる。

事象の中に数量の関係を見いだしたり、文字を用いた式を使った説明を検討したりする活動の充実を図る。

### 【参考 通し番号(20)】

しおりさんは、「連続する2つの奇数の和がどのような数になるか」について、次のように調べて予想しました。

【調べたこと】  $1+3=4$ ,  $3+5=8$ ,  
 $5+7=12$ ,  $7+9=16$   
 【予想】 連続する2つの奇数の和は、  
 4の倍数になる。



しおりさんの【予想】がいつでも成り立つことの【説明】が正しくなるように、【 】に続きを書き、完成させなさい。

#### 【説明】

$n$  を整数とすると、連続する2つの奇数は、 $2n+1$ ,  $2n+3$  と表すことができる。このとき、連続する2つの奇数の和は、

したがって、連続する2つの奇数の和は、4の倍数になる。

- 見いだした数量の関係を、文字を用いた式を使って一般的に表現し説明することの必要性和意味を理解することができるよう、生徒に帰納や類推によって関係を推測させるなどの活動を取り入れる。
- 事柄が成り立つ理由を、根拠を明確にして説明できるようにするためには、例えば、 $4n+4$  を  $4(n+1)$  と変形する場面において、 $n+1$  が整数であることを根拠として示す必要があるかどうかを話し合わせるなどして、説明を洗練させる活動を取り入れることが考えられる。
- 文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できるようにするためには、文字を用いた式で表したり、文字を用いた式を読み取ったり計算したりする学習を総合的に行うことが重要である。

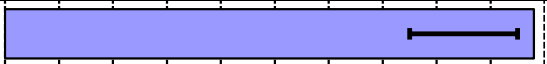
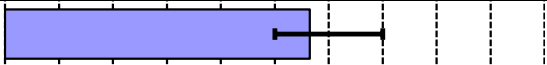
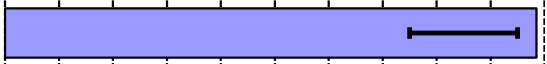

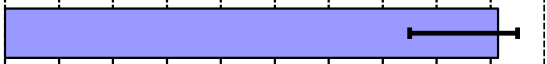
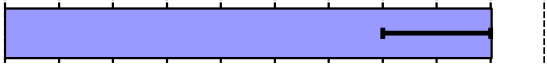
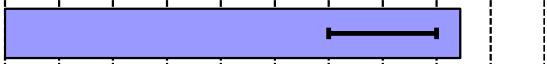
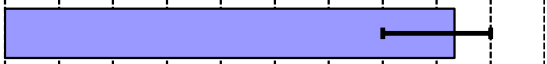
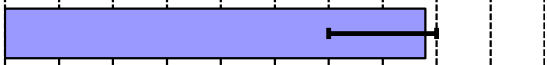
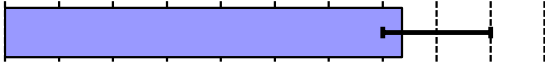
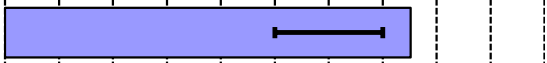
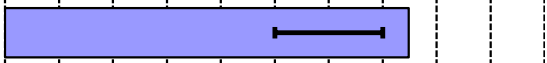
#### 4 結果と考察 (4)理科


平成30年度小学校学習状況調査 第4学年 理科 評価規準と評価の観点

学 年	区 分	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					思 考 表 現	技 能	知 識 理 解
第 3 学 年	A 物 質 ・ エ ネ ル ギ ー	(1)ア	・物は、形が変わっても重さは変わらないことを理解している。	(1)			○
		(4)ア イ	・磁石に付けた鉄の釘には、磁石の性質があることを考察し、表現している。	(4)	○		
	B 生 命 ・ 地 球	(3)ア	・日陰の位置の変化と太陽の動きを比較して考察し、表現している。	(2)	○		
		(1)ア	・昆虫には、蛹の時期を経ないで成虫になるものがあることを理解している。	(3)			○
第 4 学 年	A 物 質 ・ エ ネ ル ギ ー	(3)ア	・乾電池の向きと、回路に流れる電流の向き及び電流の大きさの関係について理解している。	(7)			○
		(3)ア	・回路に流れる電流を大きくするために、乾電池のつなぎ方を、直列つなぎにして回路をつくっている。	(8)		○	
	B 生 命 ・ 地 球	(4)ウ	・方位磁針を適切に操作する技能を身に付けている。	(5)		○	
		(4)イ	・空には、明るさや色の違う星があることを理解している。	(6)			○
		(1)イ	・腕が曲がる仕組みを筋肉の様子と関係付けて考え、表現している。	(9)	○		
		(3)ア	・天気と1日の気温の変化の様子を関連付けて考え、表現している。	(10)	○		
		(4)ア	・月を適切に観察する技能を身に付けている。	(11)		○	
		(4)ア	・月の位置の変化と時間を関係付けて考察し、表現している。	(12)	○		

小学校 4年 理科 小問別通過率と設定通過率

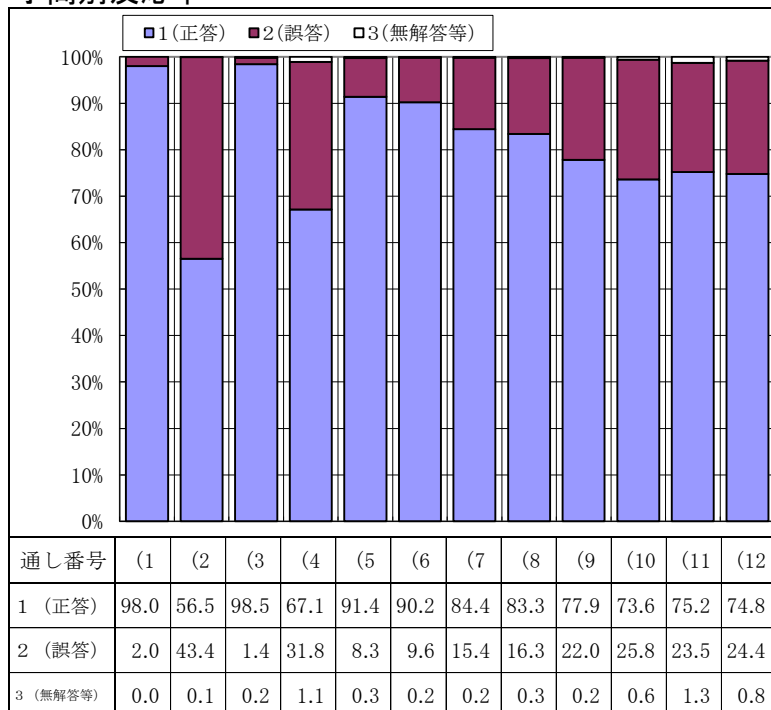
平均通過率 80.8%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	物の重さ	98.0	85.0	
(2)	太陽と地面の様子	56.5	60.0	
(3)	昆虫の成長	98.5	85.0	
(4)	磁石の性質	67.1	65.0	
(5)	方位磁針の使い方	91.4	85.0	
(6)	星の明るさや色	90.2	80.0	
(7)	電気の働き	84.4	70.0	
(8)	回路のつなぎ方	83.3	80.0	
(9)	関節と筋肉の働き	77.9	70.0	
(10)	天気と1日の気温の変化	73.6	80.0	
(11)	月の観察	75.2	60.0	
(12)	月の形	74.8	60.0	

※  は設定通過率±10%を示している。

# 小学校 4年 理科

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (200校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	平均通過率
100%	133	7	138	10	63	41	19	30	23	21	25	17	
90%~100%	62	4	58	12	77	75	46	57	18	30	27	28	22
80%~90%	5	17	3	32	45	59	78	57	60	54	54	63	107
70%~80%		29	1	36	9	20	41	23	54	31	41	42	56
60%~70%		46		43	5	3	12	18	30	26	16	21	14
50%~60%		31		39	1	2	1	5	12	12	11	12	1
40%~50%		34		22			2	7	3	9	8	2	
30%~40%		13		3						11	7	4	
20%~30%		16		1				3		4	9	4	
10%~20%		1		1			1				2	5	
0%~10%		2		1						2		2	



# 小学校4年 理科 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別			内 容 区 分 別		計
	科学的な思考・表現	技 能	知識・理解	物質・エネルギー	生命・地球	
+10% より高い	1	1	4	2	4	6
±10% の範囲内	4	2	0	2	4	6
-10% より低い	0	0	0	0	0	0
計	5	3	4	4	8	12

## 2 考察

### (1) 全体について

- ① 全ての設問において設定通過率が「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」の状況である。全体の通過率は80.8であり、学習内容の定着が図られている。
- ② 知識・理解に関する設問の通過率の平均は92.8であり、他の観点のものに比べて高い。

### (2) 成果

- ① 類似問題については、5問中4問で通過率が上昇した。また、類似問題の平均通過率は昨年度よりも12.9ポイント上昇した76.2であり、改善の傾向が見られる。
- ② 過年度出題の類似問題の通過率については、「月の観察」に関する設問は昨年度に比べて25.6ポイント上昇した75.2、「月の形」に関する設問は昨年度に比べて22.8ポイント上昇した74.8であり、学習内容の定着が図られている。

### (3) 課題

- ① 通し番号(2「太陽と地面の様子」)についての設問の通過率は56.5であり、昨年度に比べて12.7ポイント上昇したが、設定通過率を下回っている。日陰の位置の変化と太陽の動きを比較して考察させることについて、引き続き指導の改善を図る必要がある。
- ② 通し番号(4「磁石の性質」)についての設問の通過率は67.1であり、他の設問に比べて低い。磁石に引き付けられる物には、磁石に近付くと磁石になる物があることを実験結果から見だし表現させることについて、指導の改善を図る必要がある。

## 3 今後の指導

学習を通して獲得した知識と関係付けて実験結果を分析して考察し、その内容を説明できるようにするための手立てを工夫する。

### [参考 通し番号(4)]

じしゃくのせいしつを調べるために、図1のように、強いじしゃくにつけた鉄のくぎを、発ぼうスチロールの板にのせて水に浮かべると、鉄のくぎは図2のような方位をさして止まりました。また、強いじしゃくにつけた鉄のくぎを、小さい鉄のくぎに近づけると、図3のように小さい鉄のくぎを引きつけました。このことについて説明した下の文が正しくなるように、(あ)に当てはまる言葉を書きなさい。

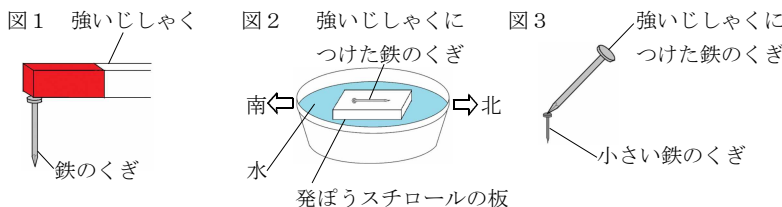


図2と図3の鉄のくぎのようすから、強いじしゃくにつけた鉄のくぎは、(あ)ということがわかりました。

- ・児童に実験結果の見通しをもたせるためには、予想が確かめられた場合に得られる実験結果について、実験の前に既習の内容と関連させて考える場を設定することが大切である。例えば、強い磁石につけた鉄の釘が磁石になるのであれば、「小さい鉄の釘は引き付けられるはずである」や「方位磁針の針を一定の方向に振れさせるはずである」など、磁石の性質と関連させて見通しをもたせることが考えられる。
- ・児童が自らの考えをより妥当なものにして説明できるようにするためには、他者の多様な考えと比べることで自分の考えをより深めるとともに、結果を基に「事実」と「解釈」の両方を説明する場を設定することが大切である。例えば、実験結果を表に整理するなどし、それを基にグループで話し合うことを通して、強い磁石につけた鉄の釘は「鉄を引きつけること」と「N極とS極があること」の二つの「事実」から、「鉄は、磁石に付けると磁石になる」ことを説明する学習活動などが考えられる。

学習を通して獲得した知識を、実際の自然や日常生活など他の場面に適用して考えることができるようにするための手立てを工夫する。

- ・学習の成果を日常生活との関わりの中で捉え直す活動が大切である。例えば、学習を通して獲得した知識を基に、日常生活と関係付けて図や模型を用いて考えたり説明したりする活動やものづくりを行うことなどが考えられる。
- ・自然や日常生活と関係付けて単元を貫く問題を設定し、単元の終末部には、学習を通して獲得した知識を活用して理解を深める活動を設定することなどが考えられる。

平成30年度小学校学習状況調査 第5学年 理科 評価規準と評価の観点

学 年	区 分	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					思 考 表 現	技 能	知 識 理 解
第 4 学 年	B	(2)イ	・季節による植物の成長の様子を理解している。	(1)			○
		(4)ウ	・星座早見を適切に操作する技能を身に付けている。	(2)		○	
	A 物 質 ・ エ ネ ル ギ ー	(2)ウ	・水が氷になるときの規則性を理解している。	(3)			○
		(2)ウ	・水が氷になるときの体積の変化について、適切に観察する技能を身に付けている。	(4)		○	
		(2)イ	・空気の温まり方について、予想を基に実験を構想し表現している。	(5)	○		
		(2)イ	・水の温まり方について、実験の結果を基に考察し、表現している。	(6)	○		
		(2)イ	・水の温まり方について、考察したことを基に水の動きを考え、表現している。	(7)	○		
		(1)ア	・閉じ込めた空気を圧したときの体積の変化や手ごたえの大きさについて考察し、表現している。	(8)	○		
		(1)イ	・閉じ込めた水の体積の変化について、日常生活に適用し、表現している。	(9)	○		
第 5 学 年	B 生 命 ・ 地 球	(4)ア	・方位磁針を適切に操作する技能を身に付けている。	(10)		○	
		(4)ア	・雲の量と天気の関係について理解している。	(11)			○
		(4)ア	・雲の様子が天気の変化に関係していることを理解している。	(12)			○
		(2)イ	・顕微鏡を適切に操作して、水中の小さな生き物を観察する技能を身に付けている。	(13)		○	
		(2)イ	・水中の小さな生き物とメダカの食性を関係付けて考察し、表現している。	(14)	○		
		(1)ア	・ヨウ素液は、でんぷんがあると青紫色に変わることを理解している。	(15)			○
		(1)ア	・ヨウ素液の色を基に子葉の働きについて考え、表現している。	(16)	○		
		(1)ウ	・植物の成長の条件を捉えるための観察や実験を計画し、表現している。	(17)	○		
		(4)イ	・台風が発生する場所や進路について理解している。	(18)			○
		(4)イ	・台風による天気の変化について理解している。	(19)			○
		(1)エ	・受粉の仕組みについて条件を制御して調べる実験方法を考え、表現している。	(20)	○		

・第4学年の区分欄のBは「生命・地球」を示している。

小学校 5年 理科 小問別通過率と設定通過率

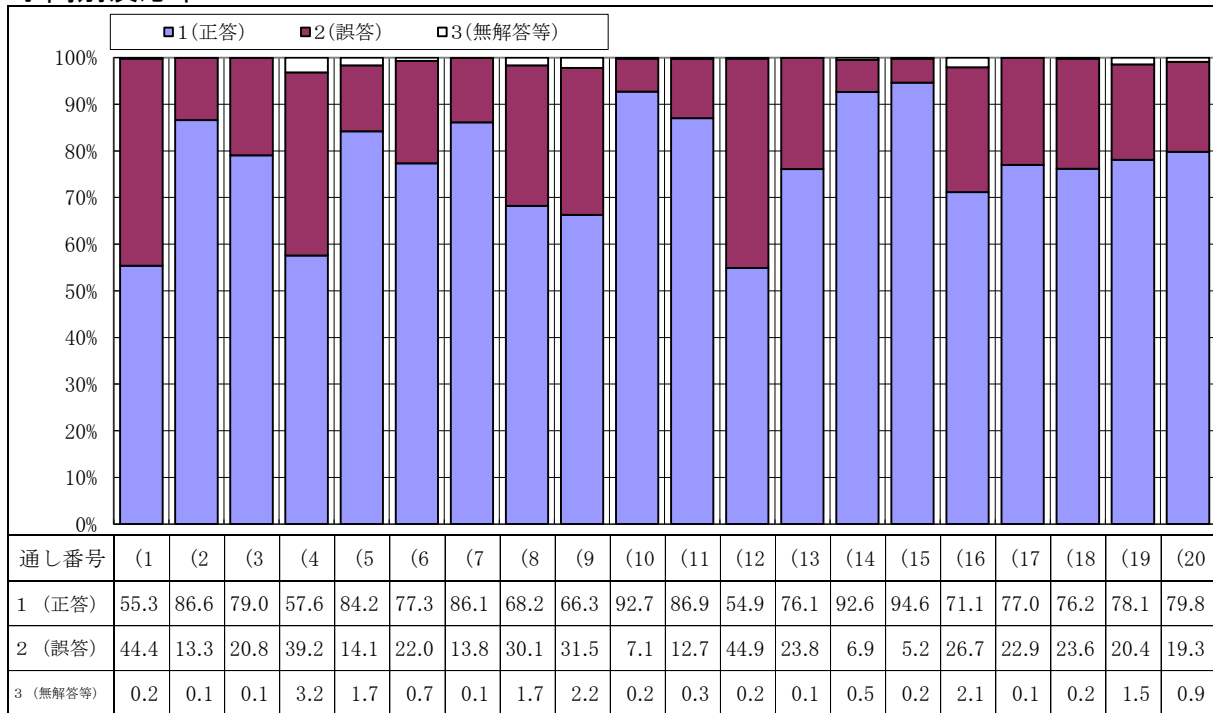
平均通過率 77.1%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	季節による植物の成長の違い	55.3	70.0	
(2)	星座早見の使い方	86.6	80.0	
(3)	水が氷になるときの規則性	79.0	60.0	
(4)	水の温度による体積変化を調べる実験計画	57.6	60.0	
(5)	空気の温度による体積変化を調べる実験計画	84.2	70.0	
(6)	水の温まり方	77.3	70.0	
(7)	熱した水の動き	86.1	70.0	
(8)	閉じ込めた空気の体積と押し返す力の関係	68.2	70.0	
(9)	閉じ込めた水を圧したときの体積	66.3	65.0	
(10)	方位磁針の使い方	92.7	90.0	
(11)	雲の量と天気	86.9	85.0	
(12)	雲の動きと天気の変化との関係	54.9	70.0	
(13)	顕微鏡の使い方	76.1	70.0	
(14)	水中の小さな生き物とメダカの食性との関係	92.6	80.0	
(15)	ヨウ素液の性質	94.6	90.0	
(16)	種子の中でんぷんと発芽の関係	71.1	65.0	
(17)	インゲンマメの成長に必要な条件を調べる実験計画	77.0	75.0	
(18)	台風の発生と進路	76.2	80.0	
(19)	台風による天気の変化	78.1	85.0	
(20)	受粉の仕組みを確かめる実験方法	79.8	75.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 小学校 5年 理科

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (201校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	6	40	26	3	20	17	37	13	8	55	40	3	12	67	116	22	13	20	19	23	
90%~100%	14	69	36	1	51	28	55	18	12	94	64	2	25	89	57	22	17	23	40	43	7
80%~90%	22	48	53	12	77	50	71	30	28	43	59	6	58	35	14	55	51	53	58	49	78
70%~80%	18	27	47	24	32	60	28	44	59	5	23	26	46	3	12	39	62	53	48	37	92
60%~70%	30	11	23	52	18	28	10	45	42	2	13	29	33	1	2	33	48	34	22	24	21
50%~60%	39	4	11	67	2	14		35	21	2	1	64	18	5		12	8	8	9	12	2
40%~50%	24	1	1	28		2		11	16			37	6			3	1	8	3	6	
30%~40%	28		2	11				3	8			27	2			1		1	1	3	
20%~30%	12		1	1		1		1	2			5				3				2	1
10%~20%	7								2							4					
0%~10%	1	1	1	2	1	1		1	3		1	2	1	1		7	1	1	1	2	

# 小学校 5年 理科 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			内 容 区 分 別		計
	科学的な思考・表現	技 能	知識・理解	物質・エネルギー	生命・地球	
+10% より高い	3	0	1	3	1	4
±10% の範囲内	5	5	4	4	10	14
-10% より低い	0	0	2	0	2	2
計	8	5	7	7	13	20

## 2 考察

### (1) 全体について

20問中18問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

### (2) 成果

- ①類似問題については、8問中5問で通過率が上昇しており、指導の改善が図られている。
- ②観点が「知識・理解」の設問は、通過率の平均が昨年度よりも2.8ポイント上昇した75.0%であり、全体的には指導の改善が図られている。

### (3) 課題

- ①通し番号(4「水の温度による体積変化を調べる実験計画」)については、他の設問に比べて通過率が低く、観察、実験の技能の定着に課題が見られる。
- ②通し番号(1「季節による植物の成長の違い」)や通し番号(12「雲の動きと天気の変化」)に関する知識・理解についての設問は設定通過率を下回っており、指導の充実を図る必要がある。

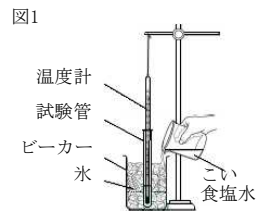
## 3 今後の指導

自分の予想の内容と実験の方法を照らし合わせ、実験を構想できるよう指導の手立てを工夫する。

- ・見いだした問題を解決するために実験を的確に構想できるようにすることが必要である。そのためには、目的意識を基にした観察の視点を、実験を構想する段階で明確にすることが大切である。
- ・例えば、児童の予想が水の体積の増減についてのことであれば、印のない試験管では体積の増減が分からないことに気付かせ、「体積が増えたかどうか分かるようにするためにはどうすればよいか」など発問し、実験の方法を構想させることが考えられる。

### 【参考 通し番号(4)

守さんは、図1のように、水を入れた試験管を氷の入ったビーカーに入れ、こい食塩水をそそぎ、試験管の中の水の温度と体積がどのように変わるかを調べることになりました。守さんは、この実験では水の体積の変わり方については確かめられないことに気がつきました。守さんが水の体積の変わり方を調べるには、試験管に入れた水を冷やす前に、どのようなことをする必要がありましたか。



科学的な言葉や概念を理解できるよう指導の手立てを工夫する。

- ・科学的な概念を理解することができるようにするためには、言葉の意味を的確に捉え、自然の事物・現象と科学的な言葉を一致させることが大切である。
- ・通し番号(1においては、植物における冬越しについて記録した結果を基に、共通点や差異点を見いだす活動を設定することが大切である。共通点や差異点を見いだす活動では、何に着目し分析すればよいかを考えさせるようにする。
- ・通し番号(12においては、日本付近における雲の動きのきまりを雲画像と関係付けて捉え、説明する活動を設定するようにする。

平成30年度小学校学習状況調査 第6学年 理科 評価規準と評価の観点

学 年	区 分	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					思 考 表 現	技 能	知 識 理 解
第 5 学 年	生 命 ・ 地 球	(3)ウ	・流れる水の働きを調べるために、適切に条件をそろえて実験している。	(1)		○	
		(3)ア	・流水量と土地の変化との関係について考察し、表現している。	(2)	○		
		(2)ウ	・子宮内の胎盤について理解している。	(4)			○
		(2)ウ	・母体内での羊水の働きを理解している。	(5)			○
		(2)ア	・顕微鏡を適切に操作して、水中の小さな生物を観察する技能を身に付けている。	(8)		○	
	物 質 ・ エ ネ ル ギ ー	(1)イ	・物が水に溶ける量は水の温度や溶ける物によって違うことを理解している。	(3)			○
		(2)ア	・振り子の長さが、支点からおもりの中心までの長さとなるように、実験器具を組み立てている。	(6)		○	
		(2)ア	・実験結果から、ふりが1往復する時間とその条件を関係付けて考察し、表現している。	(7)	○		
		(3)ア	・電流の流れる向きと電磁石の極の関係について理解している。	(9)			○
		(3)イ	・電磁石の強さを調べる実験方法から、どのような予想を立てたのかを考え、表現している。	(10)	○		
第 6 学 年	A	(1)ア	・気体検知管の使い方を身に付けている。	(11)		○	
		(1)ア	・物が燃えるときの空気の変化について、グラフを基に考え、表現している。	(12)	○		
	生 命 ・ 地 球	(3)イ	・食物連鎖について理解している。	(13)			○
		(1)イ	・消化液について理解している。	(14)			○
		(1)イ	・肝臓の名称と体内における位置を理解している。	(15)			○
		(1)ウ	・血液が心臓の働きにより体内を巡り、酸素を運搬していることを理解している。	(16)			○
		(2)ア	・葉の働きを調べる実験において、適切に条件をそろえて実験している。	(17)		○	
		(2)ア	・実験結果から、植物がでんぷんをつくるためには日光が必要であることを考察し、表現している。	(18)	○		
		(5)ア	・月の見える位置について考え、表現している。	(19)	○		
		(5)ア	・月の見える形について、月と太陽の位置関係についてのモデル実験を基に考え、表現している。	(20)	○		

・第6学年の区分欄のAは「物質・エネルギー」を示している。

小学校 6年 理科 小問別通過率と設定通過率

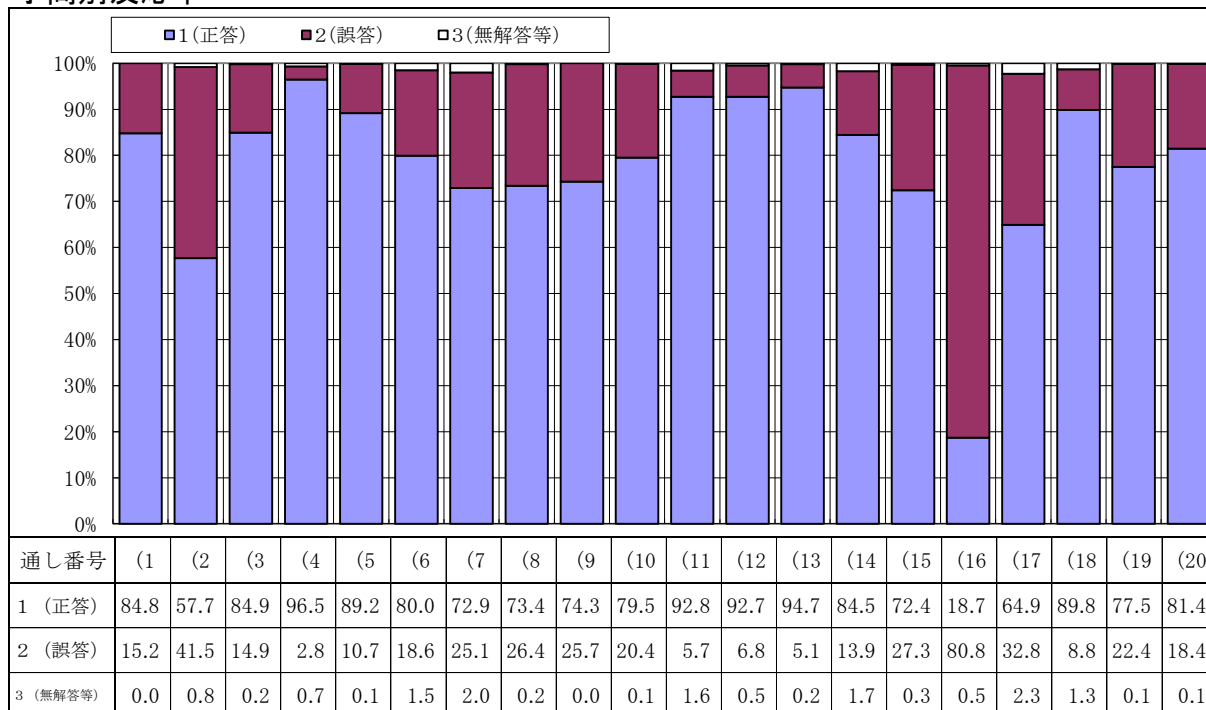
平均通過率 78.1%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	流水の働きを調べる実験の条件制御	84.8	80.0	
(2)	流れる水の量と流れる水の働きの関係	57.7	65.0	
(3)	物が水に溶ける量と温度の関係	84.9	75.0	
(4)	人の母体内での成長に関わる部分の名称	96.5	75.0	
(5)	羊水の働き	89.2	80.0	
(6)	振り子の長さ	80.0	70.0	
(7)	振り子の1往復する時間と関係する条件	72.9	60.0	
(8)	顕微鏡の使い方	73.4	75.0	
(9)	電流の向きと電磁石の極の関係	74.3	70.0	
(10)	電磁石の強さを調べる実験の条件制御	79.5	75.0	
(11)	気体検知管の使い方	92.8	80.0	
(12)	燃焼による気体の体積の割合の変化	92.7	85.0	
(13)	生き物どうしのつながり	94.7	80.0	
(14)	食べ物を消化する液の名称	84.5	80.0	
(15)	肝臓の名称と体内の位置	72.4	70.0	
(16)	酸素を多く含む血液	18.7	60.0	
(17)	でんぷんの有無を調べる実験の条件制御	64.9	60.0	
(18)	光合成に必要な条件	89.8	70.0	
(19)	月の見える位置の移り変わり	77.5	75.0	
(20)	月の形の見え方	81.4	65.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 小学校 6年 理科

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (200校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	18	9	29	117	39	20	13	18	17	19	75	47	65	35	17	1	11	50	13	27	1
90%~100%	38	8	56	68	81	39	11	15	20	19	84	99	110	56	16		6	67	31	27	10
80%~90%	96	13	61	11	52	58	52	48	49	76	30	46	23	57	50	1	22	62	50	72	93
70%~80%	38	29	34	2	20	47	59	46	53	53	3	5	1	24	47	2	37	14	54	57	75
60%~70%	7	44	17	1	6	23	29	38	38	27	4	2	1	18	33	6	66	6	26	11	19
50%~60%		41	1			8	23	23	16	3				5	26	8	40	1	18	6	1
40%~50%		39				4	8	7	4	3	2			3	7	5	10		4		
30%~40%	1	11			1		2	4	1					1	1	13	5		3		
20%~30%		4					1								1	47					1
10%~20%		1							1							66	1		1		
0%~10%	2	1	2	1	1	1	2	1	1		2	1		1	2	51	2				



# 小学校 6 年 理科 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の 分類	観 点 別			内 容 区 分 別		計
	科学的な思考・表現	技 能	知識・理解	物質・エネルギー	生命・地球	
+10% より高い	3	2	2	3	4	7
±10% の範囲内	4	3	5	4	8	12
-10% より低い	0	0	1	0	1	1
計	7	5	8	7	13	20

## 2 考察

### (1) 全体について

20問中19問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

### (2) 成果

①類似問題については、8問中7問で通過率が上昇し、指導の改善が図られている。特に、昨年度の課題であった「肝臓の名称と体内の位置」に関する設問の通過率は8.9ポイント上昇した72.4であった。また、「顕微鏡の使い方」は小学校5年時の通過率より5.4ポイント上昇した73.4であった。

②「物質・エネルギー」の内容に関する設問は、通過率の平均が82.4であり、物が水に溶ける量と温度の関係や振り子の長さについて、学習内容の定着が図られている。

### (3) 課題

①通し番号(2「流れる水の量と流れる水の働きの関係」のように、観察、実験の結果を基に事象の関係性を見いだす設問の通過率が低いことから、結果の解釈について関係性に着目する視点等をもって話し合わせ、用語を適切に用いて説明する場面を設定し、定着を図る必要がある。

②通し番号(16「酸素を多く含む血液」の通過率は、設定通過率を大きく下回った。モデル等を適切に利用して対話させるなどして、一人一人が実感的に理解できるようにするための工夫が必要である。

## 3 今後の指導

自然の事物・現象から引きだした課題について、仮説や見通しを基にモデル実験等を行い、既習の用語等を用いて解釈し説明する活動の充実を図る。

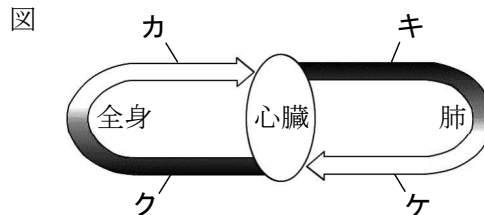
- ・自然の事物・現象に関わる児童の疑問を起点にして学習活動を構成する。
- ・児童が直接観察、実験を行うことが難しい内容については、得られた結果を根拠にして自然の事物・現象について対話して思考する場面を一層工夫し、実感的な理解に結び付ける。
- ・既習の内容を用いて理由や根拠等を説明させる場面を意図的に構成するなどして、日常生活や実社会で生きて働く知識を定着させるようにする。

視聴覚教材や模型、モデル等を用いて、条件や視点等を適切に設定した言語活動を行って課題解決を図る。

- ・習得させたい事項について、教師の説明することと、児童自身が思考して解決することを整理した上で指導に当たる。
- ・観察、実験が直接難しい場合は、日常生活や実社会との関連、児童の日常体験等を想起させながら問いを引き出し、解決可能な問題を設定して主体性を高める。
- ・視聴覚教材や模型等を利用し、見て、触れて実感する場面を工夫する。例えば、通し番号(16にあるような模式図を利用し、「酸素の多い血液が流れるのはどこか」などについて根拠を基に説明する活動を設定することが考えられる。

### 【参考 通し番号(16)

血液の流れを説明した文が正しくなるように㉠, ㉡に当てはまる部分として適切なものを、図のカ〜ケから2つ選んで記号を書きなさい。



心臓から肺、全身へとつながっている血液の流れを、カ〜ケのように4つの部分に分けて考えると、酸素の多い血液が流れているのは、(㉠)と(㉡)の部分である。

平成30年度中学校学習状況調査 第1学年 理科 評価規準と評価の観点

学年	領域等	内容	評価規準	通し番号	観 点		
					思考表現	技能	知識理解
小学校 第6学年	A 物質 ・ エネルギー	(4)ア	・コンデンサーに同じ量の電気をためるための条件制御の方法を身に付けている。	(1)		○	
		(4)イ	・豆電球と発光ダイオードにおいて必要な電気の量について考察し、表現している。	(2)	○		
		(4)ア	・実験の結果から、電気の一部が熱に変換されていることを見だし、表現している。	(3)	○		
		(3)イ	・てこが水平につり合うための条件について考察し、表現している。	(4)	○		
		(3)イ	・てこが水平につり合うときは、両側のてこを傾けるはたらきの大きさが等しいことを理解している。	(5)			○
		(3)ウ	・てこを利用した道具の支点、力点、作用点の位置関係を理解している。	(6)			○
	(2)ア	・うすい塩酸を加えるために用いる器具を理解している。	(7)		○		
	(2)アイウ	・複数の結果を関係付けながら、物質の性質について考察している。	(8)	○			
	(4)イ	・地層の様子から、地層のでき方を推論し、表現している。	(9)	○			
中学校 第1学年	B	(2)ア	・葉の働きを調べる実験において、適切に条件をそろえて実験している。	(16)		○	
		(2)ア(ア)	・物質の密度を求める方法を理解している。	(10)			○
		(2)ウ(イ)	・蒸留について、発生した気体を液体にするための水の役割を理解している。	(11)		○	
		(2)ウ(イ)	・表から混合物に含まれる物質とその割合を推論し、表現している。	(12)	○		
		(2)ア(イ)	・酸素と二酸化炭素を発生させる方法を身に付けている。	(13)			○
		(2)ア(イ)	・酸素と二酸化炭素の性質について、実験結果を課題と正対させて考察し、見いだした結論を表現している。	(14)	○		
	域的 領域	(2)イ(ア)	・質量パーセント濃度と水溶液の質量から、溶質と溶媒の質量を求める方法を理解している。	(19)			○
		(1)イ(イ)	・道管の役割を理解している。	(15)			○
		(1)ウ(イ)	・コケ植物の水の吸収の仕方を理解している。	(17)			○
		(1)ウ(ア)	・被子植物を分類する観点を理解している。	(18)			○
	(1)ア(ア)	・顕微鏡の使い方を身に付けている。	(20)		○		

※第6学年の領域等欄のBは「生命・地球」を示している。

中学校 1年 理科 小問別通過率と設定通過率

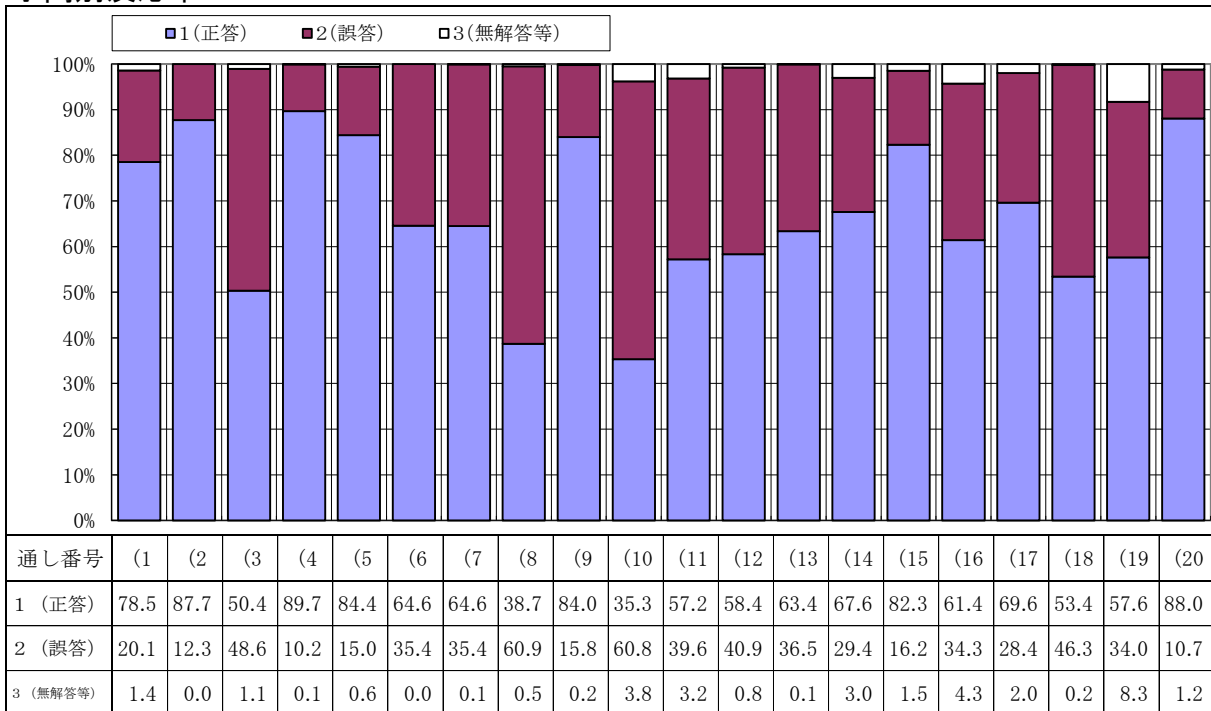
平均通過率 66.8%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	同じ量の電気をためるための条件制御	78.5	80.0	
(2)	豆電球と発光ダイオードの発電量の違い	87.7	70.0	
(3)	電気の利用	50.4	60.0	
(4)	てこがつり合うときの条件	89.7	80.0	
(5)	てこの規則性の利用	84.4	65.0	
(6)	てこを利用した道具	64.6	70.0	
(7)	少量の液体を注ぐときに使う器具	64.6	70.0	
(8)	水溶液の性質や働き	38.7	65.0	
(9)	地層のでき方	84.0	80.0	
(10)	密度の求め方	35.3	60.0	
(11)	蒸留における操作で水を用いる理由	57.2	65.0	
(12)	蒸留によってとり出した液体の性質	58.4	65.0	
(13)	気体を発生させるための薬品	63.4	70.0	
(14)	気体の性質	67.6	70.0	
(15)	植物の体のつくり	82.3	80.0	
(16)	でんぷんの有無を調べる実験の条件制御	61.4	65.0	
(17)	コケ植物の水分の吸収の仕方	69.6	75.0	
(18)	被子植物の分類	53.4	70.0	
(19)	質量パーセント濃度を利用した物質の質量の求め方	57.6	60.0	
(20)	顕微鏡の使い方	88.0	85.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 中学校 1年 理科

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (117校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	8	13		21	8	3	4	2	11	1	1	2	4	1	9	2	3	1	2	10	
90%~100%	18	36	2	45	16	1	2		21		2	4	2	6	31	2	9	2	1	45	1
80%~90%	32	53	3	47	72	10	17	1	53		11	5	9	15	43	5	23	3	6	52	6
70%~80%	41	13	8	4	17	27	26		26	1	20	13	27	36	23	14	29	9	15	9	31
60%~70%	14	2	18		3	39	28		6	5	21	37	34	28	4	41	25	23	27	1	71
50%~60%			28			23	22	13		6	26	33	22	23	1	42	17	40	36		6
40%~50%	2		37			11	9	37		25	19	16	10	4	2	8	4	23	25		1
30%~40%	1		15				7	42		37	12	3	6	2	2	1	3	10	3		
20%~30%			3			1		18		31	3	2	2		1	1	2	3	1		1
10%~20%			1				1	2		5								1			
0%~10%	1		2		1	2	1	2		6	2	2	1	2	1	1	2	2	1		

# 中学校 1 年 理科 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			内 容 区 分 別 ・ 領 域 別				計
	科学的思考・表現	技能	知識・理解	物質・エネルギー	生命・地球	化学	生物	
+10% より高い	1	0	1	2	0	0	0	2
±10% の範囲内	5	5	5	5	2	5	3	15
-10% より低い	1	0	2	1	0	1	1	3
計	7	5	8	8	2	6	4	20

## 2 考察

### (1) 全体について

- ① 20問中17問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ② 平均通過率は、小学校6年の内容が70.4、中学校1年の内容が63.3であった。中学校1年の内容に関する補足的な指導等を計画的に設定する必要がある。

### (2) 成果

- ① 類似問題については、8問中5問の通過率が上昇し、おおむね指導の改善が図られている。特に昨年度の課題であった「植物の体のつくり」に関する設問の通過率は22.1ポイント上昇し82.3であった。
- ② 生物分野の設問の平均通過率が73.3であり、他の分野に比べて定着が図られている。

### (3) 課題

- ① 通し番号(10「密度の求め方」のように、計算を伴う科学的な概念に関して課題が見られる。観察、実験の結果を分析するために用いる式について、その意味を考える活動を意図的に設定する必要がある。
- ② 通し番号(18「被子植物の分類」のように、2種類の植物の比較により共通点と相違点を見いだすことに課題が見られる。既習の概念のつながりが見えるようにまとめ方を工夫したり、既習の概念を活用して新たな課題解決を目指す活動を設定したりするなど、指導の手立てを工夫する必要がある。

## 3 今後の指導

**基礎的・基本的な知識・技能を適用して課題を解決する活動における手立てを工夫する。**

- ・身近な物体の密度の大きさを求めるなど、基礎的・基本的な知識・技能を適用して課題を解決する活動を設定する。また、計算の過程や結果について話し合う活動を設定し、計算の意味についての理解が深まるようにする。
- ・密度は物質を区別するための手がかりの1つであることを押さえ、密度を求める必要性を理解できるようにする。例えば、求めた密度の値から金属を推定する活動を取り入れるなど、密度の概念を活用させることが考えられる。

### [参考 通し番号(10)]

図のように金属でできた一辺が 2.0 cm の立方体 X の質量を電子てんびんでかかったところ、21.6 g でした。立方体 X の密度は  $\text{g}/\text{cm}^3$  ですか、求めなさい。



**既習の概念を活用し発揮する活動を意図的に設定する。**

- ・植物の分類について学習する際には、植物のグループの名称と、植物の体のつくりを関連付けてまとめさせたり、分類の観点を示して図にまとめさせたりするなど、既習の概念とのつながりが意識できるような表現の仕方を工夫させる。
- ・身近に見られる植物がどのグループに分類されるのかを調べる活動を取り入れるなど、既習の概念を活用して考える場を設定する。

### [参考 通し番号(18)]

植 物 *	ふえ方 *	葉、茎、根の区別 *	維管束 *	胚珠のようす *
トウモロコシ	種子でふえる	ある	ある	子房に包まれている
ヒマワリ	種子でふえる	ある	ある	子房に包まれている

- (2) 学さんは、トウモロコシとヒマワリはさらになかま分けすることができるのではないかと考え、「子葉の数」「葉脈のようす」「根のようす」について、それぞれ調べました。トウモロコシに当てはまる特徴を、次のア～カから3つ選んで、記号を書きなさい。
- ア 子葉が1枚    イ 葉脈が網目状    ウ 根が主根・側根  
エ 子葉が2枚    オ 葉脈が平行    カ 根がひげ根

平成30年度中学校学習状況調査 第2学年 理科 評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点		
					思考表現	技能	知識理解
第1学年	地学的領域	(2)ア(イ)	・震源の真上の地表が震央であることを理解している。	(1)			○
		(2)ア(イ)	・震源から観測地点までの距離を、P波の伝わる速さを基に求める方法を理解している。	(2)			○
		(2)ア(イ)	・初期微動継続時間の長さや震源からの距離の関係を、主要動が始まる時間と関連付けて考え、表現している。	(3)	○		
		(2)イ(ア)	・標高を示した図と柱状図を関連付けて考察し、地層が傾いている方向を表現している。	(4)	○		
		(2)イ(ア)	・示準化石になる生物の条件を理解している。	(5)			○
	物理的領域	(1)ア(ア)	・ストローが曲がって見えるときの光の進み方を、屈折と関連付けて考察し、表現している。	(6)	○		
		(1)ア(イ)	・スポットライトの仕組みを、凸レンズの性質と関連付けて考察し、表現している。	(7)	○		
		(2)ア(ア)	・物質の密度を求める方法を理解している。	(8)			○
		(1)イ(ア)	・物体に働く重力を、矢印で表している。	(9)			○
		(1)イ(イ)	・浮力について、物体の体積と関係付けながら、結果を基に考察し、表現している。	(10)	○		
第2学年	化学的領域	(4)ア(ア)	・水の電気分解の際、水酸化ナトリウムを加える理由を理解している。	(11)		○	
		(4)ア(ア)	・発生した気体が、水素と酸素であることを確かめる方法を理解している。	(12)			○
		(4)ウ(イ)	・実験結果から、マグネシウムの質量と化合した酸素の質量の関係をグラフに表している。	(13)		○	
		(4)ウ(イ)	・マグネシウムと酸素が化合するときの質量の関係から、必要なマグネシウムの質量を推定し、表現している。	(14)	○		
		(4)ア(イ)	・マグネシウムと酸素が化合するときの化学変化を、モデルを使って表現している。	(15)	○		
	生物的領域	(3)ア(ア)	・植物細胞と動物細胞で、染色液に染まる共通部分について理解している。	(16)			○
		(3)ア(ア)	・同じ形や働きをもった細胞の集まりが組織であること、特定の働きをするものを器官ということを理解している。	(17)			○
		(3)ウ(イ)	・軟体動物にはどんな生物がいるかを理解している。	(18)			○
		(3)イ(ア)	・循環経路の模式図から、血管を流れている血液の種類について理解している。	(19)			○
		(3)イ(ア)	・血液が一方に流れ、逆流しない理由を理解している。	(20)			○

中学校 2年 理科 小問別通過率と設定通過率

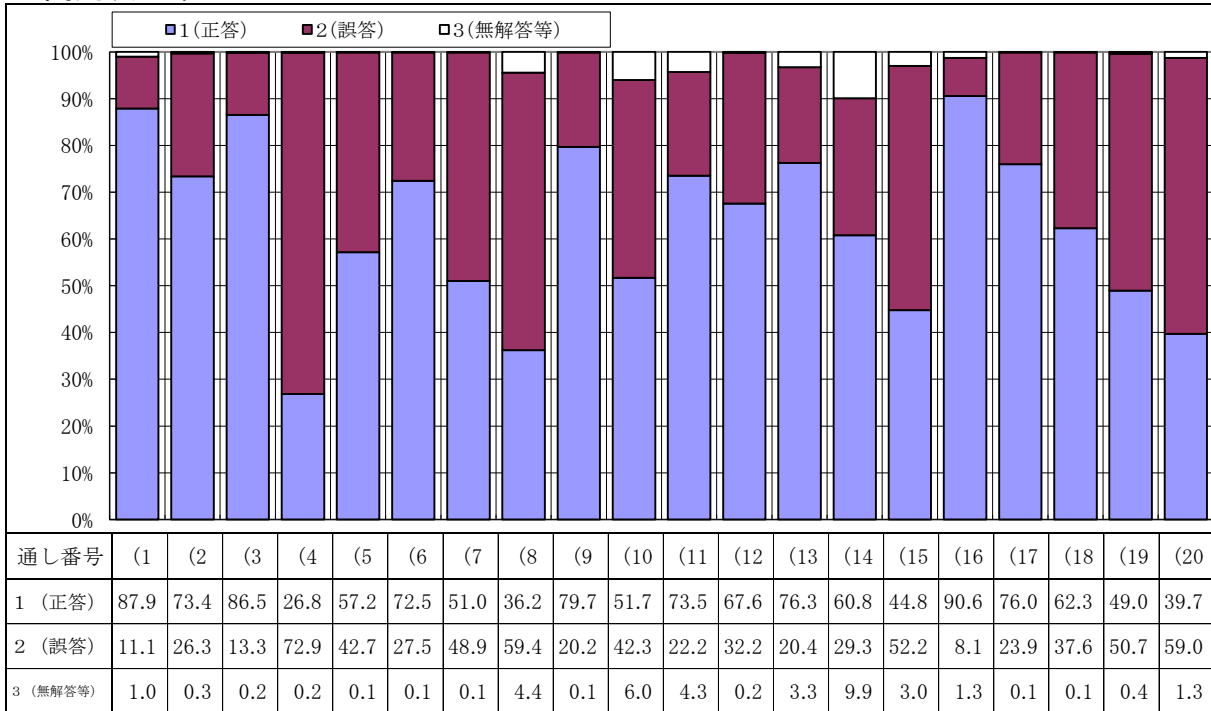
平均通過率 63.2%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	震源の真上の地点の名称	87.9	80.0	
(2)	初期微動が伝わる速さと震源からの距離	73.4	70.0	
(3)	初期微動継続時間と震源からの距離の関係	86.5	80.0	
(4)	地層が傾いている方向	26.8	60.0	
(5)	示準化石になる生物の条件	57.2	60.0	
(6)	屈折する光の道筋	72.5	70.0	
(7)	スポットライトの凸レンズを通る光の進み方	51.0	60.0	
(8)	密度の求め方	36.2	65.0	
(9)	重力の表し方	79.7	75.0	
(10)	浮力と物体の体積の関係	51.7	60.0	
(11)	水の電気分解において水酸化ナトリウムを加える理由	73.5	80.0	
(12)	水の電気分解によって発生した気体の性質の調べ方	67.6	75.0	
(13)	マグネシウムの質量と化合した酸素の質量との関係を表すグラフの作成	76.3	70.0	
(14)	マグネシウムと化合する酸素の質量比	60.8	60.0	
(15)	マグネシウムの酸化についてモデルを用いた表し方	44.8	60.0	
(16)	植物細胞と動物細胞の共通点	90.6	90.0	
(17)	多細胞生物の体のつくり	76.0	75.0	
(18)	軟体動物の仲間	62.3	70.0	
(19)	動脈血が流れる血管	49.0	70.0	
(20)	血液が逆流しない理由	39.7	70.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 中学校 2年 理科

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (117校)

は県平均通過率

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	16	2	7		2		1		6	2	1	3	6	1	1	23	1	1			
90%~100%	47	4	35		4	3	3		28	2	11	2	18	3		59	7	1		1	
80%~90%	34	12	63		11	23	9		39	8	28	9	41	4	4	29	22	13		1	1
70%~80%	11	57	8		15	45	12	2	19	8	37	33	23	16	7	4	61	27	7	3	18
60%~70%	4	38	1	3	24	24	13	6	10	23	22	43	21	37	10	1	22	22	12	12	61
50%~60%	2	3	1	2	30	18	20	7	8	24	12	19	5	38	21	1	4	31	38	12	33
40%~50%	1			14	14	2	24	26	3	22	2	5		12	23			11	37	19	3
30%~40%		1		14	10		16	40	1	22	2	2	2	5	29			5	17	30	1
20%~30%	2		1	37	6	1	9	28	1	4		1		1	13			6	5	23	
10%~20%				35			7	6		1	1				6					12	
0%~10%			1	12	1	1	3	2	2	1	1		1		3				1	4	



# 中学校 2年 理科 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			内 容 区 分 別 ・ 領 域 別				計
	科学的な思考・表現	技 能	知識・理解	物理	化学	生物	地学	
+10% より高い	0	0	0	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	5	2	8	4	4	3	4	15
-10% より低い	2	0	3	1	1	2	1	5
計	7	2	11	5	5	5	5	20

## 2 考察

### (1) 全体について

- ① 20問中15問が設定通過率の「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ② 科学的な思考・表現に関する設問の通過率の平均は56.3であり、習得した知識・技能を活用して考えることに課題がある。

### (2) 成果

- ① 課題に対する改善状況を捉えるために出題した過年度出題の類似問題11問については、9問で通過率が上昇した。
- ② 「初期微動継続時間と震源からの距離の関係」と「植物細胞と動物細胞の共通点」についての通過率は80%以上であり、他の内容と比べて定着が図られている。

### (3) 課題

- ① 通し番号(4「地層が傾いている方向」のように、標高を示した図と柱状図を関連付けて考察し、地層が傾いている方向を見いだす設問の通過率が他と比べて低い。観察、実験の結果を分析し解釈して、既習の知識や技能と関連付けて考えることができるようにする必要がある。
- ② 通し番号(12「水の電気分解によって発生した気体の性質の調べ方」についての通過率が低い。予想や仮説を立て、検証するための観察、実験を計画する学習活動の充実を図る必要がある。

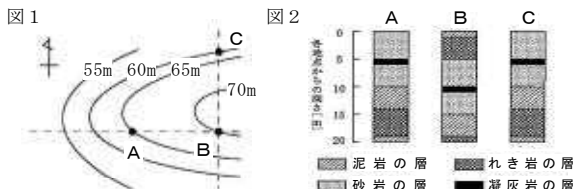
## 3 今後の指導

**観察、実験の結果を分析し解釈して、既習の知識や技能と関連付けて探究する学習活動を工夫する。**

- ・ 生徒が考える場面と教師が教える場面を意図的に組み入れ、生徒同士で意見交換したり、科学的な根拠に基づいて議論し合ったりする場面を設定する。
- ・ 通し番号(4)については、例えば、標高に合わせて柱状図を並べ、それぞれの地層を線でつなぎ、地層のつながりについて個人で考えた後に、グループや全体で検討する場面を設定することが考えられる。
- ・ 課題解決に必要な既習の知識をカード等で示したり、生徒に説明させ想起させたりして、解決すべきこととの関連を明確にさせるようにする。

### 【参考 通し番号(4)】

図1は、A～C地点の標高と位置関係を表しており、図2は、A～C地点のボーリング調査の結果を表した柱状図です。ただし、地層は平行に重なっていて、上下の逆転や断層はないものとします。



- (1) 図1と図2の結果から、この地層の広がりにはどのような特徴があるといえますか。次のア～エから1つ選んで記号を書きなさい。  
 ア 東の方に下がっている。      イ 西の方に下がっている。  
 ウ 南の方に下がっている。      エ 北の方に下がっている。

**検証方法を立案し、見通しをもって観察、実験に取り組むことができるよう指導の手立てを工夫する。**

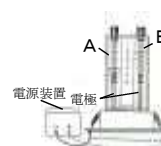
- ・ 単元の指導計画を作成する際には、必要に応じて2単位時間を連続して授業を構成するなど、生徒自らが課題を解決するために探究する時間を十分に確保する。
- ・ 検証方法について、一人一人に自分の考えをもたせ、教師や生徒同士の対話を通して、妥当であるかを検討する場面を設定する。
- ・ 通し番号(12)については、既習の水素と酸素の性質を踏まえ、それを実験方法に反映させることができるよう、学習活動を工夫する。

### 【参考 通し番号(12)】

〔課題Ⅱ〕 水を分解したときに発生した気体は何か。

〔予想Ⅱ〕 Aは水素で、Bは酸素だろう。

〔実験Ⅱ〕 Aの性質を調べる方法…   
 Bの性質を調べる方法…



- (2) 〔予想Ⅱ〕を確かめるとき、X、Yに当てはまる方法を、次のア～エから1つずつ選んで、それぞれ記号を書きなさい。  
 ア 集まった気体に水でぬらした青色のリトマス紙を近づけ、赤くなか調べる。  
 イ 集まった気体に水でぬらした赤色のリトマス紙を近づけ、青くなか調べる。  
 ウ 集まった気体にマッチの火を近づけ、音を立てて燃えるか調べる。  
 エ 集まった気体の中に火のついた線香を近づけ、激しく燃える調べる。

#### 4 結果と考察 (5) 英語

平成30年度中学校学習状況調査 第1学年 英語 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					表 現	理 解	知 識 ・ 理 解
第 1 学 年	聞 く こ と	ア (イ)	[正確な聞き取り] ・短い英語の指示を聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。	(1		○	
		ア (オ)	[適切な聞き取り] ・まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ることができる。	(2 (3		○	
		ア (イ)	[正確な聞き取り] ・短い会話を聞いて、情報を正確に聞き取ることができる。	(4		○	
		ア (ウ)	[適切な聞き取り] ・話し手からの発話や質問を聞いて、適切に応じることができる。	(5 (6		○	
	読 む こ と	ウ (ウ)	[正確な読み取り] ・書かれた内容について、正確に読み取ることができる。	(7 (9		○	
		ウ (エ)	[適切な読み取り] ・書かれた内容について、大切な部分を読み取り、適切に応じることができる。	(8		○	
		ウ (ウ)	[正確な読み取り] ・話の流れをつかみながら、文章を正確に読み取ることができる。	(10 (11		○	
	書 く こ と	エ (イ)	[言語についての知識・理解] ・正しい語法や文法を理解し、文の中で正確に用いることができる。	(12 (13			○
		エ (イ)	[正確な筆記] ・与えられた情報を用いて、正しく英文を書くことができる。	(14	○		
		エ (オ)	[適切な筆記] ・自分のことについて、相手に伝わるように適切に英文を書くことができる。	(15	○		
		エ (ウ)	[適切な筆記] ・読み取った内容を基に、適切に英文を書くことができる。	(16	○		
		エ (イ)	[正確な筆記] ・与えられた語を用いて、会話が成り立つように正しく英文を書くことができる。	(17 (18	○		
エ (イ)		[言語についての知識・理解] ・正しい語順を用いて、文を構成する知識を身に付けている。	(19 (20			○	

中学校 1 年 英語 小問別通過率と設定通過率

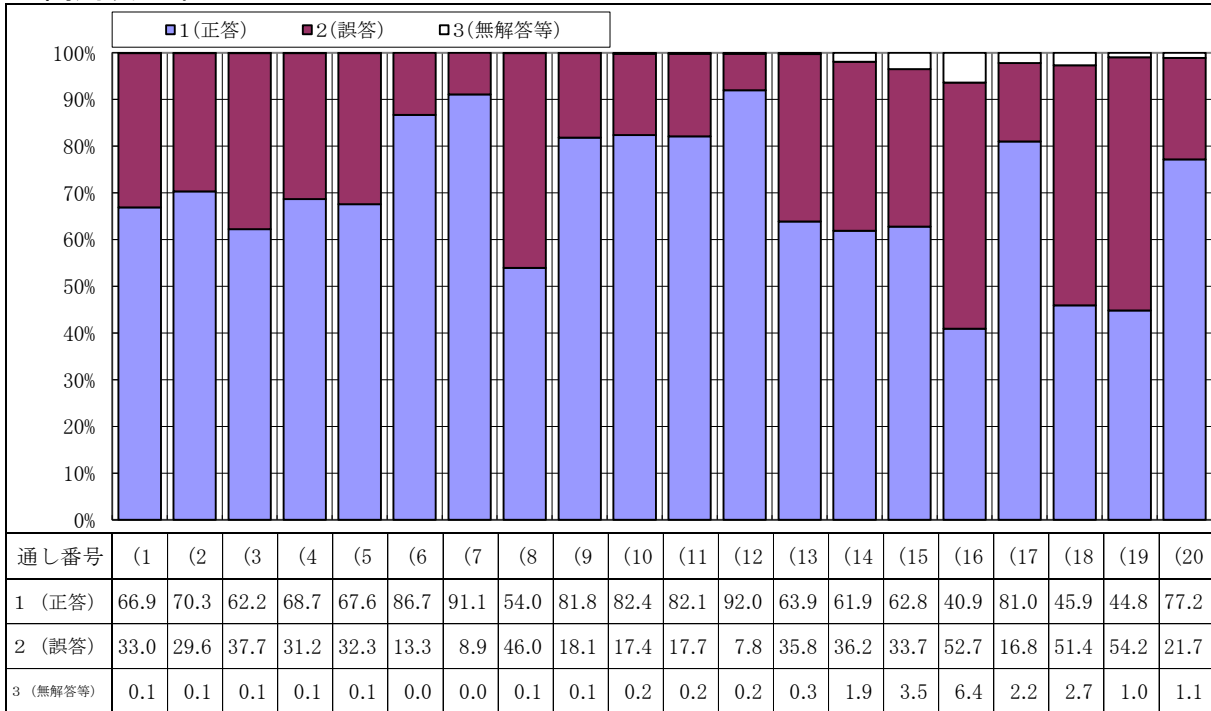
平均通過率 69.2%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	(聞) 短い英語の指示の聞き取り	66.9	70.0	
(2)	(聞) 日曜日の行動についての聞き取り	70.3	75.0	
(3)	(聞) 野球が好きな家族についての聞き取り	62.2	70.0	
(4)	(聞) 好きな教科についての会話の聞き取り	68.7	75.0	
(5)	(聞) 指示に対する適切な応答	67.6	75.0	
(6)	(聞) 問いかけに対する適切な応答	86.7	80.0	
(7)	(読) 買い物の場面の会話の読み取り	91.1	80.0	
(8)	(読) メモの内容の読み取りと適切な対応	54.0	70.0	
(9)	(読) 部活動についての会話の読み取り	81.8	70.0	
(10)	(読) 適切な会話の構成	82.4	75.0	
(11)	(読) 適切な会話の構成	82.1	75.0	
(12)	(書) 正しい前置詞の選択	92.0	80.0	
(13)	(書) 正しい一般動詞の選択	63.9	70.0	
(14)	(書) 与えられた情報に基づく英文の作成	61.9	60.0	
(15)	(書) 休日にすることについての英文の作成	62.8	60.0	
(16)	(書) メール文の内容を踏まえた英文の作成	40.9	60.0	
(17)	(書) 与えられた語を用いて、会話を成り立たせる英文の作成 (一般動詞疑問文)	81.0	70.0	
(18)	(書) 与えられた語を用いて、会話を成り立たせる英文の作成 (三単現否定文)	45.9	65.0	
(19)	(書) 疑問詞を用いた疑問文の構造	44.8	70.0	
(20)	(書) 慣用表現の文の構造	77.2	75.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 中学校 1年 英語

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (117校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	2	1	2	3	2	9	13		7	9	5	10	2	3	3	1	8	1	2	4	
90%~100%	3	5	2	5	5	27	55	1	15	15	16	65	3	1	5	1	23			13	2
80%~90%	15	13	5	15	13	57	45	3	54	50	52	37	6	10	21		37	1	3	30	7
70%~80%	35	37	17	30	34	16	2	8	33	27	33	2	22	20	23	3	36	6	7	42	40
60%~70%	29	43	33	34	29	6	1	20	4	9	9	1	42	32	23	11	12	19	10	20	54
50%~60%	23	11	42	22	21	1		33	3	5		1	24	25	15	14		25	21	5	13
40%~50%	8	3	8	3	7			33					13	16	17	33		25	16	1	
30%~40%	1	2	4	2	5			17					2	7	6	30		27	32		
20%~30%			1										1	1	1	16		10	16		
10%~20%																6		1	8		
0%~10%	1	2	3	3	1	1	1	2	1	2	2	1	2	2	3	2	1	2	2	2	1

# 中学校1年 英語 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類	観 点 別			領 域 別			計
	表現の能力	理解の能力	知識・理解	聞くこと	読むこと	書くこと	
+10% より高い	1	2	1	0	2	2	4
±10% の範囲内	2	8	2	6	2	4	12
-10% より低い	2	1	1	0	1	3	4
計	5	11	4	6	5	9	20

## 2 考察

### (1) 全体について

- ①20問中16問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好といえる。
- ②「書くこと」のうち、「適切な筆記」「正確な筆記」に関する設問の通過率の平均は58.5%と低い。

### (2) 成果

- ①「読むこと」において5問中4問の通過率の平均が80%を超えており、正確に読み取ることに関する定着状況は良好である。
- ②平成29年度調査において課題の見られた「会話の読み取り」に関する設問の通過率が上昇(68.2%→91.1%)し、指導の改善が図られている。

### (3) 課題

- ①平成29年度調査において課題の見られた「読み取った内容を基に、適切な疑問文を書くこと」については、依然として課題が見られる。
- ②「書くこと」において、三人称単数現在形の否定文と疑問文について、正しい語順で文を構成する知識の定着に課題が見られる。
- ③小学校外国語活動から継続して用いられている英語による指示や慣用表現に関する設問の通過率が、設定通過率を下回っている。

## 3 今後の指導

「書くこと」に関して、習得した言語材料をコミュニケーションの中で活用させながら、求められている内容を適切に表現する活動を取り入れる。

- ・自分の考えや気持ちをペアやグループで口頭で伝える活動をした後に、その内容を書いてまとめるなどの言語活動を設定する。その際、何をどのように書けばよいかを含めて指導する。
- ・日常生活においては、話す内容をメモとして書いた後にその内容を口頭で伝えることもしばしば起こるため、「話すこと」と「書くこと」の順序については限定的に扱わず、バランスを取りながら指導する。

場面や状況、読み手の意向等を理解し、文脈を大切にして英文を書く指導を充実させる。

- ・日記など、身近な話題について文量等にとらわれない形式で英文を書く活動を、年間を通じて継続的に取り入れ、書くことに慣れ親しませる。
- ・まとまりのある英文を書く活動では、書き始める前にキーワードを整理させるなど、場面や目的に応じて読み手に伝わる内容となるよう意識させる。
- ・多様に設定したテーマや場面について、主語や時制、状況等に応じた正しい表記や語順の文を、意味のある文脈の中で用いて、まとまりのある英文を書くことを意識させる。

### ※指導例：通し番号(16、(18、(19

伝えたい内容を整理しながら話したり、読み手に伝えるために英文を書いたりする活動を通して、言語材料の定着と、文脈に沿って英文を書く力の育成を目指す指導例

<p>「好きな季節」について口頭で伝え合う。</p> <p>A: Which season do you like? B: I like spring. My birthday is in April. A: Do you have a birthday party every year? B: Yes, I have it with my friends. It's very interesting.</p>	<p>相手の伝えた内容を基に、「友達の好きな季節」について、間違いを気にせずに第三者に伝える。</p> <p>My friend Ken <u>like</u> spring. <u>He</u> birthday is in April. He <u>haves</u> a birthday party with his friends every year. He <u>enjoy</u> it very much.</p>	<p>ペアでの相互評価や教師によるアドバイス等を受けて、「友達の好きな季節」を説明する英文を、文脈を意識しながら書く。</p> <p>My friend Ken likes spring. His birthday is in April. He has a birthday party with his friends every year. He enjoys it very much. So he likes spring.</p>
---	--	---

平成30年度中学校学習状況調査 第2学年 英語 評価規準と評価の観点

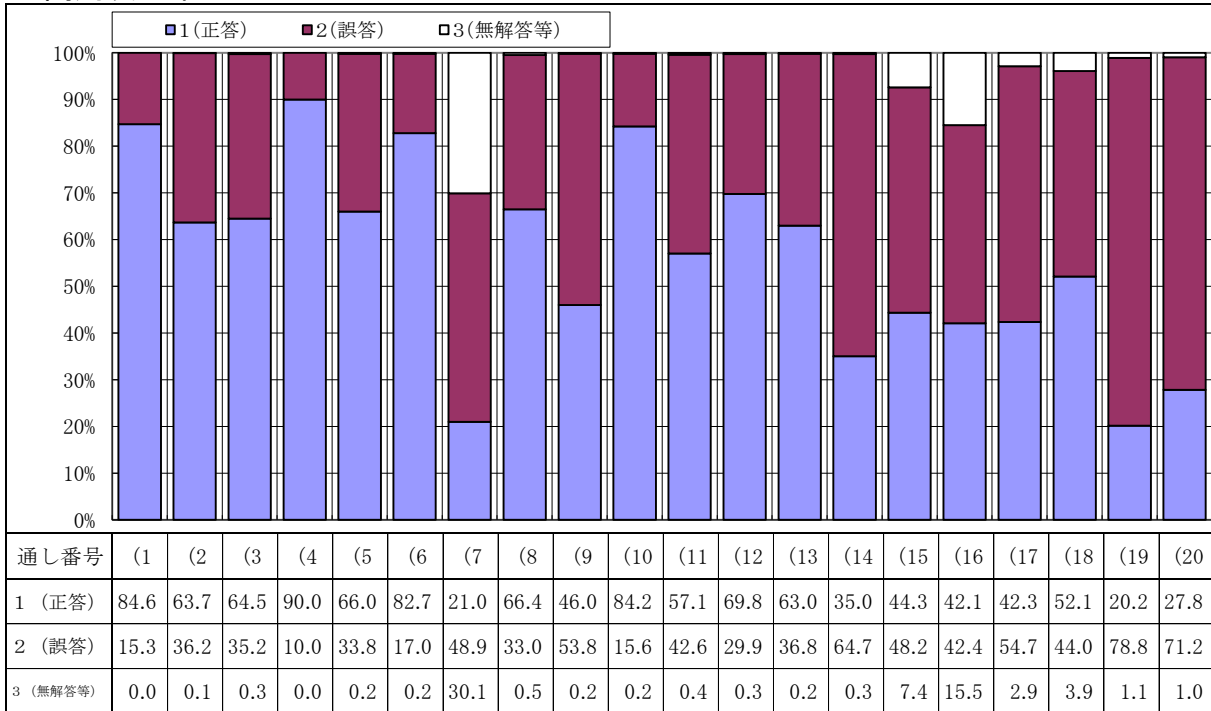
学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点			
					表 現	理 解	知 識 ・ 理 解	
第 2 学 年	聞 く こ と	ア (イ)	[正確な 聞き取り]	・短い英語の指示を聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。	(1		○	
		ア (オ)	[適切な 聞き取り]	・会話を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ることができる。	(2 (3		○	
		ア (イ)	[正確な 聞き取り]	・まとまりのある英語を聞いて、情報を正確に聞き取ることができる。	(4 (5		○	
		ア (ウ)	[適切な 聞き取り]	・話し手からの質問を聞いて、適切に応じることができる。	(6		○	
	聞 く こ と 書 く こ と	ア (ウ) エ (ウ)	[適切な 聞き取り] [適切な筆記]	・聞いて理解した内容について、自分の考えを書いて伝えることができる。	(7	○		
	読 む こ と	ウ (ウ)	[正確な 読み取り]	・書かれた内容について、正確に読み取ることができる。	(8 (9 (10		○	
		ウ (ウ)	[適切な 読み取り]	・書かれた内容について、概要や要点を適切に読み取ることができる。	(11		○	
		ウ (ウ)	[正確な 読み取り]	・話の流れをつかみながら、文章を正確に読み取ることができる。	(12		○	
	書 く こ と	エ (イ)	[言語について の知識・理解]	・正しい語法や文法を理解し、文の中で正確に用いることができる。	(13 (14			○
		エ (ウ)	[適切な筆記]	・読み取った内容を基に、適切に英文を書くことができる。	(15	○		
		エ (オ)	[適切な筆記]	・自分のことについて、内容につながりをもたせて適切に英文を書くことができる。	(16	○		
		エ (イ)	[正確な筆記]	・与えられた語を用いて、会話が成り立つように英文を書くことができる。	(17 (18	○		
エ (イ)		[言語について の知識・理解]	・正しい語順を用いて、文を構成する知識を身に付けている。	(19 (20			○	

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	(聞) 短い英語の指示の聞き取り	84.6	80.0	
(2)	(聞) 部活動の人数の聞き取り	63.7	65.0	
(3)	(聞) 放課後の予定についての聞き取り	64.5	70.0	
(4)	(聞) 交通手段についての聞き取り	90.0	80.0	
(5)	(聞) 話の話題についての聞き取り	66.0	65.0	
(6)	(聞) 外国人観光客からの質問に対する適切な応答	82.7	80.0	
(7)	(聞) (書) 先生の提案を聞き取り、自分の考えを書く	21.0	60.0	
(8)	(読) ピクトグラムについての会話文の読み取り	66.4	65.0	
(9)	(読) スピーチの内容についての読み取り	46.0	70.0	
(10)	(読) ホームページの内容についての読み取り	84.2	80.0	
(11)	(読) スピーチの要点についての読み取り	57.1	65.0	
(12)	(読) 適切な文章の構成	69.8	65.0	
(13)	(書) howに続く適切な語の選択	63.0	70.0	
(14)	(書) 正しい時制を表す語の選択	35.0	70.0	
(15)	(書) インタビューの内容を踏まえた英文の作成	44.3	60.0	
(16)	(書) 読み取った内容を基に、まとめた英文の作成	42.1	65.0	
(17)	(書) 与えられた語を用いて、会話を成り立たせる英文の作成 (三単現の否定文)	42.3	75.0	
(18)	(書) 与えられた語を用いて、会話を成り立たせる英文の作成 (be動詞未来の文)	52.1	70.0	
(19)	(書) 不定詞副詞的用法の文の構造	20.2	70.0	
(20)	(書) Whichを含む疑問文の構造	27.8	75.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 中学校 2年 英語

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (118校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	9		1	19	1	4		4	1	7	1	1	2	1	2	1		1			
90%~100%	19	3	2	49	3	19		2		19		2	1			1		2		1	1
80%~90%	59	7	6	41	6	56		11	4	63	1	16	14	1	5	4	1	13			
70%~80%	27	19	21	5	28	31	4	24	4	21	12	37	19	1	8	9	5	16	1	2	7
60%~70%	2	37	50	2	48	5	1	49	7	6	28	41	35	4	13	7	7	17		3	23
50%~60%	1	40	22		20	2	4	20	20	1	45	17	30	7	21	19	11	16	2	4	63
40%~50%		7	11		10		7	7	47		20	1	12	17	23	29	38	18	5	14	21
30%~40%		2	1				10		27		6	2	2	42	25	16	38	18	12	19	1
20%~30%			2	1	1		33		5		1		1	30	12	16	10	8	31	36	1
10%~20%							32				1			11	5	9	4	2	48	32	
0%~10%		2	1				26		2		2		1	3	3	6	3	6	18	6	



## 中学校 2 年 英語 調査結果の考察

### 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			領 域 別			計
	表現の能力	理解の能力	知識・理解	聞くこと	読むこと	書くこと	
+10% より高い	0	1	0	1	0	0	1
±10% の範囲内	0	9	1	5	4	1	10
-10% より低い	5	1	3	0	1	8	9
計	5	11	4	6	5	9	20

### 2 考察

#### (1) 全体について

- ①20問中11問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況は十分とは言えない。
- ②「書くこと」において、「-10%より低い」設問が8問あり、課題が見られる。

#### (2) 成果

- ①「聞くこと」においてはおおむね良好であり、会話を聞いて概要や要点を適切に聞き取ることに指導の改善が図られている。
- ②「読むこと」において、まとまりのある英文を読んで、概要を捉えたり必要な情報を読みとったりすることに関する定着状況はおおむね良好である。

#### (3) 課題

- ①「書くこと」において、語彙や文法事項を正しく用いたり、正しい語順で文を構成したりすることに課題が見られる。
- ②まとまりのある英文を聞いたり読んだりして理解した内容について、自分の考えや気持ちなどを適切な英文で書くなど、複数の技能を統合して表現することに課題が見られる。

### 3 今後の指導

英語で互いの考えや気持ちを伝え合うなどの言語活動を行う際には、言語材料について理解したり練習したりするための指導を必要に応じて取り入れる。

- ・新たに語彙や文法事項を学習する際には、具体的な場面を設定するなどして、意味のある文脈の中で、語彙等の意味や使い方を捉えさせ、コミュニケーションを通して繰り返し活用し定着させるようにする。
- ・生徒一人一人のつまづきをよく見取り、個の習熟の程度に応じて、ヒントを示したり、辞書の使用を促したりするなど、誤りが修正されるよう手立てを講じる。また、全体に共通する誤りについては機会を捉えて説明し直すなどして、正確にコミュニケーションが図られるよう段階的に指導する。

聞いたり読んだりして理解したことについて、情報を整理し自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように書く活動の充実を図る。

- ・聞いたり読んだりして理解したことについて、自分の考えや気持ち等を書くなどの技能統合型の活動を、年間を通じて計画的・継続的に取り入れる。その際、語彙や表現は適切か、伝える内容や表現を工夫しているかなどを視点とし、読み手に配慮して書くことができるよう指導する。
- ・自分の考えを論理的に説明するために、根拠や理由を明らかにし、文と文のつながりや順序など、文構成を意識させた上で表現させる。また、その際に必要となる語彙や文法事項などについては、適切な例を示し繰り返し活用させることを通して定着を図る。

### ※指導例：通し番号(16)

メール文の内容を的確に理解した上で、自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり、適切な英文で書いたりするなど、複数の技能を統合して行う活動の例

○あなたは、アメリカの姉妹校の生徒からメールで次のような質問を受けました。このメールに返信するとき、あなたはどのようなことを伝えますか。

#### 【質問】

Japanese students join the club activities every day, right?  
What club are you in? Please tell me about your club?

#### ※解答例

I'm in the tennis club. We practice it from Tuesday to Friday.  
I like playing it with my friends.

#### 【指導のポイント】

- ・何を問われているかを的確に理解した上で、返答として適切な内容を考えさせる。
- ・これまでの学習を想起させながら、口頭で伝え合わせる。その際には正確性や適切さを過度に求めない。
- ・友達との相互評価や教師のアドバイス等を基に、語彙や表現の選択、内容や文構成等を再構築させ、正確性や適切さに留意しながら英文を書かせる。